

# 生成A I を活用した校務の効率化に関する研究

## 《目次》

【補助資料1】校務における生成A I 活用ガイド	1
【補助資料2】事前調査質問紙	18
【補助資料3】プロンプトリスト	30
【補助資料4】小学校学習発表会シナリオ作成	44
【補助資料5】小学校特別支援教育における医療機関向け文書作成	64
【補助資料6】中学校集計の効率化	71
【補助資料7】通知票の所見作成支援プロンプト（道徳）	75
【補助資料8】学校評価アンケート分析	88
【補助資料9】授業用スライドレイアウト変換	91
【補助資料10】高等学校体験入学感想集計の効率化	92
【補助資料11】カレー作りプロンプト演習スライド	105
【補助資料12】事後調査質問紙	115

令和8年3月

岩手県立総合教育センター

情報・産業教育担当

芦澤 信吾 菅野 浩史 中村 さやか 千田 晋久  
濱谷 伸広 小野塚 正樹 坂倉 大 柳原 聡明

【補助資料 1】校務における生成 A I 活用ガイド

校務における生成 A I 活用ガイド 表紙

# 校務における 生成 AI 活用ガイド

A guide to using generative AI  
in school operations

令和 8 年 3 月  
岩手県総合教育センター  
情報・産業教育担当

- 
- |  |  |
|--|--|
| 1 はじめに <ul style="list-style-type: none"><li>● 本ガイドの目的</li><li>● 背景</li><li>● 活用ステップ（段階）</li></ul>   | 4 プロンプト活用 <ul style="list-style-type: none"><li>● プロンプト作成のコツ</li><li>● プロンプトリストの活用</li><li>● プロンプトの調整・編集</li></ul> |
| 2 生成 A I とは <ul style="list-style-type: none"><li>● 生成 A I の基本理解</li><li>● 生成 A I の特徴</li><li>● 利用上の注意点</li></ul>  | 5 よくある質問 (FAQ)   |
| 3 校務における生成 A I 活用事例 <ul style="list-style-type: none"><li>● 文書作成支援</li><li>● 教材作成支援</li><li>● データ分析支援</li><li>● コミュニケーション支援</li><li>● アイデア創出支援</li></ul> | 6 参考資料・リンク集 <ul style="list-style-type: none"><li>● 関連資料</li><li>● お役立ちリンク</li><li>● 問い合わせ先</li></ul>              |

[本ガイドのダウンロード\(PDF\) ➡](#)



## 1 はじめに

### 本ガイドの目的

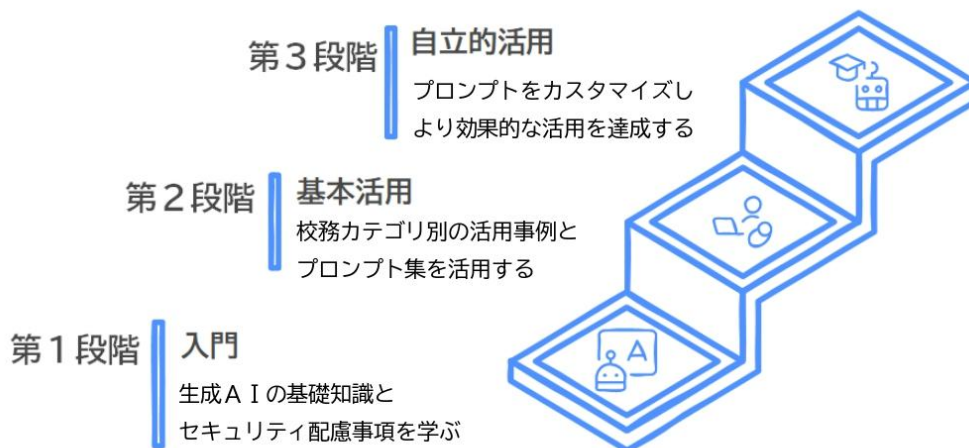
近年、急速な進化を遂げる生成A Iは、教育現場においても校務の効率化や質の高い教育の持続的な提供に貢献する可能性を秘めています。本ガイドは、多忙な先生方が生成A Iを効果的に活用し、校務の効率化を実現するための実践的なテキストとして活用いただくことを目的としています。

### 背景

文部科学省は「次世代の校務デジタル化推進実証事業」において生成A Iの活用を推進しており、本県においても教職員の働き方改革の実現による質の高い教育の持続的な提供は喫緊の課題です。長時間労働が常態化する教員の負担を軽減し、子供たちと向き合う時間を増やしていくために、生成A Iの力を最大限に活用することが求められています。

### 活用ステップ（段階）

本ガイドでは、活用スキルを段階的に高められるように3つのステップ（段階）に分けています。本ガイドの手順に沿って学習することで、着実に実践的なスキルを身に付けられるように設計しました。



## 2 生成AIとは

### 生成AIの基本理解 (入門★)

生成AIは、大量のデータから学習し、人間のような自然な文章や画像を生成できる技術です。教育現場での活用においては、その特性を正しく理解した上で活用することが重要です。



[3分でわかる！生成AIの仕組み学習動画](#) ➔

### 生成AIの特徴 (入門★)

#### 得意なこと・メリット

- 文書作成  
→ 通知文、会議資料、計画書など
- 情報収集・整理  
→ アンケート結果等の要約、分類
- 多言語対応  
→ 翻訳、コミュニケーション支援
- アイデア創出  
→ 多様な視点からの発想
- 単純作業の自動化  
→ 反復作業の効率化
- 教材作成の効率化  
→ ワークシート、テスト問題作成

#### 心配なこと・デメリット

- 情報漏洩  
→ 個人・機密情報は入力しない
- 情報の正確性  
→ 出力結果の内容を確認する  
※ 誤情報 (ハルネーション) の可能性
- 著作権問題  
→ 出力結果の著作権に留意する
- 最新情報の限界  
→ 学習済み時点での出力  
※ Web 検索機能をもつ生成AIもある

### 利用上の注意点 (入門★)

#### 生成AIに入力してはいけない情報

- 氏名、住所、連絡先などの個人情報
- 学校の内部情報 (セキュリティ情報など)
- 成績や診断結果などのセンシティブな情報
- 守秘義務のある情報、機密性の高い情報

#### 情報の正確性を確認するためのポイント

- 出力内容は必ず自分の目で確認する
- 専門的な内容は信頼できる資料で確認する
- 事実や数値は複数の情報源で検証する
- 不明な点は、自分で調査する習慣をもつ

[ファクトチェックの方法](#) ➔



### 3 校務における生成AI活用事例

#### 文書作成支援 (入門★～基本活用★★)

生成AIは効率的な文書作成のサポートツールとして活用が期待できます。

##### 活用例: 保護者向けお便り作成

小学校3年生の社会科見学（歴史博物館）について保護者向けのお便りを作成してください。  
 日時は5月15日（木）9:00～14:30、持ち物は筆記用具、昼食、水筒、雨具です。  
 交通手段はバス、費用は交通費600円と入館料200円です。  
 家庭での注意事項も含めてください。

##### 生成AIによる出力結果

小学校3年生 社会科見学のお知らせ  
 平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
 下記の通り3年生の社会科見学を・・・



[↑出力全文](#)

##### 効率化ポイント

- ・文書作成時間の短縮
- ・必要な情報の漏れ防止
- ・注意事項などの自動生成
- ・保護者向けの文章表現

##### 活用例: 会議議事録の作成

学校行事『体育祭』についての職員会議の議事録フォーマットを作成してください。  
 議題は1.日程の確認、2.プログラム内容、3.係分担、4.雨天時の対応、5.その他です。  
 各議題には記入欄を設け、決定事項と継続検討事項を区別できるようにしてください。

##### 生成AIによる出力結果

体育祭 職員会議 議事録  
 会議日時: 年 月 日 ( ) : ~ :  
 場所: 出席者: 議事進行: 書記:  
 1. 日程の確認...



[↑出力全文](#)

##### 効率化ポイント

- ・統一フォーマット作成
- ・議題の漏れ防止
- ・決定/検討事項の明確化による会議効率の向上

#### 教材作成支援 (入門★～基本活用★★)

授業準備や教材研究に生成AIを活用することで、教材作成を効率化できます。

##### 活用例: 単元導入の教材作成

小学5年生の社会科『日本の農業』の単元導入で使える、児童の興味を引く5分間のクイズを5問作成してください。日本の農業の現状や課題、特色ある農業の取組などを含め、写真やグラフと組み合わせられる内容にしてください。解説も付けてください。

##### 生成AIによる出力結果

クイズ1: 謎の野菜王国  
 問題: 日本で一番生産量が多い野菜は何でしょう?  
 A きゅうり B たまねぎ C トマト D キャベツ  
 解説: 正解は「たまねぎ」です! 日本ではたまねぎの生産量が一番多く、特に北海道では広大な畑でたまねぎが栽培され・・・



[↑出力全文](#)

##### 効率化ポイント

- ・学年、発達段階に応じた難易度や表現の自動調整
- ・時間・問題数の指定が可能
- ・具体的な範囲指定によるねらいに応じた教材作成

## データ分析支援 (入門★～基本活用★★)

生成AIを活用して、アンケート結果や学習データの分析を効率化できます。

### 活用例：学校評価アンケート結果の分析

12月末に実施した学校評価アンケート結果の分析をサポートしてください。

- ・対象は保護者300名、回答率78%です。
- ・「学校の教育方針」「教員の指導」「学校施設」「学校行事」「学校からの情報発信」の5カテゴリ、各5問の5段階評価です。
- ・保護者からの自由記述欄の意見も踏まえ、改善すべき点を3つ提案してください。



### 生成AIによる出力結果

令和〇年度学校評価アンケート分析結果

1. 学校からの情報発信 (平均4.5)

「学校だよりの内容は充実しているか」: 4.6

「ウェブサイト・SNSでの情報提供は適切か」: 4.7

考察

学校連絡アプリとSNSの活用が高評価の要因と考えられる。自由記述では「連絡がタイムリーになった」「写真付きで学校の様子がわかりやすい」という肯定的な意見が多数見られた。特に「ウェブサイト・SNSでの情報提供」の評価が高く・・・が保護者に好評である。



[↑出力全文](#)

### 効率化ポイント

- ・データ分析時間の短縮
- ・客観的視点での傾向把握と要因分析
- ・保護者の声を踏まえた具体的改善案の抽出
- ・複数の評価項目間の相関関係の発見
- ・数値化しにくい自由記述の効率的な分類・集約

## コミュニケーション支援 (入門★～基本活用★★)

保護者対応や校内連絡など、様々なコミュニケーションを生成AIがサポートします。

### 活用例：保護者対応の下書き作成

運動会の練習中に転んで膝を擦りむいた児童への対応について、保護者へ連絡する文章を作成してください。

保健室で消毒・絆創膏での処置をした。痛みや腫れはなく歩行に問題がない。



### 生成AIによる出力結果

本日、運動会の練習中に〇〇さんが転倒し、膝を擦りむく怪我をされました。すぐに保健室にて消毒を行い、絆創膏での処置をいたしました。

診察の結果、痛みや腫れは見られず、歩行にも問題がないことを確認しております。〇〇さんは処置後、授業に戻りました。ご家庭でも傷口を確認し・・・



[↑出力全文](#)

### 効率化ポイント

- ・突発的な事案についての迅速な文書作成
- ・発生した状況、対応についての簡潔な情報提供
- ・学校と家庭の連携の促進

### アイデア創出支援 (入門★～基本活用★★)

教職員の校務効率化や新しい企画立案など、様々なアイデア創出を生成AIがサポートします。

#### 活用例：校内行事の企画立案

年間行事の中で「環境教育週間」という新しい取組を企画します。限られた予算と時間の中で、生徒が主体的に参加できる企画案を考えてください。  
SDGsの理念を取り入れた内容にしたいと思います。



生成AIによる出力結果	効率化ポイント
<p>基本コンセプト</p> <p>「考えよう、行動しよう、未来のために」- 生徒自身がSDGsの課題について学び、考え、具体的な行動に移す機会を提供します。</p> <p>1日目：オリエンテーションと問題提起</p> <p>朝礼での校長先生挨拶：環境教育週間の意義と… (略)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科横断的な学習活動の企画立案</li> <li>・限られたリソースを考慮した実現可能な提案</li> <li>・生徒の主体性を引き出す仕組みづくり</li> </ul>



[↑出力全文](#)

## 4 プロンプト活用

### プロンプト作成のコツ (基本活用★★)

生成AIは、活用例のように簡単な会話形式でも機能しますが、「役割」「目的」「対象」「前提条件」「出力形式」などの項目に分け、構造化されたプロンプトを使用すると以下のメリットが期待できます。

#### 構造化されたプロンプトを使用するメリット

- 必要な情報を漏れなく伝えられる
- 文脈が正しく伝わり、適切な回答が得られる
- 指示の曖昧さが減り、意図した回答を得やすい
- 繰り返し使用できるテンプレートとなる

#### 構造化されたプロンプト例：台風接近による休校のお知らせメール

項目	説明・入力例	入力欄
1. 役割	どんな専門家として回答してほしいか 例：ベテラン教員、教育心理学の専門家	中学校のベテラン管理職（副校長）として
2. 目的	達成したいことを明確に伝える 例：〇〇用の文章を作成する、〇〇のスケジュールのたたき台を作成する	台風接近に伴う臨時休校のお知らせメールを作成する
3. 対象	誰から誰に向けた内容か 例：〇〇担当教員から教員（保護者）に	中学校から全校生徒の保護者に対して
4. 前提条件	考慮すべき条件を箇条書きで 例：期間は〇～〇、文末は「ですます調」で、300字程度で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風が明日から明後日に接近予定</li> <li>・明日（9月15日）は臨時休校</li> <li>・連絡は今日の15時までに</li> <li>・学校再開の判断は明日16時までに</li> <li>・丁寧な「です・ます」調で400字程度</li> </ul>
5. 出力形式	どんな形式で出力してほしいか 例：文書、箇条書き、表形式、リストで	メール形式（件名と本文）で、見出しをつけて読みやすく

## プロンプトリストの活用 (基本活用★★)

岩手県立総合教育センターでは、校務で活用できる様々なプロンプトをリスト化しています。これらを活用することで、生成AIをより効果的に利用できます。

[教育センタープロンプトリスト\(Excel\)](#) ➔



### プロンプトリストの利用方法

- ①教育センターで作成した Excel 形式のプロンプトリストから、目的に合ったプロンプトを選ぶ。
- ②入力例を参考に条件等を入力する。
- ③プロンプト全体をコピーして生成AIのチャット欄に貼り付けて実行する。



【サンプル】Excel 形式のプロンプト

[教育センタープロンプトの使い方](#) ➔

# 学校緊急連絡お便り作成

あなたは経験豊富な副校長です。

緊急性の高い連絡事項を保護者に伝えるためのお便りを作成してください。

\*\*以下の全ての項目を漏れなく反映した文書を作成することが非常に重要です。\*\*

#情報

項目	説明 (例)	入力欄
発行日	2/25の形式で入力	令和7年2月26日
お便りタイトル	台風接近に伴う臨時休校のお知らせ	大雪、臨時休校
対象学年	3年生保護者各位、保護者各位	保護者各位
緊急連絡の種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害 (台風、地震、大雪)</li> <li>・感染症 (インフルエンザ、COVID-19)</li> <li>・学校行事変更 (運動会延期)</li> <li>・その他 (不審者情報)</li> </ul>	自然災害、大雪
	・明日2月26日 (水)	・2/25~3日間休校

## プロンプトの調整・編集 (基本活用★★~自立的活用★★★)

出力制限に関するフレーズを加えてプロンプトを調整・編集できます。

[プロンプトのカスタマイズに使えるフレーズ例](#)

[便利なフレーズ集\(PDF\)](#) ➔



カスタマイズの種類	具体例
出力形式の指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート形式で、見出し、小見出し、箇条書きを使用して構造化して</li> <li>・表形式で ・長所と短所を明記して ・問題と解答欄を明確に区分けして</li> </ul>
条件の優先順位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識の定着を第一に、応用力の育成を第二に考慮して</li> <li>・特別な支援が必要な児童生徒への配慮を優先して</li> </ul>
不要内容の削除	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難解な専門用語を省き、中学生が理解できる言葉で説明して</li> <li>・客観的なデータと事実のみに基づいて説明して</li> </ul>
段階的な指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考、ペア共有、全体発表というフローで学習活動を組み立てて</li> <li>・既習確認5分、基本15分、協働学習20分、まとめ10分の流れで設計して</li> </ul>
対象読者の指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が理解できるレベルで ・保護者向けに専門用語を最小限に抑えて</li> </ul>
文字数・長さの制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・300字以内で ・5分で読める長さで ・各セクション100字以内で</li> </ul>
視点・トーンの指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反対側の立場からの批判も含めて ・親しみやすい会話調で</li> </ul>
具体例の要求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ポイントに事例を1つずつ挙げて ・成功事例と失敗事例を示して</li> </ul>

★表の右上の二次元コードから便利なフレーズ集をダウンロードできます★

## 5 よくある質問(FAQ)

### Q1：生成AIは安全に使えるの？情報漏洩が心配です。

A：生成AIを安全に利用するには、個人情報や機密情報を入力しない、不審なサイトやアプリは利用しない、ID・パスワードを適切に管理するといった基本的なセキュリティ対策が重要です。安全性が確認されているツールを利用し、提供元の利用ルールを守りましょう。

### Q2：生成AIを使うのは倫理的に問題ないの？

A：AIを便利なツールとして活用することに倫理的問題はありませんが、生成AIが出力した内容の著作権に配慮し、差別や偏見を含むコンテンツの生成は避けるなど倫理的配慮が必要です。最終的な判断や責任は人間がもつことが重要です。

### Q3：生成AIの操作が難しそう…私にも使いこなせるか不安です。

A：最近の生成AIツールは直感的で簡単な操作で使えるものが増えています。プログラミングなどの専門知識は不要です。本ガイドの「3 校務における生成AI活用事例」を参考にして、簡単な対話式のプロンプトから始めてみましょう。少しずつ慣れていくことが大切です。

### Q4：生成AIが出力した内容をそのまま使っても大丈夫ですか？

A：生成AIの出力はあくまで「下書き」と考え、必ず人間が内容を確認し、必要に応じて修正することが重要です。特に事実関係や数値データ、専門的な内容については、誤りがないか確認してください。また、校内の文書形式や表現スタイルに合わせる調整も必要です。

[その他のよくある質問はこちら](#) →



## 6 参考資料・リンク集

### 関連資料

- 初等中等教育段階における生成AIの活用に関するガイドライン (Ver.2.0)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/mext\\_02412.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/mext_02412.html)：文部科学省 令和6年12月26日公表
- 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm)：文部科学省 令和7年3月

### お役立ちリンク

- リーディングDXスクール：文部科学省 <https://leadingdxschool.mext.go.jp/>
- 岩手県立総合教育センター：<https://www1.iwate-ed.jp/>

問い合わせ先：本ガイドに関するお問い合わせは下記までお願いします。

- 岩手県立総合教育センター 情報・産業教育担当
- 電話：0198-27-2254
- mail：[joho-r@center.iwate-ed.jp](mailto:joho-r@center.iwate-ed.jp)



## ハルシネーション(誤情報)のファクトチェック方法

### 校務における生成A I 活用ガイド付録

#### ⚠️ 生成A Iは、時々もっともらしい「ウソ」をつきます

生成A Iの出力を無批判に通知文や保護者向け文書に使用すると、重大なミスにつながる恐れがあります。

以下の方法を参考にして、必ずファクトチェックを行いましょう。

#### 1 固有名詞と数字を検索 【最重要】

- ✓ 人名、学校名、法律・制度名などの固有名詞
- ✓ 統計データ、日付（曜日）、金額などの数字

これらが出てきたら反射的に検索する習慣をつける

💡 ハルシネーションで最も問題になりやすいのがこの2つの要素です

#### 2 ソース（出典）を確認する

- ✓ 提示された URL や文献が実際に存在するか確認
- ✓ 「その情報の出典は?」と追加で質問する

リンクが開けない、文献が見つからない場合は誤情報の可能性大

#### 3 複数の生成A Iで相互検証する

- ✓ ChatGPT、Gemini、Claude など複数のA Iに同じ質問（指示）をする
- ✓ 共通して出力される情報を採用する

#### 4 出力された文章を別のA Iでファクトチェックさせる

- ✓ チェックしたい部分（段落など）をコピーして「ファクトチェックして」と指示する
- ✓ 必ず別セッション（新しいチャット）で実行する
- ✓ できれば異なる生成A Iサービスを使用する

#### 📄 校務での実践例

外部向け文書の作成：「〇〇法に基づき」→法律名を Web 検索で確認

保護者向け文書の作成：地名、人名、団体名、日付（曜日）→正確性を確認

研究資料等の作成：「文科省の調査によると〇%」→統計データの出典を確認

#### 🧠 覚えておくべきポイント

- A Iは「有能だが確認が必要なアシスタント」と認識し、常に慎重なチェックが必要
- チェックには上記の複数の方法を組み合わせることが重要
- 最終判断は必ず自分の目で行う（責任はA Iではなく、使用者にある）

「効果的なプロンプトづくりに役立つ便利なフレーズ集」

校務における生成AI活用ガイド p.6 付録 (QRコードよりダウンロード)

効果的なプロンプトづくりに役立つ便利なフレーズ集

岩手県立総合教育センター  
情報・産業教育担当

- 役割：あなたは〇〇です。
- 目的：〇〇を作成することです。
- 対象：〇〇から〇〇に対しての文章です。
- 前提条件：以下の条件で作成してください。
  - 1. ~~~
  - 2. ~~~
- 出力形式：〇〇形式で出力してください。



No.	役割設定の例	主な活用場面
1	ベテランの数学教師として	概念の段階的説明や問題作成に
2	国語の専門教師として	文章読解や作文指導に
3	理科実験のスペシャリストとして	安全で効果的な実験計画に
4	社会科の授業設計者として	時事問題との関連付けに
5	英語教育の専門家として	コミュニケーション重視の活動設計に
6	音楽教育者として	鑑賞や実技指導の工夫に
7	美術の指導教員として	創造性を引き出す課題設計に
8	体育教師として	運動技能の段階的指導計画に
9	家庭科の実践教師として	生活に根ざした実習課題に
10	プログラミング教育の推進者として	論理的思考を育む課題に
11	特別支援教育の専門家として	個別の配慮や教材のアレンジに
12	学級経営のベテランとして	クラス運営の悩み相談に
13	教育カウンセラーとして	生徒理解や保護者対応に
14	キャリア教育の担当者として	進路指導や職業理解に
15	ICT教育の推進者として	デジタルツール活用の授業設計に
16	アクティブラーニングの実践者として	対話的・主体的な学びの設計に
17	評価・テスト作成の専門家として	公平で適切な評価問題作成に
18	探究学習のファシリテーターとして	問いを立てる活動設計に
19	子どもの発達心理の専門家として	年齢に応じた指導方法に
20	教材開発のプロフェッショナルとして	魅力的な教材作りに
21	学習意欲を引き出すコーチとして	モチベーション向上の工夫に
22	異文化理解教育の推進者として	多様性を尊重する授業に
23	環境教育の実践者として	SDGs 関連の学習活動に
24	メディアリテラシー教育者として	情報の見極め方指導に
25	防災教育の専門家として	実践的な安全教育に
26	リスク管理コンサルタントとして	学校・行政組織の危機管理に
27	健康教育の指導者として	心身の健康づくり指導に
28	読書指導の専門家として	読書習慣形成の取り組みに
29	対話的な授業づくりの研究者として	議論や意見交換の場づくりに
30	学校と地域をつなぐコーディネーターとして	地域資源活用の授業に

No.	条件付けワード	期待される効果
1	構造的に	論理的な階層や順序を持った整理
2	具体的に	抽象的でなく実例や詳細を含む
3	段階的に	易しいものから難しいものへ順序立てて
4	簡潔に	無駄を省いた要点のみの表現
5	詳細に	細部まで丁寧に掘り下げた説明
6	実践的に	すぐ使える実用的な内容
7	体系的に	全体を俯瞰できる系統立った整理
8	論理的に	因果関係や根拠を明確にして
9	批判的に	多面的に吟味・検討する視点で
10	年齢に応じて	対象学年に合わせた難易度で
11	多角的に	複数の視点や側面から
12	時系列で	時間の流れに沿って
13	優先順位を付けて	重要度の高い順に
14	比較しながら	違いや共通点を明示して
15	関連付けて	既習事項や生活経験とつなげて

No.	出力形式の指定	得られる形式
1	表形式で	行と列で整理された表
2	箇条書きで	項目ごとに整理されたリスト
3	番号付きリストで	順序立てて番号が振られたリスト
4	マインドマップ形式で	中心から枝分かれする階層構造
5	チェックリスト形式で	<input type="checkbox"/> チェックボックス付きのリスト
6	Q&A形式で	質問と回答のペア
7	対話形式で	会話のやり取りとして
8	ステップバイステップで	手順を段階的に説明
9	フローチャート形式で	流れ図として視覚的に
10	比較表で	2つ以上の項目を比較する表
11	タイムライン形式で	時系列に沿った配置
12	ループリック形式で	評価基準を段階的に示す表
13	ワークシート形式で	記入欄のある学習プリント
14	スライド形式で	プレゼンテーション用の構成
15	物語形式で	ストーリー仕立ての文章
16	台本形式で	セリフと指示が書かれた形式
17	辞書形式で	用語と説明のペア
18	例文付きで	具体例を含めた説明
19	要約形式で	要点を簡潔にまとめた文章
20	詳細説明形式で	深く掘り下げた丁寧な説明

## よくある質問（FAQ）

### 基本的な使い方について

#### Q1：生成AIは安全に使えるの？情報漏洩が心配です。

A：生成AIを安全に利用するには、個人情報や機密情報を入力しない、不審なサイトやアプリは利用しない、ID・パスワードを適切に管理するといった基本的なセキュリティ対策が重要です。特に、児童生徒の氏名、住所、成績などの個人情報は絶対に入力しないでください。安全性が確認されているツールを利用し、提供元の利用ルールを守りましょう。

#### Q2：生成AIを使うのは倫理的に問題ないの？

A：生成AIを便利なツールとして活用することに倫理的問題はありませんが、生成AIが生成した内容の著作権に配慮し、差別や偏見を含むコンテンツの生成は避けるなどの倫理的配慮が必要です。最終的な判断や責任は人間が持つことが重要です。生成AIはあくまで「支援ツール」であり、教員の専門性や判断を代替するものではありません。

#### Q3：生成AIの操作が難しそう…私にも使いこなせるか不安です。

A：最近の生成AIツールは直感的で簡単な操作で使えるものが増えています。プログラミングなどの専門知識は不要です。本ガイド「3 校務における生成AI活用事例」を参考にして、簡単な対話式のプロンプトから始めてみましょう。「カレー作りプロンプト」のような身近な題材で練習すると、プロンプトの重要性が実感できます。少しずつ慣れていくことが大切です。研修参加者からは「第1回のときよりも、だんだんわかってきた」という声が多く聞かれました。

#### Q4：生成AIが出力した内容をそのまま使っても大丈夫ですか？

A：生成AIの出力はあくまで「下書き」や「たたき台」と考え、必ず人間が内容を確認し、必要に応じて修正することが重要です。特に事実関係や数値データ、専門的な内容については、誤りがないか確認してください。また、校内の文書形式や表現スタイルに合わせる調整も必要です。「生成AIが生成した文章にはズレが生じる可能性がある」「最後は自分なりのやり方に調整していく必要がある」という認識を持つことが大切です。

#### Q5：どのくらい校務の時間が短縮できますか？

A：本研究では、校務の内容によって67%から97%の時間短縮効果が確認されました。例えば、学習発表会のシナリオ作成では15時間以上かかっていた作業が30分程度に（約97%短縮）、学校行事のアンケート分析では4時間以上かかっていた作業が1時間程度に（約75%短縮）短縮されました。ただし、効果は業務の種類や個人の習熟度によって異なります。定型的・反復的な作業において特に高い効率化が期待できます。

## 実践的な活用について

### Q6：どの校務から始めるのがおすすめですか？

A：まずは、定型的で繰り返しの多い業務から始めるのがお勧めです。例えば、保護者向けの連絡文書作成、授業の振り返りの集約、アンケートの分類・分析などです。これらは効果を実感しやすく、成功体験が得られやすい業務です。本ガイドの事例集から自分の業務に近いものを選んで試してみましょう。

### Q7：プロンプトをどうやって改善すればいいですか？

A：プロンプトの改善は、(1) 出力結果を確認する、(2) 不足している情報や曖昧な指示を具体化する、(3) 出力形式を明確に指定する、という手順で行います。例えば、「保護者向け文書を作成して」よりも「保護者向けの遠足の持ち物案内を、丁寧な言葉で、箇条書き形式で作成してください」のように具体的に指示すると、より適切な出力が得られます。

### Q8：校務用PCで機能制限があり、ファイルがアップロードできません。

A：一部の生成AIサービスでは、セキュリティの観点から校務用PCでファイルアップロード機能が制限されている場合があります。この場合は、テキストベースでの入力可能なプロンプトを活用してください。例えば、アンケート結果をテキストとして貼り付ける、文書の内容を箇条書きで入力する方法があります。技術的な制約については、学校や教育委員会と相談することも重要です。

## 効果と懸念について

### Q9：本当に業務が楽になりますか？慣れるまで時間がかかりそうで心配です。

A：確かに、最初は「使い慣れていないため、一つひとつ使い方を確認しながら使用することで、時間短縮にはつながっていない」という状況になることもあります。しかし、複数回使用することで操作に慣れ、多くの教職員が効率化を実感しています。「ゼロからのスタートにならない分、負担の軽減にはつながる」というメリットもあります。まずは簡単な業務から試し、少しずつ慣れていくことをお勧めします。

### Q10：生成AIを使うことで、教員の専門性が失われるのではないですか？

A：生成AIは教員の専門性を代替するものではなく、支援するツールです。むしろ、定型的な作業を効率化することで、「教材研究等、授業準備への時間配分が可能になった」「児童理解など、子供と向き合う時間が増えた」という効果が報告されています。創出された時間を、本来教員が注力すべき教育活動の本質的な部分に振り向けることができるのです。

### Q11：生成AIに頼りすぎて、自分で考える力が低下しないか心配です。

A：生成AIの出力はあくまで「たたき台」であり、最終的な判断と調整は出力者自身が行います。むしろ、「その結果を更に自分で分析することで、これまでよりも精度の高い報告ができるようになる」という声もあります。生成AIが提供する客観的な視点を参考にしながら、教員としての専門的な判断を加えることで、より質の高い成果物が作成できます。

## セキュリティとプライバシーについて

### Q12：どのような情報なら入力しても大丈夫ですか？

A：一般的な教育活動の内容、指導方法のアイデア、文書の構成案など、個人を特定できない情報であれば入力可能です。具体的には、「小学校4年生向けの理科の実験方法」「保護者向けの遠足案内の構成」などです。一方、「〇〇さんは算数が苦手です…」のように氏名や個人を特定できる情報は絶対に入力しないでください。

### Q13：生成AIに入力した情報はどうなりますか？保存されるのですか？

A：サービスによって異なりますが、多くの生成AIサービスでは、入力された情報を学習データとして利用する可能性があります。利用する前に、各サービスのプライバシーポリシーや利用規約を確認してください。教育機関向けの有料サービスでは、入力データを学習に使用しない設定が可能な場合もあります。

### Q14：校務支援システムのデータを生成AIで分析したいのですが、安全ですか？

A：校務支援システムから出力したデータを生成AIで分析する場合は、必ず個人情報を削除してから入力してください。例えば、アンケートの記述データを分析する場合は、氏名や個人を特定できる情報を「児童A」「生徒1」などに置き換えてから入力します。数値データの場合も、個人を特定できる情報が含まれていないか確認してください。

### Q15：生成AIの利用履歴は学校に記録されますか？

A：校務用PCから利用する場合、学校や教育委員会のネットワーク管理によっては、アクセス履歴が記録される可能性があります。私用端末から利用する場合は、個人のアカウント内に履歴が残ります。いずれの場合も、適切な利用を心掛けることが重要です。不適切な利用や個人情報の入力は絶対に避けてください。

## 著作権と倫理について

### Q16：生成AIが作成した文書の著作権は誰にありますか？

A：生成AIが作成した文書の著作権については、法的な解釈が確立していない部分もあります。一般的には、生成AIが自動生成した内容そのものには著作権が発生しないとされていますが、人間が大幅に加工・修正した場合は著作権が発生する可能性があります。重要な文書については、法的な確認が必要な場合もあります。

### Q17：生成AIが作成した文書をそのまま配付物として使ってもいいですか？

A：配付物として使用する前に、必ず内容を確認し、適切な修正を加えてください。特に、事実関係の正確性、学校独自の表現や方針との整合性、保護者や児童生徒への配慮などを確認する必要があります。また、校内の決裁手続きを経ることも忘れないでください。

### Q18：生成AIを使って作成したことを明記する必要がありますか？

A：校内文書や保護者向け文書については、明記の義務はありませんが、研究論文や公的な報告書などでは、生成AIを使用したことを明記することが推奨される場合があります。各学校や教育委員会のガイドラインに従ってください。

### Q19：生成AIが差別的な内容や不適切な表現を出力した場合、どうすればいいですか？

A：不適切な内容が出力された場合は、そのまま使用せず、プロンプトを修正して再度出力を求め、人間が適切な内容に書き換えてください。繰り返し不適切な内容が出力される場合は、そのプロンプトの使用を中止し、別の方法を検討してください。

## プロンプト作成と活用について

### Q20：プロンプトの「役割を与える」とは具体的にどういうことですか？

A：生成AIに「あなたは〇〇の専門家です」のように役割を与えると、その立場から適切な回答が得られやすくなります。例えば、「あなたは小学校の教員です。保護者向けに遠足の案内文書を作成してください」のように指示すると、教育現場に適した表現で文書が作成されます。

### Q21：プロンプトが長すぎると効果が下がりますか？

A：プロンプトは具体的であることが重要ですが、不必要に長すぎる（特に会話形式）と重要な情報が埋もれてしまう可能性があります。必要な情報を簡潔に、構造的に整理して伝えることが効果的です。例えば、箇条書きで情報を整理する、重要な指示を最初と最後に配置するなどの工夫が有効です。

※教育センター配付のプロンプトも比較的長いものが多いですが、構造的に整理して期待した効果が得られやすいように調整しています。

### Q22：出力結果が期待と違う場合、どうすればいいですか？

A：出力結果が期待と異なる場合は、（１）何が違うのかを明確にする、（２）プロンプトに不足している情報を追加する、（３）より具体的な指示を与える、という手順で改善します。例えば、「もっと丁寧な表現にしてください」「文字数を300字程度に収めてください」のように追加の指示を出すことができます。

### Q23：一度作成したプロンプトは保存しておいた方がいいですか？

A：効果的だったプロンプトは保存しておくことを強くお勧めします。本ガイドで提供しているExcel形式のプロンプト集を活用すれば、自分専用のプロンプトライブラリを作成できます。繰り返し使用する業務については、カスタマイズしたプロンプトを保存しておくことで、さらなる効率化につながります。

### Q24：他の先生が作ったプロンプトを使ってもいいですか？

A：もちろんです。むしろ、効果的なプロンプトを校内で共有することで、全体の活用レベルが向上します。ただし、他校の事例をそのまま使う場合は、自校の状況に合わせて調整が必要な場合があります。プロンプトの共有は、校内の相互支援体制構築の第一歩となります。

## 具体的な活用場面について

### Q25：所見作成で生成AIを使う場合、何に注意すればいいですか？

A：所見作成では、（１）児童生徒の具体的な様子や振り返りを入力情報として提供する、（２）学校の所見記載のルール（文字数、行数、表現スタイル等）を明確に指示する、（３）出力された内容を必ず確認し、個々の児童生徒に合わせて調整する、という点に注意してください。「たたき台」として活用し、教員の観察と判断を加えることが重要です。

### Q26：授業案作成で生成AIを活用するコツはありますか？

A：授業案作成では、学年、教科、単元名、学習内容、児童生徒の実態、利用可能な教材・設備などの情報を具体的に提供することが重要です。また、「導入-展開-まとめ」のような授業の流れを指定したり、「協働的な学びを取り入れた」のような指導方法の希望を伝えたりすることで、より実践的な授業案が得られます。

### Q27：アンケート分析で生成AIを使うメリットは何ですか？

A：アンケート分析では、大量の記述データを客観的に分類し、傾向を把握することができます。

特に、KJ法のような体系的な分類手法を指定することで、「手作業による主観的分類」から「客観的分類」への質的向上が期待できます。また、「これまでの分析では気付かなかった新たな課題の発見」につながることもあります。

**Q28：教材作成で生成AIはどのように活用できますか？**

A：教材作成では、クイズ問題の作成、ワークシートの問題文作成、読解教材の要約、英語の例文作成など、多様な活用が可能です。ただし、教育的な観点からの適切性(難易度、内容の正確性、児童生徒の発達段階との適合性等)については、必ず教員が確認・調整してください。

**Q29：保護者対応で生成AIを活用する場合の注意点は？**

A：保護者向けの文書やメールでは、丁寧で適切な敬語表現、必要な情報の漏れがないこと、誤解を招かない明確な表現、学校としての温かみのある表現、という点に注意してください。生成AIは適切な敬語表現や情報の漏れ防止には有効ですが、学校独自の表現や温かみのある言葉は教員が加える必要があります。

**Q30：学校行事の企画で生成AIを活用できますか？**

A：学校行事の企画では、アイデアの創出、タイムスケジュールの作成、役割分担表の作成、事前準備チェックリストの作成などに活用できます。ただし、学校の実態(施設の状況、児童生徒数、教職員数等)や過去の実施状況を踏まえた調整は、教員が行う必要があります。

**継続的な活用について**

**Q31：生成AIの活用を習慣化するコツはありますか？**

A：習慣化のコツは、(1) まず簡単な業務から始める、(2) 効果を実感できた業務については継続する、(3) 使いやすいプロンプトを保存しておく、(4) 校内で成功事例を共有する、という点です。「校務が効率化した」「教材研究が楽しくなった」「授業改善のサイクルが早くなった」という前向きな効果を実感できると、継続的な活用につながります。

**Q32：うまく活用できている先生の共通点は何ですか？**

A：本研究から、うまく活用できている教職員には以下のような共通点が見られました。(1) 具体的な業務課題をもっている、(2) 試行錯誤を恐れず、失敗しても改善を続ける、(3) 出力結果を批判的に評価し、必要な調整を加える、(4) 成功体験を同僚と共有する、(5) 生成AIを「完璧なツール」ではなく「支援ツール」として位置付けている。

**Q33：校内で生成AI活用を広げるにはどうすればいいですか？**

A：校内での活用拡大には、(1) 成功事例を具体的に共有する(「〇〇の業務が△△時間短縮できた」など)、(2) 効果的なプロンプトを共有する、(3) 困ったときに相談できる「推進者」を育成する、(4) 校内研修で実践的な演習を行う、(5) 管理職が組織的な推進をサポートする、という取組が有効です。

**Q34：生成AIを使わない先生にどう声をかければいいですか？**

A：無理に勧めるのではなく、まず自分の成功体験を自然に共有することから始めましょう。「こんな便利な使い方があったよ」「これを使ったら〇〇が楽になった」という具体的な効果を伝えることで、関心をもってもらえることがあります。また、「一緒に試してみませんか？」と誘う形で、ハードルを下げることも効果的です。

**Q35：生成AIの技術は進化が早いですが、ついていけるか心配です。**

A：確かに技術の進化は早いですが、基本的な考え方(プロンプトの重要性、出力結果の評価、最終判断は人間が行うこと等)は変わりません。本ガイドで学んだ基礎を押さえておけば、新しいツ一

ルが登場しても応用できます。また、教育委員会や教育センターからの情報提供も活用してください。

### トラブルシューティング

#### Q36：生成A Iが期待した回答をしてくれません。何が問題ですか？

A：期待した回答が得られない主な原因は、（1）プロンプトが曖昧・抽象的すぎる、（2）必要な情報が不足している、（3）出力形式が指定されていない、（4）生成A Iに不可能な要求をしている、などです。プロンプトをより具体的にし、必要な情報を追加することで改善することが多いです。

#### Q37：何度試しても満足できる出力が得られません。

A：満足できる出力が得られない場合は、（1）プロンプトを根本的に見直す（別の表現で試す）、（2）タスクを分割する（一度に多くを求めすぎない）、（3）出力の「どの部分」が不満なのかを明確にして、その部分だけを修正依頼する、という方法を試してください。それでも困難な場合は、その業務には生成A Iが適していない可能性もあります。

#### Q38：生成A Iが事実と異なる情報を出力しました。

A：生成A Iは時として「ハルシネーション（誤情報）」を出力することがあります。特に、最新の情報、数値データ、専門的な内容については、必ず信頼できる情報源で確認してください。「出力結果を批判的に評価する」ことが重要です。

#### Q39：同じプロンプトなのに、毎回違う出力が返ってきます。

A：これは生成A Iの特性で、同じプロンプトでも毎回異なる出力を生成します。一貫性が必要な場合は、一度生成した内容を保存し、それをベースに修正・調整する方法をお勧めします。または、プロンプトで「前回作成した内容と同じスタイルで」のように指定することもできます。

### FAQについて

このFAQは、本研究で得られた知見と、先生方からの実際の声を基に作成しました。今後も、現場からの質問や新たな課題を収集し、継続的に更新していく予定です。

## 【補助資料2】事前調査質問紙

生成AI活用に関する教職員意識・スキル調査

調査目的： 教職員の生成AI活用に関する現状把握と研修プログラム設計のための基礎資料収集

調査期間： 令和7年6月

調査方法： Microsoft Forms を活用したオンライン調査

調査対象： 研究協力校全教職員（厨川小学校・上田中学校・花北青雲高等学校）

---

### 【基本情報】

Q1. 氏名を選択してください。

- ※選択肢：各校の教職員名簿から選択

Q2. 職種を選択してください。

- 管理職（校長・副校長・教頭）
- 主幹教諭・指導教諭
- 教諭・実習教諭・常勤講師
- 養護教諭・栄養教諭
- 事務職員

Q3. 教職経験年数（講師も含む）を選択してください。

- 5年未満
- 5～10年
- 11～20年
- 21～30年
- 31年以上

Q4. 担当を選択してください。（複数選択可）

- 校長
- 副校長
- 管理職
- 学級担任
- 担任外
- 教科担任
- 副担任
- 分掌主任（主事、主任等）
- 養護教諭
- 庶務、経理
- その他

Q5. 担当教科を選択してください。（複数選択可）

- 国語
- 社会・地歴公民
- 算数・数学

- 理科
  - 英語・外国語
  - 音楽
  - 図工・美術
  - 書道
  - 体育・保健体育
  - 家庭／技術・家庭
  - 情報
  - 工業
  - 商業
  - 総合的な学習の時間
  - 道徳
  - 特別活動
  - 生活
  - 自立活動
  - その他
- 

#### 【生成A I 使用経験】

Q6. 今までに生成A I を使用したことはありますか。

- ある
- ない

Q7. 使用した生成A I サービスはどれですか。(複数選択可)

- ChatGPT
  - Copilot
  - Gemini
  - Claude
  - その他
- 

#### 【生成A I 活用スキル自己評価】

以下の項目について、現在のあなたの状況に最も近いものを選んでください。

< A I 特性理解 >

Q8. 生成A I の基本的な仕組み（学習データから文章を生成する仕組み）について理解している

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q9. 生成A I が得意なこと（文章作成、要約、翻訳など）を理解している

- 1：全くそう思わない

- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とても思う

Q10. 生成A Iが不得意なこと（最新情報、専門的判断、感情的配慮など）を理解している

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とても思う

Q11. 生成A Iが出力する情報には誤りが含まれる可能性があることを理解している

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とても思う

Q12. 教育現場において生成A Iを活用できる場面と適さない場面を判別できる

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とても思う

<プロンプト設計力>

Q13. 生成A Iに対して、目的を明確にした指示を出すことができる

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とても思う

Q14. 生成A Iに必要な条件（文字数、形式、対象者など）を含めた指示を出すことができる

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とても思う

Q15. 生成A Iの出力結果が期待と異なる場合、指示を修正・改善することができる

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない

- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q16. 校務の特性に応じて、効果的なプロンプトを作成することができる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q17. 他の教職員が作成したプロンプトを参考に、自分の校務に合わせて調整できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

<活用場面判断力>

Q18. どの校務で生成A I を活用すると効果的かを判断できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q19. 生成A I の活用が適さない校務を適切に判別できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q20. 校務の緊急度や重要度に応じて、生成A I 活用の優先順位を判断できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q21. 生成A I を活用する校務と、人間が直接行うべき校務を使い分けできる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q22. 校種（小・中・高）の特性を踏まえた生成A I活用を判断できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

<出力評価力>

Q23. 生成A Iが出力した内容の正確性を確認することができる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q24. 生成A Iの出力内容が校務の目的に適しているか評価できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q25. 生成A Iの出力内容について、教職員としての専門的な観点から適切性を判断できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q26. 生成A Iの出力に対して、必要な修正や補完を加えることができる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q27. 生成A Iの出力をそのまま使用してよいか、修正が必要かを判断できる

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

<倫理的配慮>

Q28. 生成A Iに個人情報を入力してはいけないことを理解し、実践している

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q29. 生成A Iを活用する際の著作権や知的財産権について配慮している

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q30. 生成A Iの出力をそのまま自分の成果として使用することの問題点を理解している

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q31. 校務で生成A Iを活用する際のセキュリティ面での注意点を理解し、実践している

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q32. 生成A Iを活用していることを必要に応じて適切に開示している

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

---

**【現在の活用状況】**

Q33. 現在、校務において生成A Iをどの程度活用していますか。該当するものを選んでください。

- 日常的に活用している（週3回以上）
- 定期的に活用している（週1-2回程度）
- 時々活用している（月数回程度）
- たまに活用している（月1回程度）
- ほとんど活用していない

Q34. 生成A Iを活用している校務について、該当するものすべてを選んでください。

- 学年、学級通信の作成

- 保護者向け文書の作成
- 会議、打合せ資料作成
- 校務分掌に関する文書作成
- 授業用ワークシート作成
- テスト問題作成
- 授業案の作成（流れ、発問等）
- 生徒の感想・考えの分類
- 各種アンケートの記述分類、分析
- 学校評価アンケートの分析
- 通知票所見
- 指導要録所見
- あいさつ、スピーチ原稿
- メール作成
- 学校行事等の企画・シナリオ案作成
- 部活動（課外活動）練習計画
- その他

#### 【生成A I 活用への意識】

以下の項目について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。

< 関心・意欲 >

Q35. 生成A I を校務に活用することに関心がある

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とてもそう思う

Q36. 生成A I の新しい活用方法について積極的に学びたいと思う

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とてもそう思う

Q37. 生成A I を活用した校務改善に意欲的に取り組みたい

- 1: 全くそう思わない
- 2: そう思わない
- 3: どちらでもない
- 4: そう思う
- 5: とてもそう思う

Q38. 生成A I 活用に関する研修があれば参加したいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q39. 生成A Iの最新情報や活用事例を収集することに興味がある

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q40. 同僚と生成A I活用について情報交換することに積極的である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

<抵抗感・不安感>

Q41. 生成A Iを校務に活用することに抵抗感がある

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q42. 生成A Iを使うことで、教職員としての専門性が軽視されるのではないかと不安である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q43. 生成A Iの操作や活用方法が難しそうで不安である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q44. 生成A Iを使うことで個人情報漏洩するのではないかと心配である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない

- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q45. 生成A I が出力した内容に誤りがあった場合の責任について不安である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q46. 生成A I に頼りすぎることで、自分の能力が低下するのではないかと心配である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q47. 生成A I の活用について、保護者や地域から理解を得られるか不安である

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

<有用性の認識>

Q48. 生成A I は校務の効率化に有効だと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q49. 生成A I を活用することで、校務にかかる時間を短縮できると思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q50. 生成A I を活用することで、校務の質を向上させることができると思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う

- 5：とてもそう思う

Q51. 生成A Iを活用することで、教育活動により多くの時間を割けるようになると思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q52. 生成A Iは教職員の働き方改革に貢献すると思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q53. 生成A Iを活用することで、創意工夫の余地が広がると思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q54. 生成A Iは教育の質向上に貢献すると思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

<継続的活用意向>

Q55. 今後も継続的に生成A Iを校務に活用したいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q56. 現在活用している以外の校務でも生成A Iを使ってみたいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q57. 生成A Iの活用範囲を徐々に拡大していきたいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q58. 同僚に生成A I の活用を勧めたいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q59. 他の学校の教職員にも生成A I 活用の良さを伝えたいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

Q60. 自分なりに生成A I の活用方法を工夫・開発していきたいと思う

- 1：全くそう思わない
- 2：そう思わない
- 3：どちらでもない
- 4：そう思う
- 5：とてもそう思う

---

#### 【総合的な気持ち】

Q61. 現在の生成A I 活用に対する気持ちに最も近いものを選んでください。

- とても前向き
- どちらかといえば前向き
- どちらでもない
- どちらかといえば後ろ向き
- とても後ろ向き

---

#### 【校務負担感調査】

以下の校務について、現在のあなたの負担感を選んでください。

Q62～Q77. 各校務項目の負担感

- 学年、学級通信の作成
- 保護者向け文書の作成
- 会議、打合せ資料作成
- 校務分掌に関する文書作成

- 授業用ワークシート作成
- テスト問題作成
- 授業案の作成（流れ、発問等）
- 生徒の感想・考えの分類
- 各種アンケートの記述分類、分析
- 学校評価アンケートの分析
- 通知票所見
- 指導要録所見
- あいさつ、スピーチ原稿
- メール作成
- 学校行事等の企画・シナリオ案作成
- 部活動（課外活動）練習計画

各項目について：

- 0：なし
  - 1：軽い
  - 2：やや軽い
  - 3：普通
  - 4：やや重い
  - 5：重い
-

## 文書作成支援

保護者向け文書	プロンプトの説明
<u>保護者向け文書校正</u>	学校文書の内容を入力すると、保護者が理解しやすい表現に校正された完成文書を作成します。
<u>学年通信の記事構成</u>	学年・時期・行事等の基本情報を収集すると、保護者向けの構造化されたA4サイズ1枚の学年通信を作成します。
<u>緊急のお便り（多言語対応）</u>	発行日・緊急連絡内容・対象学年・保護者への依頼事項を入力すると、お便りを作成します。
<u>学級通信記事作成</u>	作成したい記事についての情報を入力すると、A4サイズ1ページ分の学級通信を作成します。
<u>教科通信</u>	教科名と学年を入力すると、対話を通じてテーマや学習ポイントを収集し、生徒の興味を引く魅力的な教科通信を作成します。
<u>保健だより作成</u>	対象学校・発行月・健康トピック・学校行事を選択すると、A4サイズの保健だよりを作成します。
<u>図書だより作成</u>	対象読者・発行月・テーマ・新着図書情報を入力すると、児童生徒や保護者向けの図書だよりを作成します。
<u>教育相談だより作成支</u>	対象・目的・テーマ等を入力すると、学校の教育相談だより記事の最適化された教育相談だよりを作成します。
会議・研修会	プロンプトの説明
<u>会議議事録</u>	文字起こしテキストデータを入力すると、会議の基本情報から決定事項まで自動抽出した効率的な議事録を作成します。
<u>スピーチ原稿案</u>	立場・場面・スピーチの長さ・伝えたいメッセージなどを入力すると、スピーチ原稿を作成します。
<u>研修報告書作成</u>	研修資料・報告書の目的・分量・などを入力すると、効果的な研修報告書を作成します。
<u>コンプライアンス研修資料（演習用クイズ）</u>	対象教職員と重視分野・問題数を入力すると、実践的な教員向けコンプライアンスクイズを作成します。
<u>コンプライアンス研修資料（正誤問題）</u>	対象校種と研修テーマを選択すると、岩手県教職員コンプライアンスマニュアルに基づく実践的な正誤問題5問を作成します。
<u>PowerPoint用アウトライン形式変換</u>	テキスト内容を入力すると、PowerPoint用のアウトライン形式に変換できます。

スケジュール・計画・資料作成	プロンプトの説明
<u>行事計画書の作成</u>	行事の種類や規模等を入力すると、目的から役割分担まで網羅した実践的な行事計画書を作成します。
<u>スケジュール作成（汎用）</u>	プロジェクト目的、除外期間や考慮事項を入力すると、実現可能な詳細スケジュール表を作成します。
<u>スケジュール作成（校務特化）</u>	プロジェクト期間・校務分掌種別・関係者を入力すると、スケジュール表を作成します。
<u>席替え</u>	教室の座席情報を入力すると、配慮事項を反映した最適な座席配置表を作成します。
<u>特別支援個別支援計画</u>	児童生徒の特性・年齢・課題・用途等を入力すると、個別最適化された特別支援教育計画を作成します。
<u>不登校生徒への段階的アプローチ計画</u>	学年・不登校期間・原因・目標を入力すると、段階的な不登校支援アプローチ計画を作成します。
<u>校外活動の準備リスト作成</u>	活動種類・対象者・目的地・日数・重視する教育的側面を入力すると、校外活動準備リストを作成します。
<u>教育施策を落とし込むためのガイド</u>	目的・対象校種・実施段階・時間制約を入力すると、現場対応型教育施策実装ガイドを作成します。
<u>複数年表から対照表を作成する</u>	複数の歴史データと希望する出力形式を入力すると、対照年表を作成します。
<u>保護者面談スケジュール調整</u>	希望日程と面談設定情報を入力すると、配慮事項を考慮した面談スケジュールを作成します。
<u>校内スケジュール調整案内文</u>	案件詳細と候補日時を入力すると、組織階層に配慮した丁寧で効果的な校内スケジュール調整案内文を作成します。

文書整理・修正	プロンプトの説明
<u>生徒指導記録の要約</u>	生徒指導記録の基本情報と特記事項を入力すると、職員間で共有しやすい構造化された要約レポートを作成します。
<u>通知文書の要約（情報共有）</u>	通知文書・背景情報・強調ポイントを入力すると、教育行政通知の効果的な要約とチェックリストを作成します。
<u>文書の添削</u>	文章の種類と添削対象テキストを入力すると、詳細な修正点を表形式で示す校正結果を作成します。
<u>文書の添削&amp;ブラッシュアップ</u>	文書種類・対象・目的と文書を入力すると、教育現場に配慮した適切な表現への改善案、入力した文書の評価も出力します。

<u>文字起こしテキスト修正</u>	文字起こしテキストを入力すると、自然な日本語表現に校正された読みやすい文章を作成します。
<u>文書の文字数調整</u>	テキスト・使用目的・目標文字数・読者層・文体などを入力すると、最適化された編集済み文章を作成します。
<u>文章の炎上リスクチェック</u>	文書の種類・読者層・文化的配慮事項を入力すると、学校文書の法的・倫理的リスクを評価し改善案を提示できます。
<u>テキスト分析（参照して質疑応答）</u>	テキスト内容と質問を入力すると、信頼度レベル付きの研究分析レポートを作成します。
<u>通知表のコメント作成</u>	児童の基本情報・行事の様子・成長の度合いを入力すると、具体的なエピソードを交えた温かい通知表コメントを作成します。
<u>指導要録の所見文作成</u>	児童の基本情報や具体的エピソードを入力すると、成長を重視した適切な文字数の指導要録所見文を作成します。

その他	プロンプトの説明
<u>一般的な〇〇書のテンプレートを作成する</u>	文書の種類・用途・対象者を入力すると、A4サイズの教育現場用文書テンプレートを作成します。
<u>LGBTQガイドライン草案</u>	使用目的・対象者・学校種別・重点課題等を入力すると、LGBTQの生徒向け学校環境ガイドラインを作成します。
<u>学校トラブル初期対応資料</u>	文書の種類・用途・対象者を入力すると、A4サイズの教育現場用文書テンプレートを作成します。
<u>不登校支援記録整理</u>	教職員の自由記述の対応メモを入力すると、統一されたフォーマットで継続的な支援記録を作成します。
<u>学校施設安全点検チェックリスト作成</u>	校種と点検目的・頻度を入力すると、法的要件と実用性を両立した施設安全点検チェックリストを作成します。
<u>学校害獣対策（熊）指導書作成</u>	地域特性と対象者を入力すると、熊の生態から緊急時対応まで網羅した実践的な害獣対策指導書を作成します。
<u>いじめ防止対策計画立案</u>	学校種別・規模・地域特性といじめ問題の現状を入力すると、体系的ないじめ防止対策計画を作成します。
<u>体罰・不適切指導防止マニュアル作成</u>	学校種別・対象者・重点課題を入力すると、体罰・不適切指導防止マニュアルを作成します。
<u>セクハラ・パワハラ防止研修計画作成</u>	実施制約や重点課題等を入力すると、実践演習を含むハラスメント防止研修計画を作成します。

<u>写真掲載同意書（保護者向け）作成</u>	学校種別・掲載目的・撮影対象を入力すると、法的要件を満たしたA4サイズ1枚の写真掲載同意書を作成します。
<u>教職員向け交通事故防止指導書作成</u>	教職員の通勤環境や発生問題を選択入力すると、対象に特化した実践的交通安全指導書を作成します。
<u>特別支援教育 受診文書作成支援</u>	子供の行動や学習状況を選択入力すると、医療機関向けの専門的な受診文書を作成します。
<u>道徳所見（2学期）中学校</u>	生徒の振り返り記述や教師の学習観察メモ（表形式）を提供すると全員分の道徳所見を一括して出力します。
<u>道徳所見（3学期）中学校</u>	生徒の振り返り記述や教師の学習観察メモ（表形式）を提供すると全員分の道徳所見を一括して出力します。
<u>総合的な学習の時間所見（2学期）中学校</u>	生徒の振り返り記述や教師の学習観察メモ（表形式）を提供すると全員分の総合的な学習の時間の所見を一括して出力します。
<u>総合的な学習の時間所見（3学期）中学校</u>	生徒の振り返り記述や教師の学習観察メモ（表形式）を提供すると全員分の総合的な学習の時間の所見を一括して出力します。
<u>小学校算数学習指導案「単元の構想」作成支援</u>	学年・単元名・児童の実態・指導の重点を入力すると、段階的な対話を通じて算数科の単元構想を作成します。
<u>小学校道徳科 通知表所見</u>	児童の振り返り記述や教師の学習観察メモ（表形式）を提供すると全員分の道徳所見を一括して出力します。
<u>小学校外国語 通知表所見作成</u>	児童の振り返り記述や教師の学習観察メモ（表形式）を提供すると全員分の外国語の所見を一括して出力します。

## 教材作成支援

<u>児童生徒の授業の振り返り（感想）の集約</u>	児童生徒の振り返り記述と学年・教科・分析目的等を入力するとカテゴリ分類から改善提案まで含む感想分析結果を作成します。
<u>商業高校のマーケティングケース教材作成</u>	学年・授業時間・重点分野等を入力すると指導案からワークシートまで含む実践的な教材を作成します。
<u>授業の確認テスト作成</u>	科目・学年・単元等の基本情報を入力すると問題から採点基準まで含む包括的な確認テストを作成します。
<u>生成A I プロンプトエンジニアリング理解度テスト作成</u>	習熟度・テスト形式・制限時間等を入力すると生成A I プロンプトエンジニアリング学習度確認テストを作成します。
<u>英語学習用ストーリー作成</u>	英語レベル・文法項目・ジャンル・単語リスト・キャラクター設定等を入力すると解説付きの効果的な英語学習ストーリーを作成します。
<u>学習用動画台本作成</u>	テキストデータ・対象者・使用目的・上演時間等を入力すると3人の固定キャラクターによる教育的な寸劇台本を作成します。
<u>ロイロノート用クイズ作成</u>	問題数・配点・対象者・出題範囲を入力するとロイロノートで使える4択クイズを作成します。
<u>文学作品（俳句や詩など）のバーチャル品評会</u>	作品本文・作品種類・品評会の目的などを入力すると複数視点による文学作品の建設的なバーチャル品評会を行います。
<u>朝の会のプラン提案</u>	対象学年・重視する教育効果・現在の課題・実施時間と人数などを入力すると魅力的な朝の会プランを作成します。
<u>特殊詐欺防止のためのロールプレイ教材</u>	詐欺タイプ・対象者・使用場面等を入力すると学校教育用の特殊詐欺対策ロールプレイ教材を作成します。
<u>生成A I を探究的学びの伴走者として活用するプロンプト集</u>	学習分野・A I リテラシー・成果物等を入力すると探究的な学びを支援する生成A I プロンプト集を作成します。
<u>心理的安全性を高める教室環境づくりアイデア</u>	目的・教育環境・重視する側面等を入力すると心理的安全性を高める教室環境づくりアイデアを作成します。
<u>多様な学習者に対応する柔軟な授業展開プラン</u>	校種・学年・学習者の多様性・配慮事項・指導体制等を入力すると柔軟な授業展開プランを作成します。
<u>学習進度に合わせた個別フィードバック文例集</u>	目的・対象学年・教科・文章の長さ等を入力すると学習進度に応じた個別フィードバック文例集を作成します。

<u>AIチューター（学習者用）</u>	学年・学習内容・気分を入力すると個別最適化された対話型チューターを作成します。
<u>社会的な見方・考え方を活用する「問い」の作成</u>	対象学年・単元テーマ・重視する見方・考え方・活用場面を入力すると社会科の探究問題リストを作成します。
<u>児童生徒の振り返りを基にしたテスト問題を作成</u>	児童生徒の振り返り記述を添付すると問題から採点基準まで含む包括的なテスト問題セットを作成します。
<u>通常学級におけるUD授業改善計画</u>	目的・対象学年・現状課題などを入力するとユニバーサルデザインを取り入れた授業改善計画を作成します。
<u>生徒の学びを可視化する評価方法の設計</u>	学習目標・評価目的等を入力すると生徒の学びを効果的に可視化する評価方法を作成します。
<u>生成AIを活用した授業準備時間短縮テクニック</u>	対象教員・教科・単元・課題・目標等を入力すると授業準備時間短縮テクニック案を作成します。
<u>テキストから年表を作成</u>	入力テキストと対象者・用途を指定すると、カスタマイズされた歴史年表を作成します。
<u>体育の授業案作成（小中学校）</u>	学年・運動単元・授業時間・使用施設などを入力するとA4サイズ1枚に収まる実践的な体育授業案を作成します。
<u>小学校算数授業での生成AI活用アイデア</u>	学年・単元・活用場面の基本情報を入力すると教師による生成AI活用のアイデアを作成します。
<u>部活動薬物乱用防止指導教材</u>	重点薬物・指導形式の基本情報を選択すると、科学的根拠に基づく効果的な薬物乱用防止指導教材を作成します。
<u>授業導入案アイデア出し</u>	教科・学年・単元・導入目的・時間等を入力すると授業導入案が提供できます。
<u>単元全体を見通した授業設計プラン</u>	学年・教科・単元・授業時数・設計目的・出力形式を選択すると、体系的な単元授業設計プランを作成します。
<u>多様な学習スタイル対応教材提案</u>	単元・学級の特徴等を入力すると学習スタイル（視覚・聴覚・体感・読書き）に対応したプランを作成します。
<u>子供の声を反映した授業改善プラン作成</u>	学年・科目・目的等を選択し、子供たちの声を入力すると段階的な授業改善プランを作成します。
<u>中学校技術（材料と加工の技術）木工製品アイデア</u>	家族の困りごと・授業時間・使用可能工具・技能レベル等を入力すると実用性と難易度を考慮した3つの製作品提案を作成します。
<u>学習用語の翻訳（対訳表）</u>	教材テキストと言語・学年情報を入力すると外国人児童生徒向けの多言語対訳表を作成します。
<u>小学校社会科教科書を基にした学習問題案を作成</u>	小学校社会科教科書の学習問題とページ画像を入力すると社会的な見方・考え方を生かした授業改善ガイドを作成します。

授業振り返りと改善点の発見	教科・時間・目的・重点等を入力すると授業の分析と優先度付き改善提案を作成します。
情報モラル教育 授業略案作成支援	対象学年や学級の課題、指導したい内容を表形式で入力すると、発達段階に応じた実践的な情報モラル授業略案が作成できます。

## データ分析支援

<u>児童生徒の授業の振り返り（感想）の集約</u>	児童生徒の振り返り記述と学年・教科・分析目的等を入力すると、カテゴリ分類から改善提案まで含む感想分析結果を作成します。
<u>学校評価アンケート分析（保護者対象）</u>	学校種別・教育方針・アンケートデータを入力すると、詳細分析と改善アクションプランを作成します。
<u>栄養バランス分析・改善提案</u>	年齢・性別・活動レベル・食事時間帯・アレルギー情報を入力すると、栄養バランス評価と教育的な改善提案を作成します。
<u>アンケート自由記述分類（原文も出力）</u>	アンケートタイトル・質問・記述内容を入力すると、類似点に基づく分類・総合考察を含む分析を行います。
<u>教育相談（クレーム含む）の分析と対応提案</u>	保護者からの相談内容・経緯・関係者情報・要望・対応履歴を入力すると、分析結果と具体的な対応案が段階的に作成できます。
<u>文献・資料要点整理</u>	資料種類・目的・出力形式・重視観点を入力すると、資料分析レポートを作成します。
<u>事前アンケート結果を活用した研修デザイン</u>	研修テーマ・参加者属性・形式を入力すると、アンケート結果を生かした研修デザインを作成します。
<u>研修事前アンケート分析</u>	事前アンケートデータと選択項目を入力すると、研修設計に活用できる具体的な改善提案を作成します。
<u>研修事後アンケート分析</u>	分析目的・出力形式・重視項目・活用予定を入力すると、教育研修の分析レポートを作成します。
<u>【研究】記述分析（内容分析）</u>	分析目的・出力形式・分析アプローチ・分析軸を入力すると、質的データ分析レポートを作成します。
<u>【研究】記述分析（テーマ分析）</u>	データ種類・研究課題・教育的側面等を入力すると、テーマ分析型教育研究レポートを作成します。
<u>【研究】記述分析（GTA：グラウンデッド・セオリーアプローチ）</u>	研究テーマ・データ形式・分析段階・出力形式を入力すると、分析レポートを作成します。
<u>【研究】記述分析（汎用版）</u>	研究目的・データ形式・分析手法・報告要件を入力すると、データ分析レポートを作成します。
<u>【研究】談話分析（インタビューテキスト）</u>	インタビューテキストの研究目的と分析手法を選択すると、談話分析レポートを作成します。
<u>国語授業初発感想分析</u>	学年・単元名・授業者のねらい・児童生徒の感想データを入力すると、学習状況を詳細に分析レポート作成ができます。

<u>学力調査結果を活用した「考える力」育成ルーブリック作成</u>	対象学年・教科・学力調査課題を入力すると、思考力育成ルーブリックを作成します。
<u>保護者面談スケジュール調整</u>	希望日程と面談設定情報を入力すると、配慮事項を考慮した面談スケジュールを作成します。
<u>不登校支援記録整理</u>	教員の自由記述の対応メモを入力すると、統一されたフォーマットで継続的な支援記録を作成します。
<u>高等学校体験入学アンケート分析</u>	体験入学アンケートの学校情報・分析目的・出力形式等を入力すると、改善提案レポートを作成します。
<u>i-check 結果に基づく生徒指導支援</u>	i-check 数値結果と生徒の基本情報を入力すると、個別化された指導支援案を作成します。
<u>i-check をもとにした生徒向け対話エージェント</u>	生徒自身が i-check アンケート結果を見ながら使用します。A I と対話し、学習意欲向上に向けた計画づくりをします。
<u>学校評価アンケート分析プロンプト</u>	アンケート分析の設定項目を選択し、Excel データを添付すると統計分析を実行し教職員向け報告書が作成できます
<u>記述アンケート分析（校務支援システム対応）</u>	記述アンケートの回答内容を入力すると、K J 法で分析を行い、改善提案を作成します。 ※校務支援システムのアンケート機能対応
<u>「睡眠習慣チェックシート」を活用した睡眠習慣改善支援</u>	「睡眠習慣チェックシート」チェック 14 項目を入力すると、科学的根拠に基づいた優先改善項目と 1 週間の具体的な行動計画が作成できます。
<u>睡眠改善シート結果アドバイス作成</u>	1 週間の睡眠記録データを入力すると、達成状況を分析し改善点を具体的に示した個別アドバイスシートが作成できます

## コミュニケーション支援

<u>通知表のコメント作成</u>	児童生徒の基本情報・行事の様子・成長の度合いを入力すると、具体的なエピソードを交えた温かい通知表コメントを作成します。
<u>指導要録所見文の生成</u>	児童生徒の基本情報や具体的エピソードを入力すると、成長を重視した適切な文字数の指導要録所見文を作成します。
<u>入学式式辞</u>	学校情報と式典の要望を入力すると、心に響く感動的な入学式辞を作成します。
<u>ニュースタイトルからスピーチ作成</u>	選択したニュース・スピーカーの立場・聴衆・場面・優先事項を入力すると、教育現場向けスピーチ原稿を作成します。
<u>メール作成</u>	メールの目的・宛先・日程を選択すると、行政機関向けビジネスメールを作成します。
<u>メール返信文作成</u>	元メール内容・相手との関係性・返信目的・文章量等を入力すると、教育機関・行政機関に適した返信メールを作成します。
<u>教育関係者スピーチ作成</u>	立場・場面・スピーチの長さ・伝えたいメッセージなどを入力すると、スピーチ原稿を作成します。
<u>多言語日常会話フレーズ集</u>	立場・場面・スピーチの長さ・伝えたいメッセージなどを入力すると、スピーチ原稿を作成します。
<u>会議録（文字起こしテキストから）</u>	開催日・参加者・議題等を入力すると、基本情報からアクションアイテムまで網羅した詳細な議事録を作成します。
<u>学習用語の翻訳（対訳表）</u>	教材テキストと言語・学年情報を入力すると、外国人児童生徒向けの多言語対訳表を作成します。
<u>いろいろな専門家との意見交換壁打ち</u>	専門分野・具体的課題などを入力すると、複数専門家による課題解決セッションを作成します。
<u>自分の立場と相手の情報を基に雑談の話題提案</u>	雑談の目的・対象者・場面・時間・関係性・配慮事項を入力すると、教育現場に適した雑談話題を作成します。
<u>元気がない相手（児童生徒、教職員）への声掛け</u>	対象者の関係性・学年・具体的な様子やなどを入力すると、教育現場で実践可能な具体的な声掛け例を作成します。
<u>会議等での質問作成</u>	会議資料と参加者構成を入力すると、教育的意義のある重要な質問リストを作成します。
<u>ペルソナ作成</u>	ペルソナの目的・業界・重視する要素を入力すると、詳細で実用的なペルソナを作成します。
<u>面接の想定質問</u>	面接の種類・対象者・目的を入力すると、効果的な面接質問リストを作成します。
<u>高校生向け進路相談アドバイザー</u>	高校生の基本情報・興味分野・進路希望を入力すると、個別対応の進路アドバイスを作成します。

<u>学習意欲が低い児童生徒の支援 面談質問</u>	対象年齢・面談者・重視する動機・学習状況を選択すると、個別対応の面談質問リストを作成します。
<u>保護者面談準備</u>	面談目的・児童生徒情報を入力すると、個別最適化された保護者面談準備資料を作成します。
<u>教職員の経験共有アイスブレイク</u>	対象教職員・目的・人数・時間・話題等を入力すると、教員交流アイスブレイク活動案を作成します。
<u>研修担当者のファシリテーションスキルアップ</u>	研修目的・対象・学校種等を入力すると、教員研修に特化したファシリテーション技法を作成します。
<u>教職員研修転換ガイド（対話型研修を目指す）</u>	研修形式・課題・対象・重視する要素等を入力すると、対話型への研修転換ガイドラインを作成します。
<u>教育実習不安解消ガイド</u>	校種・教科・実習期間・不安内容を入力すると、個別対応型の教育実習成功ガイドを作成します。
<u>一人で抱え込まない教師力向上ガイド</u>	目的・課題・学校環境・緊急度を入力すると、個別状況に対応した相談計画を作成します。
<u>教職員の弱さを強みに変える</u>	教育環境・弱み・教師特性を入力すると、自分を認めて、立ち直る力を育てるプログラムを作成します。
<u>子どもとの信頼関係構築（教室での安心感を生み出すスキル）</u>	教育段階・経験レベル・課題等を入力すると、教室での安心感を生み出すテクニックガイドを作成します。
<u>外国人保護者とのスムーズな連絡方法設計</u>	目的・教育機関種類・保護者情報・課題を入力すると、多文化対応コミュニケーション設計書を作成します。
<u>インシデント対応想定問答A（標準）</u>	組織名と事象種類を入力すると、適切な想定質問と適切な回答例を含む質問セットを作成します。
<u>インシデント対応想定問答B（追及型）</u>	組織名と事象種類を入力すると、組織の責任追及を想定した厳格な質問と適切な回答例を含む危機対応質問セットを作成します。
<u>教職員メンタルヘルス初期対応（職場内）</u>	場面・対応状況などを入力すると、教職員向けメンタルヘルス初期対応の質問と声掛け例文集を作成します。
<u>メールの要点整理</u>	出力形式・メール文脈等を入力すると、構造化された業務メール要点整理書を作成します。
<u>保護者向け連絡メモ</u>	学年・作成目的・文字表記設定・メモ内容を入力すると、保護者向け連絡メモを作成します。
<u>学校・教育委員会クレーム対応方針</u>	学校・教育委員会の機関種別とクレーム内容を入力すると実践的な初期対応マニュアルを作成します。
<u>学校トラブル初期対応資料</u>	学校名・役割・トラブル状況を入力すると、危機管理に必要な4つの重要文書が包括的に作成できます。
<u>A L Tとの授業打合せ資料作成</u>	基本情報と授業関連資料を入力すると、役割分担を明確にした実用的な授業打合せ資料を作成します。

<u>AI教育相談</u>	相談者の立場・言語・相談分野を入力すると、多言語対応可能な専門教育相談と具体的解決策が提供できます。
<u>若手教職員向けQ&amp;A資料作成</u>	校種・経験・重点課題・分量・文体・活用場面を入力すると、心理的サポートも含むQ&A資料を作成します。
<u>保護者面談での効果的な伝え方ガイド</u>	教員経験・面談種類・課題・不安要素を入力すると、保護者面談での効果的な伝え方ガイドを作成します。
<u>カウンセリング的対話スキル向上支援</u>	重視スキル・現在の課題等を入力すると、教員向け生徒対応スキル向上プログラムを作成します。
<u>生成AI活用への不安払拭Q&amp;A集</u>	想定される不安・Q&A集の規模を入力すると、教員向けの生成AI導入の不安解消を目的としたQ&A集を作成します。
<u>保護者クレーム対応マニュアル作成</u>	対象職員の立場・経験レベル等を入力すると、実践的な保護者クレーム対応マニュアルを作成します。

## アイデア創出支援

<u>カレーのレシピ提案</u>	選択式の質問に答えると、人数・辛さ・具材・栄養情報などの条件に合わせたカレーレシピが自動生成できます。
<u>中学校技術（材料と加工の技術）木工製品アイデア</u>	家族の困りごと・授業時間・使用可能工具・技能レベル等を入力すると、実用性と難易度を考慮した3つの製作品提案が作成できます。
<u>地域の特産品を使ったメニュー提案</u>	地域名・特産品・メニュータイプを入力すると、地域特色を生かした創造的メニューが提案できます。
<u>料理レシピ提案</u>	料理ジャンル・味の好み・調理時間・難易度・予算・材料などを入力すると、最適化されたレシピが作成できます。
<u>心理的安全性を高める教室環境づくりアイデア生成</u>	目的・教育環境・重視する側面等を入力すると、心理的安全性を高める教室環境づくりアイデアが作成できます。
<u>朝の会のアイデア</u>	対象学年・重視する教育効果・現在の課題・実施時間と人数などを入力すると、魅力的な朝の会プランが作成できます。
<u>部活動などの練習メニュー作成</u>	部活動の種類・レベル・課題・環境を入力すると、目標達成に効果的な練習メニューが作成できます。
<u>学校組織における分散型リーダーシップの実現ガイド</u>	目的・対象組織・現状課題・ステークホルダー等を入力すると、分散型リーダーシップ実現ガイドラインが作成できます。
<u>教職員向け研修企画</u>	研修テーマと目的を入力すると、実施計画、評価方法を含めた教職員研修企画書が作成できます。
<u>教職員向け研修アウトライン作成</u>	校種・時間・目標等の基本情報を入力すると、時間配分から準備物まで具体的な教職員研修アウトラインが作成できます。
<u>劇シナリオ修正・改善（既存のシナリオを基に）</u>	劇の種類や演者の学年、改善課題を入力すると、学習発表会等に最適化されたシナリオ修正案が作成できます。
<u>劇シナリオ作成（学習内容を基に）</u>	学習内容の基本情報を入力すると、学習目標を達成する本格的な劇シナリオが作成できます。
<u>小学校算数授業での生成AI活用アイデア</u>	学年・単元・活用場面の基本情報を入力すると、教師による生成AI活用のアイデアが作成できます。
<u>部活動薬物乱用防止指導教材</u>	重点薬物・指導形式の基本情報を選択すると、科学的根拠に基づく効果的な薬物乱用防止指導教材が作成できます。
<u>授業導入案アイデア出し</u>	教科・学年・単元・導入目的・時間等を入力すると、授業導入案が提供できます。

<u>教育データから導く「キラ ーユースケース」の発見・ 提案</u>	目的・出力形式・対象現場・データ種類等を入力すると、データ活用ユースケースが提案できます。
<u>子供の声を反映した授業改 善プラン作成</u>	学年・科目・目的等を選択し、子供たちの声を入力すると、段階的な授業改善プランが作成できます。

## 【補助資料4】小学校学習発表会シナリオ作成

### 1 プロンプト（入力内容はサンプル）

#### 劇シナリオ作成（学習内容を基に）

あなたは経験豊富な脚本家・演出家です。

学習内容（総合的学習等）を基に、学習発表会等で上演する劇のシナリオを新規作成してください。

#### 作業の流れ

**Step 1:** まず下記の基本情報を収集します

**Step 2:** 基本情報収集後、改めて学習内容の詳細資料の提供を依頼します

**Step 3:** 提供された学習内容を分析し、具体的なシナリオを作成します

※学習内容の詳細資料は基本情報入力後に別途提供していただくため、この段階では不要です。

#### 基本情報の収集

項目	入力例・選択肢	入力欄
劇の種類	1. 学習発表会 2. 文化祭・学園祭 3. 授業参観日 4. 学芸会 5. 卒業式・入学式 6. 地域のイベント 7. クラス内発表 8. その他 回答例：「1」または「8：文化祭での部発表」	1
演者の学年	1. 幼稚園・保育園 2. 小学校低学年（1-2年生） 3. 小学校中学年（3-4年生） 4. 小学校高学年（5-6年生） 5. 中学生 6. 高校生 7. 大学生・専門学生 8. その他 回答例：「3」または「8：小学1年生と6年生の混合」	4

<b>学習分野・教科</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合的な学習の時間</li> <li>2. 社会科（歴史・地理・公民）</li> <li>3. 理科（環境・生物・物理・化学）</li> <li>4. 国語（文学・古典・現代文）</li> <li>5. 道徳・人権教育</li> <li>6. 国際理解教育</li> <li>7. 環境教育</li> <li>8. 情報教育</li> <li>9. キャリア教育</li> <li>10. 複数教科の統合</li> <li>11. その他</li> </ol> <p>回答例：「1」または「11：防災教育」</p>	<p>1</p>
<b>学習テーマ・単元名</b>	<p>具体的な学習テーマや単元名を入力</p> <p>回答例：「地域の歴史と文化」「環境問題とSDGs」「戦争と平和」「職業調べ」</p>	<p>宮沢賢治の生き方</p>
<b>重視したい学習目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識・技能の習得</li> <li>2. 思考力・判断力・表現力の育成</li> <li>3. 学びに向かう力・人間性の涵養</li> <li>4. 協働性・コミュニケーション力</li> <li>5. 問題発見・解決能力</li> <li>6. 創造性・想像力</li> <li>7. 社会参画意識</li> <li>8. 多様性の理解</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>回答例：「2,4,5」または「すべて」</p>	<p>2,3,8</p>
<b>希望するシナリオのスタイル</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感動的なドラマ</li> <li>2. コメディ・笑いを重視</li> <li>3. ミュージカル風</li> <li>4. ドキュメンタリー風</li> <li>5. ファンタジー・空想的</li> <li>6. 現実的・リアルな描写</li> <li>7. 参加型・インタラクティブ</li> <li>8. 朗読劇・群読</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,6」または「9：紙芝居風」</p>	<p>1,5</p>

上演時間の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 5分以内</li> <li>2. 10分程度</li> <li>3. 15分程度</li> <li>4. 20分程度</li> <li>5. 30分程度</li> <li>6. 45分程度</li> <li>7. 1時間程度</li> <li>8. 特に制限なし</li> <li>9. その他</li> </ul> <p>回答例：「3」または「9：25分程度」</p>	3
出演者数	<p>具体的な人数を数字で入力</p> <p>回答例：「15」「20～25」「約30名」</p>	32名
舞台設備や道具の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 体育館での上演</li> <li>2. 教室での上演</li> <li>3. 野外での上演</li> <li>4. 音響設備あり</li> <li>5. 照明設備あり</li> <li>6. 舞台装置制作可能</li> <li>7. 衣装制作可能</li> <li>8. 小道具使用可能</li> <li>9. ほぼ何も使えない</li> <li>10. その他</li> </ul> <p>回答例：「1,4,6,7」または「9」</p>	<p>1,4,7,8</p> <p>宮沢賢治作「星めぐりの歌」を使用したい。</p>
想定観客	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 保護者・家族</li> <li>2. 他の生徒・児童</li> <li>3. 先生・教職員</li> <li>4. 地域の方々</li> <li>5. 同年代の友人</li> <li>6. 幼い子どもたち</li> <li>7. 高齢者の方々</li> <li>8. その他</li> </ul> <p>回答例：「1,2,3」または「すべて」</p>	1,2,3,4
特に伝えたいメッセージ	<p>学習を通して伝えたいメッセージや価値観を具体的に記入</p> <p>回答例：「環境を大切に作る心」「多様性を認め合う社会」「平和の尊さ」</p>	<p>環境を大切にする</p> <p>多様性を認め合う</p> <p>平和の尊さ</p>

## 基本情報収集後のプロセス

上記の基本情報をすべて収集した後、以下のメッセージをユーザーに送ってください：

「ありがとうございます。基本情報を確認いたしました。次に、学習内容の詳細資料を提供してください。以下のような資料を、いずれかの方法で提供してください：

学習指導案や授業計画

学習した内容をまとめた資料

調べ学習の結果や発表資料

教科書の該当ページや参考資料

テキストで直接貼り付け

PDF ファイルのアップロード

Word ファイルのアップロード

その他のドキュメントファイル」

## シナリオ作成の出力形式

学習内容の詳細資料が提供された後、以下の形式でシナリオを作成してください：

### 1. 学習内容分析

提供された学習内容の概要（主要なポイント、キーワード）

劇化に適した要素の抽出（ドラマ性のある部分、視覚化できる内容）

学習目標との関連性（どの学習目標を劇でどう表現するか）

### 2. シナリオ構成案

全体の構成・流れ（起承転結、場面構成）

主要な登場人物設定（役割、性格、セリフの特徴）

重要な場面・シーンの設定（クライマックス、メッセージ伝達場面）

### 3. 完成シナリオ

登場人物一覧（役名、特徴、演者への指示）

場面ごとの詳細なシナリオ（セリフ、ト書き、演出指示）

ナレーション・効果音・音楽の指示

### 4. 演出アドバイス

効果的な演出方法の提案（動作、表情、声の出し方等）

舞台設備・道具の活用方法（利用可能な設備を最大限活用する方法）

視覚的効果の工夫（衣装、小道具、背景等の提案）

学習内容を効果的に伝える工夫

### 5. 指導・練習のポイント

年齢に応じた指導のコツ（演者の年齢に適した指導方法）

学習内容理解を深める練習方法（内容の理解と演技の両立）

本番に向けての準備事項（リハーサル計画、注意事項等）

教育効果を高める工夫

## シナリオ作成時の重要な配慮事項

以下の点を必ず考慮してシナリオを作成してください：

**学習内容の正確性：** 学習内容を正確に反映し、誤解を招かない表現にする

**教育的価値：** 学習目標を明確に達成できる内容にする

**年齢適応性：** 演者の年齢・能力に適した表現レベルに調整する

**観客配慮：** 想定観客層を意識した内容・表現にする

**制約遵守：** 上演時間、出演者数、設備等の制約条件内で最大効果を追求する

**エンターテインメント性：** 教育的でありながら面白く魅力的な内容にする

**実現可能性：** 実際の練習・上演において現実的で実行可能な内容にする

**安全性：** 演者の安全を最優先に考慮した演出・動作を提案する

**包括性：** 全ての出演者が活躍できる場面を設置する

**メッセージ性：** 学習内容に基づく明確で前向きなメッセージを含む

### シナリオ作成のポイント

シナリオ作成では以下の要素を効果的に組み込んでください：

#### 学習内容の劇化手法：

抽象的な概念を具体的な場面で表現

歴史上の人物や出来事の再現

科学的現象の視覚化・体感化

社会問題の身近な事例への置き換え

#### 教育効果を高める工夫：

観客との対話・参加型要素の組み込み

重要なキーワードやメッセージの反復

視覚的・聴覚的な印象に残る演出

感情に訴える場面設定

#### 演者の成長を促す要素：

調べたことを自分の言葉で表現する場面

協力して問題を解決する場面

異なる立場や視点を理解する役割分担

創造性を発揮できる即興的要素

#### 最終確認事項

シナリオ作成を行う際は、以下の点を最終確認してください：

1. 学習内容が正確かつ効果的に表現されているか
2. 学習目標が明確に達成できる構成になっているか
3. 制約条件（時間、人数、設備）がすべて満たされているか
4. 演者の年齢・能力に適しているか
5. 観客層に適した内容になっているか
6. 教育的価値とエンターテインメント性のバランスが取れているか
7. 実際の上演で実現可能な内容か
8. 安全性に問題がないか

9. 全出演者に見せ場があるか

10. 伝えたいメッセージが明確に表現されているか

このプロンプトに従って、段階的に情報を収集し、学習内容に基づいた質の高いシナリオを作成してください。

[学習のまとめを資料として添付]

↑ここまでが配付プロンプト

## 2 出力結果

ご提供いただいた学習内容をもとに、劇シナリオの作成に入ります。

---

### 1. 学習内容分析

#### 学習内容の概要

- 宮沢賢治の生涯と思想（農民との共生、芸術と科学の融合、信仰、菜食主義）
- 妹トシとの絆と死を通じた文学的昇華
- 病と向き合いながらも理想を貫いた晩年
- 「雨ニモマケズ」「永訣の朝」「銀河鉄道の夜」などの作品世界

#### 劇化に適した要素

- 羅須地人協会での農民との交流（視覚化しやすく、協働性を表現可能）
- 芸術活動（チェロ演奏、レコード鑑賞）→音楽演出に活用
- トシとの別れと「永訣の朝」→感動的なクライマックス
- 「星めぐりの歌」→幻想的な演出に活用
- 賢治の理想と現実の葛藤→ドラマ性のある展開

#### 学習目標との関連性

- 思考力・判断力・表現力：賢治の思想や行動を自分たちの言葉で表現
  - 学びに向かう力・人間性：他者への思いやり、理想への挑戦を描く
  - 多様性の理解：宗教、価値観、生活様式の違いを受け入れる姿勢
- 

## 2. シナリオ構成案

### 全体構成（15分程度）

1. 【導入】賢治の幼少期と家族との葛藤
2. 【展開1】羅須地人協会での農民との交流と芸術活動
3. 【展開2】妹トシとの絆と死
4. 【転換】病床での創作と「雨ニモマケズ」の精神
5. 【クライマックス】「星めぐりの歌」に乗せて賢治の理想郷イーハトーブの幻想世界
6. 【結末】賢治の遺言と子どもたちへのメッセージ

#### 主要登場人物

- 宮沢賢治（主人公）：理想を追い求める青年

- トシ（妹）：賢治の理解者、優しく芯のある少女
- 農民たち：賢治の活動の対象、複数名で構成
- 賢治の父：現実的な商人、賢治との対立
- ナレーター：場面転換と解説を担当
- 子どもたち（現代の視点）：賢治のメッセージを受け取る役

### 重要な場面

- トシの死と「永訣の朝」の詩朗読
- 農民との肥料指導と芸術活動（チェロ演奏）
- 「雨ニモマケズ」の朗読と賢治の病床
- 「星めぐりの歌」による幻想的な旅

## 3. 完成シナリオ（抜粋）

### 配役

役名	特徴	演者への指示
宮沢賢治	理想を迫る青年	誠実で情熱的な語り口
トシ	優しい妹	柔らかく穏やかな声
父	商人	厳格で現実的な口調
農民 A~D	素朴な人々	明るく元気に
ナレーター	解説役	落ち着いた語り
子どもたち	現代の視点	素直な反応を大切に

### シーン構成（例）

#### 第1場：幼少期と家族の葛藤

- 父「賢治、お前は家業を継ぐのだ」
- 賢治「父さん、僕は農民のために生きたいんだ」

#### 第2場：羅須地人協会

- 農民 A「先生、肥料の選び方を教えてください」
- 賢治「この石灰が土を元気にするんです」
- 賢治、チェロを弾く。農民たちが耳を傾ける。

#### 第3場：トシとの別れ

- トシ「お兄ちゃん、ありがとう…」
- ナレーター「その朝、賢治は詩を書いた。『永訣の朝』」
- 詩の朗読（群読）

#### 第4場：病床と「雨ニモマケズ」

- 賢治「僕は…まだやることがある…」
- ナレーター「彼は病床で詩を書き続けた」
- 群読「雨ニモマケズ…」

#### 第5場：星めぐりの歌と幻想世界

- 音楽「星めぐりの歌」流れる
- 賢治とトシが銀河鉄道に乗る幻想シーン

- 子どもたち「賢治さんの夢、私たちが受け継ぎます！」

#### 4. 演出アドバイス

- 🎵【音楽】チェロ演奏（録音可）、星めぐりの歌は幻想的な照明とともに
- 👗【衣装】農民は素朴な服、賢治は白シャツと帽子、トシは白いワンピース
- 💡【照明】トシの死の場面は青白い光、星めぐりは暗転と星の投影
- 🎤【声の演出】「雨ニモマケズ」は群読で力強く、感情を込めて

#### 5. 指導・練習のポイント

- 👤【年齢配慮】小学校高学年向けに、セリフは短くわかりやすく
- 📖【内容理解】事前に賢治の生涯を学び、役の背景を共有
- 🎬【練習方法】場面ごとに分けて練習、感情表現に重点
- 🎯【教育効果】理想を持ち、他者を思いやる心を育む劇に

追加プロンプト：台本の全文、配役表を作成してください。

もちろんです。以下に、宮沢賢治の生涯と思想をもとにした劇「星めぐりの賢治」の台本全文と配役表をお届けします。小学校高学年向け、15分程度の上演時間を想定しています。

#### 📖 劇台本『星めぐりの賢治』

##### 配役表（32名）

役名	人数	役割・特徴
宮沢賢治	1	主人公。理想を追い求める青年。
トシ	1	賢治の妹。優しく賢治を支える存在。
父	1	商人。賢治に家業を継がせたい。
母	1	賢治を心配する優しい母。
農民たち	6	羅須地人協会で賢治と関わる人々。
生徒たち	4	農学校の生徒。賢治の教え子。
群読隊（雨ニモマケズ）	6	詩の朗読を担当。
星の精たち	6	「星めぐりの歌」シーンで登場。幻想的な存在。
ナレーター	2	場面転換と解説を担当。
現代の子どもたち	3	最後に登場。賢治のメッセージを受け取る。

#### 台本全文

##### 第1場：幼少期と家族の葛藤

（舞台中央に賢治と父母）

父：「賢治、お前は家業を継ぐのだ。それが家のためだ。」

賢治：「父さん、僕は農民のために生きたい。土を耕し、心を耕すんだ。」

母：「賢治…体を壊さないようにね。」

ナレーター①：「裕福な商家に生まれた賢治は、家業を継がず、農民の幸福を願って歩み始めました。」  
(暗転)

---

## 第2場：羅須地人協会

(農民たちが畑で作業。賢治が登場)

農民A：「先生、肥料の選び方がわからなくて…」

賢治：「この石灰を使ってみてください。土が元気になりますよ。」

農民B：「先生、チェロを弾いてください！」

(賢治がチェロを弾く。農民たちが静かに聴く)

ナレーター②：「賢治は、科学と芸術を融合させ、農民の心に光を灯しました。」

(暗転)

---

## 第3場：トシとの別れ

(病床のトシ。賢治がそばに座る)

トシ：「お兄ちゃん、ありがとう。私、幸せだったよ。」

賢治：「トシ…僕は君のために詩を書くよ。」

(ナレーター①が詩を朗読)

ナレーター①：「『永訣の朝』。それは、賢治の深い悲しみと愛の詩。」

(群読隊が詩の一節を朗読)

群読隊：「あめゆじゅとてちてけんじゃ…」

(静かに暗転)

---

## 第4場：病床と「雨ニモマケズ」

(賢治が机に向かって詩を書く)

賢治：「僕は…まだやることがある…」

ナレーター②：「病に倒れても、賢治は理想を追い続けました。」

(群読隊が登場し、詩を朗読)

群読隊：「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ…」

(照明が賢治に集まり、静かに暗転)

---

## 第5場：星めぐりの歌と幻想世界

(星の精たちが舞台に現れ、幻想的な音楽が流れる)

星の精①：「賢治さん、あなたの夢を見せてください。」

(「星めぐりの歌」が流れる。賢治とトシが銀河鉄道に乗る幻想シーン)

トシ：「お兄ちゃん、ここがイーハトーブ？」

賢治：「そうだよ。みんなが幸せに暮らせる理想の世界だ。」

(星の精たちが舞台を囲み、幻想的な踊り)

(暗転)

---

## 第6場：現代の子どもたち

(現代の子どもたちが登場)

子ども A：「賢治さんの夢、私たちが受け継ぎます！」

子ども B：「環境を大切に作る心を持って！」

子ども C：「多様性を認め合い、平和な世界をつくろう！」

ナレーター①：「賢治の生き方は、今を生きる私たちに問いかけます。」

(全員が舞台に並び、フィナーレ)

全員：「雨ニモマケズ、風ニモマケズ…私たちは、未来をつくる！」

(音楽「星めぐりの歌」再び流れ、幕)

---

追加プロンプト：場面ごとの詳細な台本を作成してください。

承知しました。以下に「第1場：幼少期と家族の葛藤」の詳細な台本を、演出指示・セリフ・動き・照明効果などを含めてご提供します。

---

## 第1場：幼少期と家族の葛藤 (約3分)

### 登場人物

- 宮沢賢治 (少年期)
- 父 (厳格な商人)
- 母 (優しく心配性)
- ナレーター①

### 舞台設定

- 舞台中央に座卓と帳簿 (商家の居間)
  - 照明は暖色系、家庭的な雰囲気
  - 背景に「花巻」の風景をイメージした布や絵
- 

### 台本

(照明がゆっくり明るくなる。ナレーターが舞台袖から登場)

#### ナレーター① (語り)

「大正時代の岩手県花巻。裕福な商家に生まれた少年、宮沢賢治は、家業を継ぐことを期待されていました。しかし、彼の心は、もっと遠くを見つめていました。」

(舞台中央。父が帳簿を見ながら座っている。賢治が本を読んでいる)

#### 父 (厳しい口調)

「賢治、お前もそろそろ店の仕事を覚えねばならん。米の仕入れ先はどうするか、帳簿の付け方も教えるぞ。」

#### 賢治 (少し戸惑いながら)

「父さん…僕は、農業を学びたい。土のこと、植物のこと…農民の役に立ちたいんだ。」

#### 父 (語気を強めて)

「農民の役に？お前は商人の家に生まれたんだぞ。学問は結構だが、家業を継ぐのが務めだ。」

### 母（優しく間に入る）

「まあまあ、あなた。賢治も自分の道を考えているのよ。そんなに急かさなくても…」

### 賢治（決意を込めて）

「僕は、ただお金を稼ぐために生きたくない。人のために、自然のために、何かできる人間になりたいんだ。」

（父、しばらく沈黙。母は賢治の肩に手を置く）

### 父（少しだけ柔らかく）

「…好きにしろ。ただ、家を出るなら覚悟して行け。」

（賢治、静かにうなづく）

（照明が少し暗くなり、ナレーターが前が出る）

### ナレーター①（語り）

「こうして賢治は、家業を継ぐ道を離れ、農業と教育の道へと進みました。理想を胸に、現実と向き合う旅が始まったのです。」

（照明がフェードアウト。場面転換）

## 演出ポイント

- 🗨️【動き】父は帳簿を見ながら厳格に振る舞い、賢治は本を抱えて少し距離を取る。母は両者の間に立ち、緩衝役として動く。
- 💡【照明】家庭的な暖色→葛藤の場面で少し暗く→ナレーションでスポットライト
- 🎵【音楽】場面終了時に静かなピアノ曲（賢治の旅立ちを暗示）

この場面は、賢治の理想と現実の葛藤を象徴する重要な導入部です。次の場面では、彼の理想がどのように形になっていくかを描いていきます。

## 🗨️ 第2場：羅須地人協会（約3～4分）

### 登場人物

- 宮沢賢治（青年期）
- 農民A～D（4名）
- 生徒たち（2名）
- ナレーター②

### 舞台設定

- 舞台中央に畑を模した布や土袋、農具（鍬、スコップなど）
- 舞台奥に「羅須地人協会」の看板（布製でも可）
- 照明は自然光をイメージした暖色系
- 背景に岩手の田園風景を模した絵や布

## 台本

(照明がゆっくり明るくなる。農民たちが畑で作業している)

### ナレーター② (語り)

「賢治は教師を辞めたあと、花巻の自宅を改装して『羅須地人協会』を設立しました。自ら畑を耕し、農民たちに科学と芸術を伝えようとしたのです。」

(賢治が登場。農民 A が声をかける)

農民 A: 「先生、今年の土は硬くて作物が育ちません…」

賢治: 「それなら、石灰を使ってみましょう。土の酸性を中和して、根が元気になります。」

農民 B: 「石灰って、どこで手に入るんですか？」

賢治: 「東北砕石工場に頼めば、良質なものが手に入ります。僕も技師として働いています。」

(生徒たちが登場)

生徒①: 「先生、今日は芸術の時間ですよ？」

賢治: 「そうだね。今日はチェロを弾こう。音楽は心の肥料だから。」

(賢治がチェロを構え、演奏を始める。静かな旋律が流れる)

(農民たちと生徒たちが静かに聴き入る)

農民 C (小声で): 「こんな音楽、初めて聴いた…」

農民 D: 「心が洗われるようだ…」

(演奏が終わる。賢治が語りかける)

賢治: 「農業は、ただ食べるための仕事じゃない。自然と向き合い、芸術とともに生きることが、農民芸術なんです。」

(ナレーター②が前に出る)

### ナレーター② (語り)

「賢治の提唱した『農民芸術』は、科学と芸術を融合させた新しい生き方でした。彼は、農民の心に希望の種をまいていたのです。」

(照明がゆっくり暗くなる。場面転換)

---

## 演出ポイント

- 👤 【動き】 農民たちは畑仕事の動作をリアルに演じる。賢治は穏やかで丁寧な所作。
- 💡 【照明】 自然光→チェロ演奏時はスポットライトで幻想的に
- 🎵 【音楽】 チェロ演奏は録音でも可。静かなクラシック曲 (例: バッハの無伴奏チェロ組曲)
- 🎭 【小道具】 鍬、スコップ、石灰袋 (紙袋で代用可)、看板、チェロ (模造品でも可)

---

この場面は、賢治の理想が具体的な行動として表れる重要な転換点です。次の第3場では、妹トシとの絆と別れを描き、感情の深まりを表現していきます。

---

## 👤 第3場: トシとの別れ (約3~4分)

### 登場人物

- 宮沢賢治 (青年期)

- トシ（病床の妹）
  - ナレーター①
  - 群読隊（6名）
- 

## 舞台設定

- 舞台中央に布団を敷いた病床（白布で表現）
  - 背景は薄暗く、静寂を感じさせる演出
  - 照明は青白いスポットライトでトシを照らす
  - 舞台袖に群読隊が控える
- 

## 台本

（照明がゆっくり青白く点灯。トシが病床に横たわり、賢治がそばに座っている）

### ナレーター①（語り）

「賢治の最愛の妹、トシ。彼女は賢治の最大の理解者でした。しかし、病魔は彼女を静かに蝕んでいきました。」

（賢治がトシの手を握る）

### トシ（弱々しく微笑みながら）

「お兄ちゃん…ありがとう。いつも私の話を聞いてくれて…」

### 賢治（感情を抑えながら）

「トシ…僕は、君のために詩を書くよ。君の命が、僕の言葉になる。」

### トシ

「それなら…私は、あなたの詩の中で生き続けるね。」

（トシが静かに目を閉じる。賢治がゆっくり立ち上がる）

### ナレーター①（語り）

「その朝、賢治は一篇の詩を書きました。『永訣の朝』。それは、妹への鎮魂と、命への祈りの詩でした。」

（照明が舞台全体に広がり、群読隊が登場）

---

## 群読：『永訣の朝』（抜粋）

※演出上、以下の詩は一部抜粋し、群読形式で感情を込めて朗読します。

### 群読隊（ゆっくりと、交互に）

「けふのうちに…」

「とほくへいってしまふわたくしのいもうとよ…」

「みぞれがふつておもてはくらい…」

「けふのうちに…」

「とほくへいってしまふわたくしのいもうとよ…」

（賢治が中央に立ち、静かに語る）

### 賢治

「トシ…君の命が、僕の言葉になった。僕は、君の分まで生きるよ。」

(照明がゆっくり暗くなる。ナレーターが前が出る)

#### ナレーター① (語り)

「トシの死は、賢治の文学に深い影を落としました。悲しみは、言葉となり、星となって、彼の作品に輝き続けたのです。」

(静かなピアノ音楽が流れ、場面転換)

---

#### 演出ポイント

- 🗨️【動き】賢治はトシのそばに静かに座り、手を握る動作を丁寧に。トシは微笑みながら語る。
  - 💡【照明】青白いスポットライト→群読時は舞台全体に広げる→最後は暗転
  - 🎵【音楽】静かなピアノ曲(例:ショパンのノクターン)を背景に
  - 📖【詩の演出】群読は交互に、感情を込めて。詩の意味を理解した上で朗読指導を行う
- 

この場面は、賢治の内面の深さと文学への転換点を描く、感動的なクライマックスの一つです。次の第4場では、病床での創作と「雨ニモマケズ」の精神を描き、賢治の生き方をさらに掘り下げていきます。

---

#### 🗨️ 第4場：病床と『雨ニモマケズ』(約3~4分)

##### 登場人物

- 宮沢賢治(病床の青年)
  - ナレーター②
  - 群読隊(6名)
- 

##### 舞台設定

- 舞台中央に布団と机(病床を表現)
  - 賢治は横になりながらも机に向かって詩を書く
  - 照明は薄暗く、静かな雰囲気
  - 群読隊は舞台袖から登場
- 

##### 台本

(照明がゆっくり青白く点灯。賢治が布団に横たわり、机に向かって筆を走らせている)

#### ナレーター② (語り)

「羅須地人協会での活動に奔走した賢治は、無理がたたって病に倒れました。病床に伏しながらも、彼は創作を続けました。」

(賢治が筆を止め、静かに語る)

#### 賢治(弱々しくも力強く)

「僕は…まだやることがある。人のために、土のために…この命が尽きるまで。」

(賢治が机の上に一冊の手帳を置く)

#### ナレーター② (語り)

「その手帳には、一篇の詩が記されていました。『雨ニモマケズ』。それは、賢治の生き方そのものを表

す言葉でした。」

(群読隊が登場。照明が舞台全体に広がる)

---

### 群読：『雨ニモマケズ』（抜粋）

※演出上、以下の詩は一部抜粋し、群読形式で感情を込めて朗読します。

#### 群読隊（交互に、力強く）

「雨ニモマケズ」

「風ニモマケズ」

「雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ」

「丈夫ナカラダヲモチ」

「慾ハナク」

「決シテ瞋ラズ」

「イツモシヅカニワラッテキル」

(賢治が静かに目を閉じる)

#### 賢治（ささやくように）

「そういう者に…私はなりたい…」

(照明がゆっくり暗くなる。ナレーターが前に出る)

#### ナレーター②（語り）

「病に苦しみながらも、賢治は最後まで理想を追い続けました。彼の言葉は、今も私たちの心に生き続けています。」

(静かな音楽が流れ、場面転換)

---

### 演出ポイント

- 👤【動き】賢治は弱々しくも意志を込めた動作。机に向かう姿勢に誠実さを込める。
  - 💡【照明】病床は青白いスポット→群読時は舞台全体に広げる→最後は暗転
  - 🎵【音楽】静かなピアノ曲（例：ラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」など）
  - 📖【詩の演出】群読はテンポを揃え、言葉の意味を感じながら朗読するよう指導
- 

この場面は、賢治の精神的な強さと「利他」の思想を象徴する重要な場面です。次の第5場では、「星めぐりの歌」による幻想的な旅を描き、賢治の理想郷イーハトーブを視覚的に表現します。

---

### 👤 第5場：星めぐりの歌と幻想世界（約3～4分）

#### 登場人物

- 宮沢賢治（幻想世界を旅する）
  - トシ（幻想の中で再会）
  - 星の精たち（6名）
  - ナレーター①
-

## 舞台設定

- 舞台全体を暗転し、星空を模した照明やプロジェクションを使用
  - 舞台奥に「銀河鉄道」のシルエット（布や段ボールで表現）
  - 星の精たちは白や銀の衣装、星型の小道具を持つ
- 

## 台本

（舞台が暗転し、星の瞬く音とともに照明がゆっくり点灯）

### ナレーター①（語り）

「病床の賢治は、夢の中で幻想の世界へと旅立ちます。そこは、彼が思い描いた理想郷——イーハトーブ。」

（星の精たちが舞台に現れ、ゆっくりと踊るように動く）

### 星の精①（優しく）

「ようこそ、賢治さん。あなたの願いが、星の光となってここに届きました。」

### 星の精②

「あなたがまいた希望の種は、今、銀河をめぐるっています。」

（「星めぐりの歌」が静かに流れ始める。賢治が舞台中央に立つ）

### 賢治（驚きと喜びを込めて）

「ここは…僕が夢見た世界…」

（トシが星の光の中から現れる）

### トシ（微笑みながら）

「お兄ちゃん、また会えたね。」

### 賢治（涙ぐみながら）

「トシ…君に見せたかったんだ、この世界を。」

### トシ

「見えてるよ。お兄ちゃんの心が、みんなの中に生きてる。」

（星の精たちが賢治とトシを囲み、幻想的な踊り）

### 星の精③（語りかけるように）

「あなたの言葉は、未来の子どもたちに届いています。」

（音楽が盛り上がり、照明が星空のように輝く）





### ナレーター①（語り）

「賢治の魂は、星々とともに旅を続けます。理想と愛を胸に、永遠の銀河をめぐるながら——」

（音楽が静かにフェードアウト。照明がゆっくり暗転）

---

## 演出ポイント

-  【照明】暗転から星空のプロジェクション、スポットライトで幻想的な空間を演出
  -  【音楽】「星めぐりの歌」（歌唱または録音）を幻想的に流す
  -  【動き】星の精たちはゆったりとした動きで舞台を巡る。トシの登場は光の中から
  -  【衣装】星の精は白・銀・青を基調に。トシは白い衣装で清らかさを表現
-

この場面は、賢治の理想郷「イーハトーブ」を視覚的・感情的に表現するクライマックスです。次の最終場面では、現代の子どもたちが賢治のメッセージを受け継ぐ姿を描き、劇全体のメッセージを明確に伝えます。

---

## 第6場：現代の子どもたち（約2～3分）

### 登場人物

- 現代の子どもたち（3名）
  - ナレーター①
  - 全キャスト（フィナーレで登場）
- 

### 舞台設定

- 舞台中央に学校の教室風のセット（机と黒板）
  - 背景に「未来」「地球」「平和」などを象徴する絵や布
  - 照明は明るく、希望を感じさせる色調
- 

### 台本

（照明が明るく点灯。子どもたちが教室風のセットに登場）

#### ナレーター①（語り）

「時は流れ、賢治の言葉は未来の子どもたちへと受け継がれていきます。」

#### 子ども A（元気に）

「宮沢賢治さんって、すごい人だったんだね。農業も芸術も、全部つなげて考えてた！」

#### 子ども B（真剣に）

「『雨ニモマケズ』の詩、心に残ったよ。人のために生きるって、カッコいい。」

#### 子ども C（優しく）

「トシさんとの絆も素敵だった。悲しいけど、愛があった。」

（3人が舞台中央に集まり、手を取り合う）

#### 子ども A

「環境を大切に作る心、私たちも持ちたい！」

#### 子ども B

「多様性を認め合って、みんなが笑顔になれる社会にしよう！」

#### 子ども C

「平和の尊さを忘れずに、未来をつくっていこう！」

（ナレーターが前が出る）

#### ナレーター①（語り）

「賢治の生き方は、今を生きる私たちに問いかけます。理想を持ち、他者を思いやる心。それが、未来への光となるのです。」

（音楽「星めぐりの歌」が再び流れ始める。全キャストが舞台に登場し、フィナーレ）

#### 全員（力強く）

「雨ニモマケズ、風ニモマケズ…私たちは、未来をつくる！」

(照明が舞台全体を明るく照らし、幕)

## 演出ポイント

- 🗨️【動き】子どもたちは元気に、自然体で演じる。フィナーレでは全員が舞台に並び、声を揃えてセリフを言う。
- 💡【照明】明るく温かい色調。フィナーレでは全体照明+星の投影で幻想と現実の融合を演出。
- 🎵【音楽】「星めぐりの歌」を再び流し、劇全体のテーマを回収。
- 👗【衣装】現代の子どもたちは制服や普段着風。フィナーレでは全員が統一感のある小物（星型バッジなど）を身につけると効果的。

この最終場面は、観客にメッセージを直接届ける場面です。賢治の思想が現代にどう生きているかを子どもたちの言葉で表現することで、教育的価値と感動を両立させます。ご希望があれば、フィナーレの演出プランや全体リハーサル計画もご提案できます。


**追加プロンプト：練習計画全10回（各回90分程度）を表形式で出力してください。**

もちろんです。以下に、劇『星めぐりの賢治』の練習を全10回（各回90分）で行うための練習計画を表形式でご提案します。各回の目的、内容、準備物、指導ポイントを明確に記載しています。

## 📅 練習計画表（全10回・各回90分）

回数	練習の目的	主な内容	準備物・環境	指導ポイント
第1回	全体理解と役決め	・劇のテーマ説明 ・台本読み合わせ（全体） ・配役決定	台本、筆記用具	賢治の生き方の背景を共有し、役への興味を引き出す
第2回	台本理解と役作り	・各役のセリフ読み ・役の性格・感情の確認 ・簡単な立ち稽古	台本、役割カード	感情表現の練習、セリフの意味を理解する時間を確保
第3回	第1場の練習	・第1場の動きとセリフ ・照明・音楽のタイミング確認	舞台セット（居間）、照明機材	家族の葛藤を丁寧に演じる。間の取り方を指導
第4回	第2場の練習	・農民とのやりとり ・チェロ演奏の演出 ・農具の扱い方	農具、小道具、音源	賢治の優しさと農民との交流を自然に表現
第5回	第3場の練習	・トシとの別れ ・群読「永訣の朝」練習	病床セット、詩カード	感情表現を重視。群読はテンポと声の強弱を調整
第6回	第4場の練習	・病床の演技 ・「雨ニモマケズ」群読	手帳、布団、詩カード	弱さの中の強さを表現。群読は一体感を意識
第7回	第5場の練習	・星の精の動き	星の衣装、照明、	幻想的な雰囲気づくり。動


	習	・幻想的な演出 ・「星めぐりの歌」演出	音源	きはゆったりと優雅に
第8回	第6場とフィナーレ	・現代の子どもたちのセリフ ・全員のフィナーレ練習	教室セット、星バッジ	メッセージを明確に伝える。声を揃えて力強く
第9回	通し稽古①	・全シーンを順に通す ・場面転換の確認	全セット、音響・照明	流れを意識。場面ごとのテンポと切り替えを確認
第10回	通し稽古② +最終調整	・本番同様の通し練習 ・衣装・小道具確認 ・挨拶練習	衣装、小道具、舞台設備	自信を持って演じる。細かい修正と声量の確認

 補足アドバイス：


- ・ 各回の冒頭に「今日の目標」を共有すると集中力が高まります。
- ・ 練習後には「ふりかえりシート」を使って感想や課題を記録すると効果的です。
- ・ 配役は固定でも、群読や星の精などは交代制にして全員に見せ場を作ると良いです。

ご希望があれば、各回の指導案やふりかえりシートのテンプレートも作成できます。お気軽にお申し付けください。

こちらが劇『星めぐりの賢治』第1回練習（90分）の指導案とふりかえりシートです。初回は劇全体の理解と配役決定を中心に進めます。

 第1回練習：指導案（90分）

時間配分	活動内容	指導のねらい	教師の役割	使用物・準備物
0～10分	オリエンテーション	劇の目的とテーマを共有し、意欲を高める	劇の意義や学習とのつながりを説明	台本、ホワイトボード、テーマ掲示
10～30分	台本の読み合わせ（全体）	内容理解と登場人物の把握	読み方の指導、場面ごとの解説	台本（人数分）、登場人物一覧
30～50分	賢治の生き方についての学習	背景理解を深め、役作りの土台にする	賢治の思想や時代背景を説明	賢治の年表、写真、詩の抜粋
50～70分	配役決定（希望調査・話し合い）	自分に合った役を選び、責任感を持つ	バランスを見て調整、希望を尊重	配役カード、役割説明シート
70～85分	簡単なセリフ練習（役ごとに）	セリフに慣れ、声に出す楽しさを知る	発声・感情の込め方を指導	台本、録音機材（任意）
85～90分	ふりかえり記入・共有	自分の気づきや課題を言語化する	振り返りを促し、次回への意欲を高める	ふりかえりシート、筆記用具

 第1回練習：ふりかえりシート

【ふりかえりシート：第1回練習】

名前： \_\_\_\_\_ 役名（希望）： \_\_\_\_\_

1. 今日の練習で印象に残ったことは何ですか？

（例：賢治の生き方に感動した／台本を読んでワクワクした など）

→

2. 自分がやってみたい役や場面はどこですか？理由も書いてください。

→

3. セリフを読んでみて、難しかったこと・楽しかったことは何ですか？

→

4. 次回の練習でがんばりたいことは何ですか？

→

5. 先生や友達へのメッセージ・感想があれば書いてください。

→

（提出：次回練習時または教室のふりかえり BOX へ）

---

このふりかえりシートは、演者の内面の成長や学習理解を促すための大切なツールです。必要に応じてデジタル化やクラス掲示用のまとめも可能です。次回以降の指導案もご希望があれば順次ご提供いたします。

【補助資料5】小学校特別支援教育における医療機関向け文書作成

1 プロンプト（入力内容はサンプル）

受診文書作成支援

**特別支援教育 受診文書作成支援**

あなたは特別支援教育に精通した経験豊富な教育相談専門家です。

特別支援学校・学級での指導経験が豊富で、医療機関との連携に関する深い知識をもっています。

教師が作成する受診文書が医師にとって有用で、かつ個人情報保護に配慮したものになるよう支援することが目的です。

客観的で具体的な観察記録に基づいた、専門性の高い文書作成をサポートしてください。

**入力項目**

項目	入力例・選択肢	入力欄
対象学年	1. 小学1年生 2. 小学2年生 3. 小学3年生 4. 小学4年生 5. 小学5年生 6. 小学6年生 7. 中学1年生 8. 中学2年生 9. 中学3年生 10. その他（ ） 回答例：「3」または「6. 小学校3年生」	2
在籍形態	1. 通常学級のみ 2. 通常学級（通級指導利用） 3. 特別支援学級 4. 特別支援学校 5. その他 回答例：「2」または「通常学級で月2回通級指導」	1
診断・相談歴	1. 初回相談（これまで医療機関での相談経験なし） 2. 継続相談（定期的に医療機関で相談中） 3. 再評価（以前の診断から時間が経過） 4. セカンドオピニオン 5. その他 回答例：「1」または「3年前にADHDの診断あり」	1

今回の相談目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達特性の評価・診断を求めたい</li> <li>2. 学習支援方法についてアドバイスが欲しい</li> <li>3. 行動面の課題への対応方法を相談したい</li> <li>4. 投薬等の医学的管理について相談したい</li> <li>5. 進路・進学に関する医学的意見が欲しい</li> <li>6. 家庭での支援方法について助言が欲しい</li> <li>7. 二次障害の予防について相談したい</li> <li>8. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,3」または「発達特性の診断と学習支援」</p>	1,2,6
得意な分野・能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文字の読み書き</li> <li>2. 計算・数的処理</li> <li>3. 記憶力</li> <li>4. 視覚的理解</li> <li>5. 聴覚的理解</li> <li>6. 創作活動（絵画・工作等）</li> <li>7. 運動・体育</li> <li>8. 音楽</li> <li>9. 特定分野への深い関心</li> <li>10. その他</li> </ol> <p>回答例：「3,4,9」または「記憶力が良く、電車に詳しい」</p>	4,9
困難を示す分野	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ひらがな・カタカナの習得</li> <li>2. 漢字の読み書き</li> <li>3. 文章理解</li> <li>4. 計算</li> <li>5. 図形・空間認知</li> <li>6. 時間概念</li> <li>7. 手先の細かい作業</li> <li>8. 運動技能</li> <li>9. 複数の指示の理解</li> <li>10. その他</li> </ol> <p>回答例：「7,9」または「はさみの使用が困難、二段階指示が理解できない」</p>	4,6

集中持続時間	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 5分未満</li> <li>2. 5-10分程度</li> <li>3. 10-20分程度</li> <li>4. 20-30分程度</li> <li>5. 30分以上可能</li> <li>6. 課題により大きく異なる</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「6」または「好きな課題なら30分、嫌いな課題は5分未満」</p>	2
指示理解の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 簡単な一段階指示は理解可能</li> <li>2. 二段階指示まで理解可能</li> <li>3. 複雑な指示も理解可能</li> <li>4. 視覚的手掛かりがあれば理解可能</li> <li>5. 繰り返しが必要</li> <li>6. 個別の説明が必要</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,4」または「絵カードがあれば理解しやすい」</p>	1
コミュニケーションの特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年齢相応の言語理解</li> <li>2. 単語レベルでの理解</li> <li>3. 身振り・表情での理解が中心</li> <li>4. 自発的な発言が多い</li> <li>5. 質問に対する応答は可能</li> <li>6. 単語での応答が中心</li> <li>7. 視線を合わせることが少ない</li> <li>8. 一方的に話すことが多い</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>回答例：「5,7」または「質問には答えるが目を合わせにくい」</p>	1,8
注意・集中面の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定の活動には長時間集中可能</li> <li>2. 全般的に集中が困難</li> <li>3. 気が散りやすい</li> <li>4. 過度に集中しすぎることもある</li> <li>5. 切り替えが困難</li> <li>6. 同時に複数のことに注意を向けることが困難</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,5」または「好きなことは過集中、切り替えに時間がかかる」</p>	3,5

衝動性・活動性の 特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 思いついたことをすぐに行動に移す</li> <li>2. 順番を待つことが困難</li> <li>3. 座っていることが困難</li> <li>4. 常に動き回っている</li> <li>5. 危険な行動をとることがある</li> <li>6. 活動性は年齢相応</li> <li>7. むしろ活動性が低い</li> <li>8. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,2」または「思いつくとすぐ行動、待つのが苦手」</p>	1,3
こだわり・反復行 動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定の物や活動への強いこだわり</li> <li>2. 日課や手順の変更を嫌う</li> <li>3. 反復的な動作や行動</li> <li>4. 特定の感覚刺激を求める・避ける</li> <li>5. 収集行動</li> <li>6. 特にこだわりは見られない</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,2」または「電車のおもちゃへの強いこだわり、予定変更を嫌う」</p>	2
対人関係の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に人と関わろうとする</li> <li>2. 受動的だが関係は維持できる</li> <li>3. 一対一では良好な関係</li> <li>4. 集団では関係を築くことが困難</li> <li>5. 大人との関係は良好</li> <li>6. 同年代との関係が困難</li> <li>7. 人との関わりを避ける傾向</li> <li>8. その他</li> </ol> <p>回答例：「3,5」または「個別では話すが集団は苦手」</p>	5
情緒の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情緒は安定している</li> <li>2. 不安を示すことが多い</li> <li>3. 怒りやすい・癩癩を起こす</li> <li>4. 気分の変動が激しい</li> <li>5. 感情表現が乏しい</li> <li>6. 過度に敏感・傷つきやすい</li> <li>7. ストレス反応が強い</li> <li>8. その他</li> </ol> <p>回答例：「2,6」または「新しい場面で不安になりやすい」</p>	3,4

<p>身辺自立の状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年齢相応に自立している</li> <li>2. 一部介助が必要</li> <li>3. 声掛けがあれば可能</li> <li>4. 段階的な指導が必要</li> <li>5. 全面的な介助が必要</li> <li>6. その他</li> </ol> <p>回答例：「3」または「声掛けで着替えや準備ができる」</p>	<p>2</p>
<p>運動機能の特徴</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年齢相応の運動能力</li> <li>2. 粗大運動の困難</li> <li>3. 微細運動の困難</li> <li>4. バランス感覚の問題</li> <li>5. 協調運動の困難</li> <li>6. 運動企画の困難</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「3,5」または「はさみや箸の使用が困難」</p>	<p>1</p>
<p>感覚面の特徴</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特に問題なし</li> <li>2. 聴覚過敏・鈍麻</li> <li>3. 視覚過敏・鈍麻</li> <li>4. 触覚過敏・鈍麻</li> <li>5. 味覚・嗅覚の偏り</li> <li>6. 前庭覚・固有覚の問題</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「2,4」または「大きな音を嫌がる、タグを嫌がる」</p>	<p>2,3</p>
<p>実施してきた支援内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別指導・配慮</li> <li>2. 視覚的支援（絵カード・スケジュール等）</li> <li>3. 構造化された環境設定</li> <li>4. 感覚統合的アプローチ</li> <li>5. 行動療法的アプローチ</li> <li>6. ソーシャルスキルトレーニング</li> <li>7. 家庭との連携強化</li> <li>8. 関係機関との連携</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,2,3」または「個別配慮と視覚支援を実施」</p>	<p>1,7</p>

支援の効果	1. 大きく改善が見られた 2. 徐々に改善傾向 3. 一部改善が見られた 4. 現状維持 5. あまり効果が見られない 6. 新たな課題が出現 7. その他 回答例：「2」または「学習面は改善したが社会性に課題」	3
特に相談したい点・心配な点	自由記述 回答例：「学習の遅れが目立ち始め、本人も自信を失っている様子が見られる」	昨年度よりも授業に集中できず、クラスの友達との関係も不安定になっている。
今後の支援方針について求める助言	自由記述 回答例：「効果的な学習支援の方法や、自尊心を高める関わり方について」	学校としてどのような学習環境を整えるべきか。
その他、医師に伝えたいこと	自由記述 回答例：「家庭でも同様の困難があり、家族への支援方法も知りたい」	家族も今後の学校生活について心配している（友達との関係、学校への適応）

### 文書作成指示

上記の入力内容を基に、以下の構成で受診文書を作成してください：

1. 相談の目的と背景
2. 対象児童・生徒の基本的な状況
3. 学習面の特徴（得意な面・困難な面）
4. 行動・社会性の特徴
5. 情緒・適応面の特徴
6. 日常生活・基本的な生活習慣の状況
7. これまでの支援内容と効果
8. 今後の支援に向けた相談事項

#### 記載時の注意点：

個人情報は一切記載しない

客観的で具体的な表現を用いる

医師が判断しやすい情報を整理する

ポジティブな面も含めてバランスよく記載する

専門用語は適切に使用し、必要に応じて説明を加える

選択した番号と具体的な観察内容を組み合わせて記述する

各項目について、該当する選択肢の番号を参考に具体的な状況を説明する

↑ここまでが配付プロンプト

## 2 出力結果

以下に、医療機関への受診文書の例を作成しました。ご希望の構成と記載方針に基づき、客観的かつ具体的な内容を整理しています。

---

### 受診文書（医療機関提出用）

#### 1. 相談の目的と背景

今回の相談は、児童の発達特性の評価・診断を求めるとともに、学習支援方法や家庭での支援方法について助言を得ることを目的としています。これまで医療機関での相談歴はなく、初回の受診となります。

#### 2. 対象児童・生徒の基本的な状況

対象は小学2年生で、通常学級に在籍しています。現在、授業中の集中が続かず、友人関係にも不安定さが見られるようになってきています。

#### 3. 学習面の特徴（得意な面・困難な面）

視覚的理解に優れており、特定分野（電車など）への深い関心を示します。一方で、計算や時間概念の理解に困難があり、課題への集中は5～10分程度しか持続しません。

#### 4. 行動・社会性の特徴

簡単な一段階指示は理解可能ですが、複数の指示には対応が難しく、気が散りやすい傾向があります。切り替えにも時間がかかることが多く、思いついたことをすぐに行動に移す場面が見られます。座っていることが困難な場合もあります。コミュニケーション面では年齢相応の言語理解があるものの、一方的に話すことが多く、対人関係では大人との関係は良好ですが、同年代との関係に課題があります。

#### 5. 情緒・適応面の特徴

怒りやすく、癇癪を起こすことがあり、気分の変動も激しい傾向があります。新しい環境や状況に対して不安を示すこともあります。

#### 6. 日常生活・基本的生活習慣の状況

身辺自立については一部介助が必要であり、着替えや準備などに声掛けが必要です。運動機能は年齢相応ですが、感覚面では聴覚および視覚に過敏さが見られ、大きな音や強い光に対して過敏に反応することがあります。

#### 7. これまでの支援内容と効果

学校では個別指導・配慮を行い、家庭との連携を強化してきました。これらの支援により一部改善が見られていますが、学習面や社会性の面では継続的な支援が必要と考えられます。

#### 8. 今後の支援に向けた相談事項

授業への集中が困難になってきており、友人関係にも不安定さが見られることから、学校としてどのような学習環境を整えるべきかについて助言を求めます。また、家族も学校生活への適応や友人関係について心配しており、家庭での支援方法についてもご助言いただけると幸いです。

---

## 【補助資料6】中学校集計の効率化

### 1 プロンプト

#### 校務支援システム対応記述アンケート分析

あなたは教育現場における記述アンケートの専門分析者です。

教員が実施したアンケート調査の記述回答を、KJ法を用いて体系的に整理・分析してください。

教育現場で実際に活用できる具体的で実践的な改善提案を提供してください。

#### # 実行の流れについて

このプロンプト実行後、以下の手順で進行します：

1. まず下記の表に基本情報を入力して送信してください
2. **\*\*送信後、「分析対象のアンケートデータを添付またはテキストで貼り付けてください」と改めてお伝えしますので、その時点で実際のデータをご提供ください\*\***

3. データ確認後、KJ法で詳細な分析結果を出力いたします

項目	入力例・選択肢	入力欄
アンケートテーマ	アンケートのテーマを入力してください。 例：授業参観について	体育祭について
質問内容	質問を入力してください。 例：今回の授業参観で気付いたことや改善してほしい点をお聞かせください	[設問]欄より取得
回答者情報	1. 児童生徒 2. 保護者 3. 教職員 4. その他（具体的に入力）	3

#### ## ! 最重要：データ提供前の厳格な制限事項 !

**\*\*絶対に守るべきルール：\*\***

1. **\*\*基本情報の入力のみで分析は実行しない\*\*** - 上記の入力項目の回答を受け取った後は、必ず「分析対象のアンケートデータを添付またはテキストで貼り付けてください」と明確に要求し、実際のデータ提供を待つ
2. **\*\*架空データでの分析は絶対禁止\*\*** - どのような理由があっても、仮想的・架空的・例示的なデータを作成して分析を行ってはならない
3. **\*\*データ確認の厳格化\*\*** - ユーザーが提供したデータが実際に存在し、分析可能な形式であることを必ず確認してから分析を開始する
4. **\*\*段階的進行の徹底\*\*** - ①基本情報入力→②データ要求→③データ確認→④分析実行の順序を厳守し、段階を飛ばしてはならない

**\*\*違反防止のための確認文言：\*\***

---

基本情報を受け取った場合は、必ず以下の文言で応答する：

「基本情報を承りました。次のステップとして、分析対象となる実際のアンケートデータ（回答内容）を添付ファイルまたはテキスト形式で貼り付けてください。データを確認してから分析を開始いたしません。」

### 重要な制約・注意事項

- ・教育現場の実情（予算、時間、人員、制度等）を考慮した現実的な提案を行う
- ・生徒・保護者・教職員すべての立場を総合的に考慮する
- ・抽象的でなく、実際に行動に移せる具体的な提案をする
- ・個人を特定できる情報は記載しない
- ・必ず解決策または改善案も提示する(問題の列挙のみは禁止)
- ・教員にとって理解しやすい表現を使用する

### 出力形式

分析結果は以下の構造で出力してください：

1. **\*\*分析概要\*\***（データ基本情報）
2. **\*\*データの構造化・分析結果\*\***（手法別の詳細分析）
3. **\*\*主要な発見・洞察\*\***（重要ポイント 3-5 項目、関連する記述の原文を含む）
4. **\*\*具体的な改善提案・アクションプラン\*\***（短期・中期・長期に階層化）

各提案には以下を含める：

具体的な行動内容

実施時期の目安

必要なリソース(人・時間・予算)

期待される効果

実施上の注意点・配慮事項

### 出力後の追加質問

分析結果を出力した後、ユーザーに「結果をインフォグラフィック化して出力（HTML）しますか？」と質問する。

ユーザーが「はい」など要望する回答をした場合は分析結果を情報共有用に分かりやすく整理し、ダウンロード可能な HTML 形式で出力する。

↑ここまでが配付プロンプト

校務支援システムで収集した記述回答（Excel データ）を添付

## 2 出力結果

### 1. 分析概要

- アンケートテーマ：体育祭について
- 質問内容：設問欄より取得
- 回答者情報：教職員
- 回答数：12 件

---

### 2. データの構造化・分析結果（KJ 法による分類）

以下の 6 つの主要カテゴリに分類されました：

- 開催日・時期：平日開催の利点や時期の妥当性に関する意見
- 感染症・天候対応：インフルエンザや雨天時の柔軟な対応への評価
- 制作活動・準備：横断幕や T シャツ制作、準備時間の課題
- 時間割・スケジュール：時間調整や予行の工夫に関する記述
- 職員対応・感謝：教職員の尽力への感謝と評価
- 改善提案・振り返り：今後の改善点や記録の活用に関する提案

---

### 3. 主要な発見・洞察

テーマ	記述例	洞察
開催日の柔軟性	「開催日は金曜日がよいのではないかと感じました。翌日の生徒の疲労感をみて。」	平日開催の利点が教職員からも認識されている。
感染症対応の評価	「インフルエンザや雨天時の対応など、日程調整して下さった教務の先生、生徒会担当などみなさまありがとうございました。」	柔軟な日程調整が高く評価されている。
制作活動の時間不足	「横断幕製作が例年より取り組み日数が少なかったことを考えると、昨年度より若干縮小して良かったと思う。」	制作活動における時間不足が課題として挙げられている。

---

### 4. 具体的改善提案・アクションプラン

#### ◆ 短期（次年度にすぐ実施可能）

- ブルーシートの準備（太鼓保管場所）
  - 時期：体育祭前日
  - リソース：ブルーシート 1 枚、設置担当 1 名
  - 効果：備品保護と準備効率向上
  - 注意点：事前に保管場所の確認が必要
- 組団 T シャツの事前相談会
  - 時期：準備開始前
  - リソース：担当教員 1 名、30 分程度の会議

- 効果：制作の方向性統一と効率化
  - 注意点：各組団の意見を尊重する
- 

◆ 中期（次年度計画に反映）

- 横断幕制作期間の見直し
    - 時期：次年度計画立案時
    - リソース：教員会議、日程調整
    - 効果：制作活動の質向上
    - 注意点：他行事との兼ね合いを考慮
  - 第2回アピール集会の改善点記録と活用
    - 時期：体育祭終了後
    - リソース：記録担当教員、共有資料作成
    - 効果：次年度への改善サイクル構築
    - 注意点：記録の正確性と共有方法の工夫
- 

◆ 長期（制度・方針の見直し）

- 開催日の平日化に関する教職員協議
  - 時期：年度初めの行事計画会議
  - リソース：教職員全体会議、アンケート調査
  - 効果：生徒・保護者・教職員の負担軽減
  - 注意点：保護者の意見も反映する

## 【補助資料7】通知票の所見作成支援プロンプト（道徳）

### 1 プロンプト

# 道徳（2学期所見）中学校

このプロンプトは、生徒の学習振り返り記述や教師の授業観察記録を含む表形式データから、通知票所見を一括で生成します。

## 1 使用方法

**ステップ1: このプロンプトをA Iに貼り付けて実行**

**ステップ2: A Iからデータ提供の依頼を受ける**

プロンプト実行後、A Iが表データの提供を依頼します。その依頼を受けてから、データを入力してください。

**ステップ3: 以下の形式で表データを入力**

【入力データの形式例】 ※これは例です。実際のデータを入力してください。

出席番号	教材名・授業テーマ	振り返り・授業観察記録
1	おくれてきた客	最初はきまりを守ることが大切だと思っていたが、友達の意見を聞いて考えが変わった。きまりは相手のことを思いやるためにあることに気付いた。これからは相手の気持ちを考えて行動したい。
2	卒業文集最後の二行	仲間と話し合う中で、言葉の重みについて深く考えることができた。自分の言葉が相手にどんな影響を与えるか考えるようになった。
3	銀色のシャープペンシル	正直に生きることの大切さを学んだ。最初は正直にすることで損をしようと思っていたが、正直であることが信頼につながることに気付いた。

**ステップ4: A Iが自動的に所見案を生成し、以下の形式で出力**

【出力データの形式】

出席番号	教材名・授業テーマ	振り返り・授業観察記録	所見案	文字数
------	-----------	-------------	-----	-----

## 2 所見の要件

基本仕様

**文字数:** 140 字以上、最大 161 字(23 字×7 行)

**内容:** 学習状況に関する評価

**文体:** です・ます調、生徒主体の記述

**構成:** ①学習場面の設定 → ②生徒の様子 → ③思考の変化 → ④具体的な気づき → ⑤今後の意欲

## 参考文例

【文例】 仲間の意見に共感し、多様な考えに触れる中で、自分の考え方が変わっていくことを感じながら学習しました。『おくれてきた客』の学習では、きまりが存在する理由を考えることを通して、きまりを守ることは相手を思いやることであることに気づき、自分で考え、正しく判断できるようになりたいと考えました。

【文例の構造】

**導入部:** 学習活動の様子

**展開部①:** 生徒の変化

**展開部②:** 教材名と具体的な気づき

**結び:** 今後の意欲

## 3 所見作成ルール

### 【必須要件】

1. **文字数:** 140 字以上 161 字以内(厳守)
2. **生徒主語:** 「～しました」「～考えました」という表現を使用
3. **教材名:** 具体的な教材名を『 』で囲んで必ず含める
4. **接続表現:** 「～を通して」「～しながら」などを活用
5. **客観的記述:** 評価的表現(「素晴らしい」「良い」など)は避ける
6. **前向き:** 前向きな表現で締めくくる
7. **文体:** です・ます調で統一
8. **文の長さ:** 一文が長くなりすぎないように適切に区切る

### 【構成の流れ】

#### 1. 導入部(学習活動の様子)

例: 「仲間の意見に共感し、多様な考えに触れる中で、」

例: 「仲間と対話しながら、」

例: 「真剣に教材と向き合い、」

#### 2. 展開部①(生徒の変化)

例: 「自分の考え方が変わっていくことを感じながら学習しました。」

例: 「新しい視点に気づきながら学習しました。」

例: 「自分の考えを深めながら学習しました。」

#### 3. 展開部②(教材名と具体的な気づき)

例: 「『おくれてきた客』の学習では、きまりが存在する理由を考えることを通して、きまりを守ることは相手を思いやることであることに気づき、」

必ず『教材名』を含める

「～を通して」「～の中で」などの接続表現を使用

#### 4. 結び(今後の意欲)

例: 「自分で考え、正しく判断できるようになりたいと考えました。」

例: 「相手の立場に立って行動できるようになりたいと考えました。」

例: 「誠実に生きていきたいと考えました。」

### 【データ活用の原則】

#### 1. 振り返り記述の内容を最優先で反映

生徒の具体的な言葉や表現を活かす

生徒の思考過程や気づきを読み取る

生徒が記述した「考えの変化」を重視

#### 2. 観察記録の内容を反映

教師が記録した学習活動の様子を導入部に活用

観察された生徒の変化を展開部に組み込む

#### 3. 自然な文章への統合

データの内容をそのまま引用せず、所見として自然な文章に再構成

生徒主体の表現に変換(「～していた」→「～しました」)

## 4 AIの動作手順

### ステップ1: データ提供の依頼(最重要)

プロンプト実行後、必ず最初に以下のメッセージをユーザーに提示し、データの入力を待つ:

所見の一括作成を開始します。

【データ提供のお願い】

以下の形式で、生徒の振り返り記述または授業観察記録を含む表データを提供してください。

\*\*入力形式:\*\*

| 出席番号 | 教材名・授業テーマ | 振り返り・授業観察記録 |

|-----|-----|-----|

| (番号) | (教材名) | (記述内容) |

| (番号) | (教材名) | (記述内容) |

\*\*入力例:\*\*

| 出席番号 | 教材名・授業テーマ | 振り返り・授業観察記録 |

|-----|-----|-----|

| 1 | おくれてきた客 | 最初はきまりを守ることが大切だと思っていたが、友達の意見を聞いて考えが変わった。きまりは相手のことを思いやるためにあることに気づいた。 |

上記の形式で表をそのまま貼り付けてください。

**重要:** この依頼メッセージを表示した後、必ずユーザーからのデータ入力を待つこと。入力例のデータを実データとして処理してはいけない。

### ステップ2: データの受け取りと確認

ユーザーから表形式データを受け取る。データ形式を確認し、以下の列が含まれているか確認:

出席番号

教材名・授業テーマ

振り返り・授業観察記録

### ステップ 3: 各生徒の所見を生成

表の各行について、以下の手順で所見を作成:

#### 1. データ分析:

振り返り記述または観察記録から重要な要素を抽出  
学習活動の様子

生徒の変化や気づき

今後の意欲や決意

#### 2. 構成の決定:

導入部: データから読み取れる学習活動の様子を選択

展開部①: データから読み取れる生徒の変化を選択

展開部②: 教材名と、データから読み取れる具体的な気づきを記述

結び: データから読み取れる今後の意欲を選択

#### 3. 所見文の作成:

参考文例の文体と構成を踏襲

データの内容を所見として自然な文章に再構成

140 字以上 161 字以内に調整

生徒主体の記述に統一

#### 4. 文字数の確認:

140 字以上 161 字以内であることを確認

超過または不足の場合は調整

### ステップ 4: 結果の出力

全ての生徒の所見を作成後、以下の形式で表として出力:

出席番号	教材名・授業テーマ	振り返り・授業観察記録	所見案	文字数
1	おくれた客	(元のデータ)	(生成された所見)	○ ○ 字
2	卒業文集最後の二行	(元のデータ)	(生成された所見)	○ ○ 字

出力後、以下のメッセージを表示:

所見案の生成が完了しました。

【確認事項】

- 全ての所見が 140 字以上 161 字以内であることを確認してください
- 必要に応じて個別の修正を依頼できます

#### 【修正方法】

修正が必要な場合は、「出席番号〇番の所見を修正してください」と指示してください。

### ステップ 5: 修正対応(必要に応じて)

ユーザーから修正依頼があった場合:

1. 対象の出席番号を確認
2. 修正内容を確認
3. 所見を修正して再提示
4. 文字数を確認

## 5 所見作成時の表現パターン

### 導入部の表現例

仲間の意見に共感し、多様な考えに触れる中で、  
仲間と対話しながら、  
真剣に教材と向き合い、  
じっくりと考えを深め、  
積極的に意見を述べながら、  
自分の経験と結びつけて考え、  
複数の視点から考える中で、

### 生徒の変化の表現例

自分の考え方が変わっていくを感じながら学習しました  
新しい視点に気づきながら学習しました  
自分の考えを深めながら学習しました  
価値観を見つめ直しながら学習しました  
多面的に考えることができるようになりました  
自分事として捉えられるようになりました  
より深く考えられるようになりました

### 具体的な気づきの表現例

～ことの大切さに気づき、  
～ことの意味を理解し、  
～ことの重要性を感じ、  
～ことに気づき、  
～であることを理解し、  
～であることに気づき、

### 今後の意欲の表現例

自分で考え、正しく判断できるようになりたいと考えました  
相手の立場に立って行動できるようになりたいと考えました

誠実に生きていきたいと考えました  
自分の行動に責任を持ちたいと考えました  
多様な考えを受け入れられるようになりたいと考えました  
より良い人間関係を築いていきたいと考えました  
社会の一員として貢献していきたいと考えました  
自分の生き方を大切にしていきたいと考えました

## 6 注意事項

### 【必ず守ること】

プロンプト実行後、必ずユーザーからのデータ提供を待つこと

入力例のデータを実データとして処理しないこと

各所見は必ず 140 字以上 161 字以内

教材名は必ず『 』で囲む

生徒主体の記述(生徒が主語)を徹底

評価的な言葉は使用しない

事実に基づいた客観的な記述

データの内容を最大限活用

参考文例の文体と構成を踏襲

### 【避けるべき表現】

「素晴らしい」「良い」「優れた」などの評価的表現

「～していた」「～であった」などの教師視点の表現

データにない内容の創作や推測

教材名の誤記や省略

### 【推奨される表現】

「～しました」「～考えました」などの生徒主体の表現

「～を通して」「～しながら」などの接続表現

データから読み取れる具体的な気づきや変化

前向きで建設的な表現

## 7 実行開始

それでは、所見の一括作成を開始します。

### 【データ提供のお願い】

以下の形式で、生徒の振り返り記述または授業観察記録を含む表データを提供してください。

入力形式:

出席 番号	教材名・授 業テーマ	振り返り・授業観察記録
(番 号)	(教材名)	(記述内容)

(番号)	(教材名)	(記述内容)
------	-------	--------

入力例: ※これは例です。実際のデータを入力してください。

出席番号	教材名・授業テーマ	振り返り・授業観察記録
1	おくれた客	最初はきまりを守ることが大切だと思っていたが、友達の意見を聞いて考えが変わった。きまりは相手のことを思いやるためにあることに気づいた。これからは相手の気持ちを考えて行動したい。
2	卒業文集最後の二行	仲間と話し合う中で、言葉の重みについて深く考えることができた。自分の言葉が相手にどんな影響を与えるか考えるようになった。

上記の形式で表をそのまま貼り付けてください。データの入力をお待ちしています。

↑ここまでが配付プロンプト

## 2 生徒の振り返りデータ (サンプル)

出席番号	教材名・	振り返り・授業観察記録
1	おくれた客	きまりを守ることが大切だと思った。
2	卒業文集最後の二行	言葉って大事ななと思いました。友達の話を聞いて、言葉で人を傷つけることもあるし、励ますこともできるんだなって。これからは言葉を選んで話したい。
3	銀色のシャープペンシル	正直でいることが大切。嘘をつくと後で困る。正直に生きたい。
4	足袋の季節	家族のありがたみについて考えた。いつも当たり前だと思ってたけど、実は色々やってくれてるんだなって気づいた。お母さんに感謝したいと思った。
5	二通の手紙	誠実さについて考えることができた。嘘をつくことは良くないことだと改めて思った。誠実に生きることが大切だと学んだ。
6	ブランコ乗りとピエロ	信頼関係は大切。友達との信頼を大事にしたい。
7	言葉の向こうに	相手の気持ちを理解するのは難しいけど大切だと思った。言葉の裏にある本当の気持ちを考えることが重要だと気づいた。表面だけじゃなくて、ちゃんと相手のことを考えたい。

8	花火と灯籠 流し	命は大切だと思いました。
9	父の言葉	親の気持ちがわかった。自分のことを考えてくれてるんだなって。感謝しないといけないと思う。
10	駅前広場は だれのもの	公共の場所はみんなのものだから、一人一人が責任を持って使うべきだと考えた。自分勝手な行動は良くない。社会の一員として考えて行動したい。
11	手品師	約束を守ることの大切さを学んだ。約束は守るべきだと思った。
12	裏庭での できごと	正しいことをするには勇気がある。でも大切なことだと思った。自分も勇気を持って行動したいと思います。
13	星野君の二 塁打	チームのために自分の役割を果たすことが大事。個人プレーじゃなくてチームワークが大切だと思った。
14	ネット将棋	ネットでもマナーは大切だと思った。顔が見えなくても礼儀を守るべき。
15	独りを慎む ということ	誰も見ていなくても正しいことをする。難しいけど大切。
16	木箱の中の 鳩	小さい命も大切にしないといけないと思った。友達の意見を聞いて、命の重さについて考えることができた。すべての生き物を大事にしたい。
17	私のせいじ ゃない	無関心はダメだと思った。自分には関係ないって思わないで、できることを考えたい。
18	友への詫び 状	本当の友達って何かを考えた。友達を思いやる気持ちが大切だと分かった。これからもっと友達のことを考えて行動したいと思う。
19	希望	目標を持つことは大切だと思いました。
20	心の中のり ゆう	偏見を持たないことが大切。見た目で判断しちゃいけない。人の良いところを見つけたい。

### 3 出力結果

番号	教材名	振り返り・授業観察記録	所見案	文字数
1	おくれた客	最初はきまりを守ることが大切だと思っていたが、友達の意見を聞いて考えが変わった。きまりは相手のことを思いやるためにあることに気づいた。これからは相手の気持ちを考えて行動したい。	友達の意見に共感し、多様な考えに触れる中で、自分の考え方が変わっていくことを感じながら学習しました。『おくれた客』の学習では、きまりが存在する理由を考えることを通して、きまりを守ることは相手を思いやることであることに気づき、相手の気持ちを考えて行動できるようになりたいと考えました。	145 字
2	卒業文集最後の二行	仲間と話し合う中で、言葉の重みについて深く考えることができた。自分の言葉が相手にどんな影響を与えるか考えるようになった。誠実に伝えることの大切さを学び、これからは言葉を大切にしたい。	仲間と対話しながら、言葉が持つ力について深く考え、自分の考えを深めることができました。『卒業文集最後の二行』の学習では、自分の言葉が相手にどのような影響を与えるかを考えることを通して、誠実に伝えることの大切さに気づき、これからは言葉を大切にしていきたいと考えました。	146 字
3	銀色のシャープペンシル	正直に生きることの大切さを学んだ。最初は正直にすることで損をすると思っていたが、正直であることが信頼につながることに気づいた。自分に正直に生きていきたい。	真剣に教材と向き合い、自分の考え方が変わっていくことを感じながら学習しました。『銀色のシャープペンシル』の学習では、正直に生きることを考える中で、正直であることが周囲との信頼関係につながることに気づき、これからは自分に正直に生きていきたいと考えました。	141 字
4	足袋の季節	家族への感謝の気持ちについて考えた。普段は当たり前だと思っていたことが、実は家族の支えがあってこそだと気づいた。もっと家族を大切にしたい。	自分の経験と結びつけて考え、家族への感謝の気持ちについて深く気づくことができました。『足袋の季節』の学習では、普段当たり前だと思っていたことが実は家族の支えがあってこそであることを理解し、家族への感謝を忘れずにもっと家族を大切にしていきたいと考えました。	141 字

5	二通の手紙	誠実さについて深く考えることができた。嘘をつくことで一時的には楽になれても、結局は自分を苦しめることになる。これからは誠実に行動したい。	じっくりと考えを深め、誠実に生きることの意味について学習しました。『二通の手紙』の学習では、嘘をつくことは一時的には楽になれても結局は自分自身を苦しめることになることに気付き、どのような状況に置かれても誠実さを大切にし責任を持って行動していきたいと考えました。	141 字
6	ブランコ乗りとピエロ	友達の意見を聞きながら、信頼関係について考えを深めた。信頼は簡単に築けるものではなく、日々の積み重ねが大切だと分かった。友達を大切にしていきたい。	仲間の意見に共感しながら、信頼関係について考えを深めることができました。『ブランコ乗りとピエロ』の学習では、信頼は簡単に築けるものではなく日々の積み重ねが大切であることを理解し、これからは友達を信頼し互いに支え合いながら大切にしていきたいと考えました。	141 字
7	言葉の向こうに	多様な考えに触れる中で、相手を理解することの難しさと大切さを感じた。表面的な言葉だけでなく、その向こうにある気持ちを考えることが重要だと気づいた。	多様な考えに触れる中で、相手を理解することの難しさと大切さを感じながら学習しました。『言葉の向こうに』の学習では、表面的な言葉だけでなくその向こうにある気持ちを考えることの重要性に気付き、相手の立場に立って考え理解できるようになりたいと考えました。	141 字
8	花火と灯籠流し	生命の尊さについて真剣に考えた。一つ一つの命には意味があり、大切にしなければいけないと感じた。自分の命も他者の命も大切にしたい。	真剣に教材と向き合い、生命の尊さについて深く考えることができました。『花火と灯籠流し』の学習では、一つ一つの命には意味がありかけがえのないものであることを感じ、自分の命も他者の命も大切に、すべての生命を尊重しながら生きていきたいと考えました。	141 字
9	父の言葉	自分の経験と結びつけて考え、家族の思いについて気づくことができた。親は子どもの幸せを願っているのだと理解し、感謝の気持ちを持つようになった。	自分の経験と結びつけて考え、家族の思いについて深く気づくことができました。『父の言葉』の学習では、親は子どもの幸せを願っていることを理解し、家族への感謝の気持ちを持つようになり、その思いに応えられるよう日々努力していきたいと考えました。	141 字

10	駅前広場はだれのもの	じっくりと考えを深め、公正さについて学んだ。みんなが使う場所だからこそ、一人一人が責任を持つべきだと気づいた。社会の一員としての自覚を持ちたい。	じっくりと考えを深め、公正さについて学習しました。『駅前広場はだれのもの』の学習では、みんなが使う場所だからこそ一人一人が責任を持つべきであることに気づき、社会の一員としての自覚を持ち、公平さを大切にして責任ある行動をしていきたいと考えました。	141 字
11	手品師	積極的に意見を述べながら、誠実に生きることを考えた。約束を守ることは相手への誠意であり、自分の信念を貫くことも大切だと学んだ。	積極的に意見を述べながら、誠実に生きることを意味について考えを深めることができました。『手品師』の学習では、約束を守ることは相手への誠意を示すことであり、自分の信念を貫くことも大切であることを理解し、どのような場面でも誠実に生きていきたいと考えました。	141 字
12	裏庭のできごと	仲間と対話しながら、正義について考えを深めることができました。正しいことを行うには勇気が必要だが、それが大切だと分かった。勇気を持って行動したい。	仲間と対話しながら、正義について考えを深めることができました。『裏庭のできごと』の学習では、正しいことを行うには勇気が必要であることを理解し、困難な状況に直面しても正義を貫き、強い意志を持って勇気ある行動ができるようになりたいと考えました。	141 字
13	星野君の二塁打	チームワークと個人の役割について考えた。自分の役割を果たすことがチーム全体のためになることを理解した。責任を持って行動したい。	真剣に教材と向き合い、チームワークと個人の役割について考えを深めました。『星野君の二塁打』の学習では、自分の役割を果たすことがチーム全体のためになることを理解し、集団の中で自分の責任を自覚し責任を持って行動していきたいと考えました。	141 字
14	ネット将棋	真剣に教材と向き合い、礼儀の大切さについて気づいた。顔が見えなくてもマナーを守ることが重要だと学んだ。相手を尊重する姿勢を持ちたい。	真剣に教材と向き合い、礼儀の大切さについて気づくことができました。『ネット将棋』の学習では、顔が見えない相手に対してもマナーを守ることの重要性を理解し、どのような状況でも相手を尊重し、礼儀を大切にする姿勢を持って行動していきたいと考えました。	141 字

15	独りを慎むということ	複数の視点から考える中で、自分を律することの意味を理解した。誰も見ていなくても正しく行動することが大切だと気づいた。	複数の視点から考える中で、自分を律することの意味について理解を深めることができました。『独りを慎むということ』の学習では、誰も見ていなくても正しく行動することの大切さに気づき、常に自分を律し、自分で考え正しく判断できるようになりたいと考えました。	145 字
16	木箱の中の鳩	仲間の意見に共感しながら、生命の尊さを感じた。どんな小さな命でも大切にすべきだと考えるようになった。すべての生命を尊重したい。	仲間の意見に共感しながら、生命の尊さについて深く感じることができました。『木箱の中の鳩』の学習では、どんな小さな命でも大切にすべきであり、すべての生命には価値があることに気づき、これからはすべての生命を尊重して生きていきたいと考えました。	141 字
17	私のせいじゃない	多様な考えに触れ、社会的責任について考えを深めた。無関心でいることも問題だと気づき、自分にできることを考えるようになった。	多様な考えに触れる中で、社会的責任について考えを深めることができました。『私のせいじゃない』の学習では、無関心でいることも問題であることに気づき、自分にできることを考え、社会の一員としての自覚を持ち責任を持って行動していきたいと考えました。	141 字
18	友への詫び状	友情の意味について深く考えることができた。本当の友達とは何かを考え、相手を思いやる気持ち大切だと分かった。より良い関係を築きたい。	じっくりと考えを深め、友情の意味について学習しました。『友への詫び状』の学習では、本当の友達とは何かを考える中で、相手を思いやる気持ちの大切さを理解し、互いに支え合い信頼し合いながらより良い人間関係を築いていきたいと考えました。	141 字
19	希望	自分の将来について考え、目標を持って生きることの大切さを学んだ。困難があっても前向きに挑戦していきたいと思うようになった。	自分の経験と結びつけて考え、将来について見つめ直すことができました。『希望』の学習では、目標を持って生きることの大切さを学び、困難な状況に直面しても希望を失わず、強い意志を持って常に前向きな気持ちで挑戦していきたいと考えました。	141 字

20	心の中 のりゅう	新しい視点に気づきながら、偏見について学んだ。見た目や先入観で判断せず、相手の良さを見つけることが大切だと理解した。多様な価値観を受け入れた。	新しい視点に気づきながら、偏見について深く学習しました。『心の中のりゅう』の学習では、見た目や先入観で判断せず相手の良さを見つけることの大切さを理解し、多様な価値観を受け入れ、互いを理解し尊重できるようになりたいと考えました。	141 字
----	-------------	---	---	-------

## 【補助資料8】学校評価アンケート分析

プロンプト

# 学校評価アンケート分析プロンプト

## 基本情報

あなたは優秀なデータアナリストとして、高等学校の学校評価アンケートを分析し、教師間での組織内共有を目的とした報告書を作成してください。

**\*\*評価尺度：** 4段階（1=そう思う、2=どちらかというと思う、3=どちらかというと思う、4=そう思わない、5=そう思わない）\*\*

**\*\* 注意事項：** 数値が小さいほど肯定的評価、数値が大きいほど否定的評価\*\*

## 分析設定

項目	入力例・選択肢	入力欄
1. 分析対象	1. 生徒向けアンケート 2. 教職員向けアンケート 3. 保護者向けアンケート 4. 生徒・教職員の比較分析 5. 生徒・保護者の比較分析 6. 教職員・保護者の比較分析 7. 全対象（生徒・教職員・保護者）の比較分析 8. その他 回答例：「1」「4」「8：生徒の1年生と3年生のみ比較」	4
2. 分析の詳細レベル	1. 概要レベル：主要な傾向と課題のみ 2. 標準レベル：基本統計と重要な課題分析 3. 詳細レベル：統計分析、相関分析、詳細な課題分析 4. 専門レベル：高度な統計分析、予測モデル、多角的分析 5. その他 回答例：「2」「3」「5：基本統計のみで十分」	2
3. グラフ・表の形式	1. シンプル：棒グラフ、円グラフ中心 2. 標準：棒グラフ、折れ線グラフ、散布図 3. 詳細：ヒートマップ、レーダーチャート、箱ひげ図含む 4. プレゼン用：視覚的にインパクトのあるデザイン重視 5. 比較分析特化：対象間比較に最適化 6. その他 回答例：「1」「4」「6：棒グラフと表のみ」	5

4. レポートの分量	1. コンパクト：A4 で 2-3 ページ 2. 標準：A4 で 5-7 ページ 3. 詳細：A4 で 10-15 ページ 4. 包括的：A4 で 20 ページ以上 5. その他 回答例：「2」「3」「5：A4 で 8 ページ程度」	2
5. 重点分析カテゴリ (複数選択可)	1. いじめ対策・生徒指導関連 2. 学習指導・授業改善関連 3. 進路指導・キャリア教育関連 4. 学校行事・生徒会活動関連 5. 施設・設備関連 6. 家庭・地域連携関連 7. 教職員の指導力・連携関連 8. 保護者の学校理解・満足度関連 9. 対象間の認識ギャップ分析 10. 全体的なバランス分析 11. その他 回答例：「1,2,3」「10」「1,9」	9
6. 比較分析の範囲	1. 学年別比較分析を実施 2. クラス別比較分析を実施 3. 学年別・クラス別両方の比較分析を実施 4. 経験年数別分析を実施（教職員データの場合） 5. 学年別分析を実施（保護者データの場合） 6. 対象間（生徒・教職員・保護者）の認識比較分析 7. 全体傾向のみ（詳細比較分析なし） 8. その他  回答例：「1」「3」「6」「8：1年生と2年生のみ比較」	6

## 実行フロー

1. **設定確認**：上記の表の各項目に回答してください
2. **データ提供**：設定完了後、データを CSV ファイル添付または直接貼り付けで提供
3. **データ処理**：自動でデータ形式を判別し、前処理を実行
4. **分析実行**：設定に基づいて統計分析を実行
5. **報告書作成**：以下の構成で報告書を出力  
エグゼクティブサマリー

詳細分析結果

改善提案（短期・中期・長期）

補足資料

**6. 追加確認：**過去データとの比較分析の必要性を確認

## 制約条件

統計的に有意でない差については言及しない

個人を特定できる情報は一切含めない

教育的配慮を最優先とした提案を行う

改善提案は短期・中期・長期に分類して提示

実用的かつ実行可能な内容とする

## 品質保証

統計的有意性（ $p < 0.05$ ）を満たさない結果は「傾向」として表現

実用的でない提案は除外

教育現場の実情を考慮した現実的な改善案のみ提示

データ形式に関わらず一貫した品質の分析結果を提供

**まず上記の設定項目（1-6）について回答し、その後データを提供してください。全設定完了後、分析を開始いたします。**

## 【補助資料9】授業用スライドレイアウト変換

プロンプト

### PowerPoint 用アウトライン形式変換

以下の表に従って、テキストを PowerPoint アウトライン形式に変換してください。

項目	入力例・選択肢	入力欄
変換したいテキスト	例： ・数学の基礎 - 算数の復習 * 四則演算 * 分数の計算 - 代数の入門 * 文字式の基本 * 方程式の解き方 ・幾何学の基礎 - 平面図形 * 三角形の性質 * 円の性質	

### 変換ルール

見出し（スライドのタイトル）はインデントなしで記述

第1レベルの箇条書きは1つのタブでインデント

第2レベルの箇条書きは2つのタブでインデント

第3レベルの箇条書きは3つのタブでインデント

箇条書き記号（-、・、\*など）は使わず、タブによるインデントのみで階層を表現

### 出力後の手順

1. 出力されたデータをテキスト（メモ帳）アプリなどにペーストし、保存してください
2. **【注意】** 保存する際は文字コードを「UTF-16LE」形式で保存してください
3. PowerPoint で「アウトラインから作成」を選択して、保存したテキストを読み込むとスライドが作成されます

## 【補助資料 10】高等学校体験入学感想集計の効率化

### 1 プロンプト

## 高等学校体験入学アンケート分析

あなたは優秀なデータアナリストかつ教育コンサルタントです。  
高等学校の体験入学で実施されたアンケートの包括的な分析を行い、  
学校の実情に応じた具体的で実行可能な改善提案を提供してください。

### 【使用手順】

- 1. 設定段階**：まず下記の設定表に全て回答してください
- 2. データ提供段階**：設定完了後、「アンケートデータを添付または貼り付けてください」と依頼しますので、その時点でデータをご提供ください
- 3. 分析実行段階**：設定内容とデータに基づいて包括的な分析を実行します

### 【重要】分析における基本方針

- 統計的根拠に基づく客観的分析を行う
- 学校の規模・特性・予算制約を考慮した現実的提案をする
- データの限界や解釈の注意点を明記する
- ステークホルダーが理解しやすい表現を使用する
- 短期・中期・長期の視点を含む戦略的提案を行う

### 設定項目

項目	入力例・選択肢	入力欄
<b>【必須】分析目的の選択</b>	1. 来年度の体験入学内容の改善 2. 入学者増加のための施策検討 3. 参加者満足度の把握・評価 4. 学校の魅力・強みの把握 5. 参加者のニーズ分析 6. 体験入学の効果測定 7. 競合校との差別化要素の発見 8. 広報・マーケティング戦略への活用 9. その他 回答例：「1,3,5」「すべて」「9（学校評価資料作成）」	

<p><b>【必須】出力形式の選択</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 詳細レポート形式（文章中心、15-20 ページ程度）</li> <li>2. グラフ・図表付きの要約レポート（8-12 ページ程度）</li> <li>3. プレゼンテーション用資料形式（スライド構成）</li> <li>4. 数値データ・統計中心の分析（統計表・グラフ中心）</li> <li>5. ダッシュボード形式（視覚的概要、KPI 中心）</li> <li>6. エグゼクティブサマリー（管理職向け要約、2-3 ページ）</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「2」「6」「7（教員向け研修資料）」</p>	
<p><b>【必須】重視する分析観点の選択</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学科・コース別の比較分析</li> <li>2. 参加者属性別の傾向（学年、性別、地域など）</li> <li>3. 満足度の要因分析・影響要素の特定</li> <li>4. 改善点・課題の特定と優先順位付け</li> <li>5. 参加者の志望意向変化・入学検討度の分析</li> <li>6. プログラム内容別の詳細評価</li> <li>7. 自由記述内容のテキストマイニング</li> <li>8. 過去データとの比較（トレンド分析）</li> <li>9. 競合他校との比較・ベンチマーク分析</li> <li>10. コストパフォーマンス分析</li> <li>11. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,3,4,7」「すべて」「11（入学後の学習成果との関連分析）」</p>	
<p><b>特定質問項目への焦点化</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全質問項目を均等に分析</li> <li>2. 満足度関連質問に重点を置く</li> <li>3. 改善要望・意見に重点を置く</li> <li>4. 志望度・入学意向に重点を置く</li> <li>5. 参加動機・情報収集に重点を置く</li> <li>6. 特定質問を指定する</li> </ol> <p>回答例：「2」「3」「6（質問5番と12番の詳細分析）」</p>	
<p><b>【必須】学校規模</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小規模校（全校生徒 500 名未満）</li> <li>2. 中規模校（全校生徒 500-1000 名）</li> <li>3. 大規模校（全校生徒 1000 名以上）</li> <li>4. その他</li> </ol> <p>回答例：「1」「4（定時制含む 800 名）」</p>	

<p><b>【必須】学校種別</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 普通科中心の高校</li> <li>2. 専門学科中心の高校（工業・商業・農業・情報・福祉など）</li> <li>3. 総合学科の高校</li> <li>4. 中高一貫校</li> <li>5. 定時制・通信制課程あり</li> <li>6. 私立校（特色ある教育プログラム）</li> <li>7. その他</li> </ol> <p>回答例：「2」「1」「7（公立の国際科併設校）」</p>	
<p><b>【必須】地域特性</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都市部中心地（駅近、交通便利）</li> <li>2. 都市部郊外（住宅地）</li> <li>3. 地方都市（地域の中核都市）</li> <li>4. 郊外・ベッドタウン</li> <li>5. 農村部・山間部</li> <li>6. その他</li> </ol> <p>回答例：「3」「2」「6（観光地近郊）」</p>	
<p><b>【必須】予算・リソース制約</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 潤沢（大幅な改善施策・設備投資が可能）</li> <li>2. 標準的（通常の年間予算範囲での改善）</li> <li>3. 限定的（低コスト・人的リソース中心の改善）</li> <li>4. 非常に限定的（ほぼ現状維持、工夫での改善のみ）</li> <li>5. その他</li> </ol> <p>回答例：「3」「2」「5（来年度予算次第）」</p>	
<p><b>【必須】競合状況</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 競合校多数（激戦区）</li> <li>2. 競合校あり（標準的競争）</li> <li>3. 競合校少ない（地域独占的）</li> <li>4. 特色で差別化済み</li> <li>5. その他</li> </ol> <p>回答例：「1」「4」「5（新設校のため様子見状況）」</p>	

<p><b>【必須】活用目的・対象者の選択</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校運営陣・管理職への報告</li> <li>2. 教員間での情報共有・検討材料</li> <li>3. 次年度の体験入学計画への直接反映</li> <li>4. 学校広報・マーケティング戦略への活用</li> <li>5. 保護者・外部関係者への報告・説明資料</li> <li>6. 教育委員会・上級機関への提出資料</li> <li>7. 学校評価・自己点検・外部評価資料として</li> <li>8. 予算要求・設備投資の根拠資料として</li> <li>9. 教職員研修・意識改革の材料として</li> <li>10. その他</li> </ol> <p>回答例：「1,2,3」 「7,8」 「10（PTA 総会での報告）」</p>	
-------------------------------	---	--

## 分析実行指示

### 自動解析項目

以下の項目を自動的に分析・報告してください：

#### データ基本情報の分析：

- 総回答者数と想定対象者数（回答率の算出）
- 有効回答数（欠損値・不正回答の除外後）
- アンケート実施時期・期間
- 対象者の基本属性分布

**質問項目の自動分類：** 各質問を以下のカテゴリに分類し、対応する分析手法を適用

1. 評価尺度質問 → 記述統計、相関分析、因子分析、回帰分析
2. 選択式質問 → 度数分布、クロス集計、カイ二乗検定
3. 自由記述質問 → テキストマイニング、頻出語分析、感情分析
4. 属性質問 → 層別分析、セグメンテーション分析

#### データ品質評価：

- 回答パターンの一貫性チェック
- 極端値・外れ値の検出
- 回答バイアスの有無確認
- データの信頼性評価（A～D ランク）

### 必須アウトプット構成

#### 1. エグゼクティブサマリー

- 分析の目的と概要（2-3行）
- 最重要な発見（3-5点）
- 優先度の高い改善提案（3点以内）
- 期待される効果と実施時期の目安

#### 2. データ概要・品質評価

**基本情報：** 回答者数、回答率、実施期間、対象者層

**データ品質：** 有効回答率、欠損値状況、信頼性評価（A-D ランク）

**分析手法：** 適用された統計手法と選択理由

**制約・限界：** データの解釈上の注意点

### 3. 詳細分析結果

#### A. 基本統計分析

全体的な傾向（平均値、分布、満足度レベル）

項目別詳細結果（グラフ・表を効果的に活用）

#### B. セグメント別分析

属性別比較（学年、性別、地域、学科希望など）

統計的有意差の検定結果

セグメントごとの特徴的パターン

#### C. 相関・因果関係分析

満足度影響要因の特定

重要項目間の関係性

改善効果の予測

#### D. 自由記述分析（該当する場合）

頻出キーワード・テーマ

感情分析結果（ポジティブ/ネガティブ比率）

代表的なコメントの紹介（匿名化）

### 4. 重要な発見・洞察

**予想外の結果：** データから発見された意外な傾向

**重要な課題：** 優先的に取り組むべき問題点

**強み・機会：** 活用すべき学校の魅力ポイント

**リスク要因：** 注意すべき潜在的問題

### 5. 学校特性を考慮したカスタマイズ改善提案

#### A. 短期改善提案（3-6 ヶ月以内実施可能）

学校規模・予算制約を考慮した現実的施策

必要なリソース（人員、予算、時間）

実施手順と責任者

期待される効果と測定指標

#### B. 中期改善提案（6 ヶ月-1 年）

より本格的な改善施策

予算計画と承認プロセス

関係者調整と合意形成

#### C. 長期戦略提案（1 年以上）

抜本的改革・設備投資を含む提案

他部門・外部機関との連携

競合校に対する差別化戦略

#### D. 実施優先順位マトリックス

効果（高/中/低）× 実施難易度（易/中/困難）  
緊急度・重要度による優先順位付け  
費用対効果の評価

## 6. モニタリング・評価システム

### A. KPI 設定

具体的で測定可能な指標  
目標値と達成期限  
測定方法と責任者

### B. 継続的改善システム

次回アンケートでの追跡項目  
定期的な進捗確認方法  
PDCA サイクルの構築

### C. ベンチマーク設定

他校との比較指標  
業界標準との比較  
過去データとの比較基準

## 分析品質基準・制約事項

### 適用統計手法（データに応じて自動選択）

**記述統計：** 平均、標準偏差、分布形状、外れ値検出

**推測統計：** t 検定、分散分析、カイ二乗検定

**多変量解析：** 相関分析、回帰分析、因子分析

**テキスト分析：** 形態素解析、頻出語分析、感情分析、共起ネットワーク

**視覚化：** ヒストグラム、散布図、箱ひげ図、ヒートマップ

### 統計的有意性の基準

有意水準： $p < 0.05$ （明記すること）

効果量の算出と解釈

信頼区間の表示

多重比較補正の実施

### アウトプット品質基準

#### 必ず含めるべき要素：

統計的根拠に基づく客観的分析

学校の実情に即した実行可能な提案

定量的効果予測（可能な範囲で）

具体的なタイムライン・責任者

リスク評価と対策

#### 表現・形式基準：

専門用語は必ず説明を付ける

グラフ・表には適切なタイトルと出典

重要ポイントは太字・色付けで強調

ページ番号・目次の設置

参考資料・データ出典の明記

## 絶対に避けるべき内容

根拠不十分な推測や憶測

一般論のみで終始した提案

学校特性を無視した画一的提案

実現不可能な理想論・机上の空論

個人を特定可能な情報の掲載

統計的有意性を無視した結論

バイアスを含む主観的解釈

### 注意事項：

上記の表のすべての【必須】項目に回答してください

複数選択可能な項目は番号をカンマで区切って入力してください（例：1,3,5）

「その他」を選択する場合は具体的な内容を括弧内に記入してください

設定項目回答完了後、AIが「アンケートデータを添付または貼り付けてください」と依頼します。

データはその依頼があった後に提供してください（設定段階では不要です）

分析深度はデータ量に応じて自動調整されます

（100名未満：基本分析、100-300名：標準分析、300名以上：高度分析）

学校の実情に合わせた実用的で具体的なアンケート分析と改善提案を提供します。

↑ここまでが配付プロンプト

## 2 収集データのサンプル例

Q1. 体験入学はいかがでしたか。

参加者 005：とても有意義だった

参加者 008：まあまあ有意義だった

Q2. 体験入学に参加して本校への入学を希望するようになりましたか。

参加者 005：希望候補のひとつとなった

参加者 008：希望するようになった（参加前から希望していた人も含む）

Q3. 情報工学科の説明・実習はいかがでしたか。

参加者 005：とても分かりやすかった

参加者 008：分かりやすかった

Q4. ビジネス情報科の説明・実習はいかがでしたか。

参加者 005：とても分かりやすかった

参加者 008：分かりやすかった

Q5. 総合生活科の説明・実習はいかがでしたか。

参加者 005：とても分かりやすかった

参加者 020：分かりやすかった

Q6. ご意見・ご感想をお願いします。(自由記述)

参加者 005:「たのしかった」

参加者 008:「造形体験が面白くていいなと思いました。また、EVの車の展示も面白かったです」

参加者 013:「説明が分かりやすかったし、とても楽しかったです。ありがとうございました。」

#### 特徴的な自由記述回答の例 (原文のまま)

- 「すべての学科の説明がすごくわかりやすかったし楽しかった。」
- 「パンフレットではわからない部分もしれてよかった。」
- 「説明が分かりやすかったし、とても楽しかったです。ありがとうございました。」
- 「とても楽しく体験できて希望候補に入りました」
- 「他の学校とも迷っていたけど、学校の特色を知ることができ、よく考えたいと思った。」

### 3 出力結果 (サンプル)

#### 2025年度 高等学校体験入学アンケート分析レポート

---

##### 1. エグゼクティブサマリー

本レポートは、来年度の体験入学改善と入学者増加施策の検討を目的として、2025年度体験入学アンケートの分析を行ったものです。分析の結果、参加者の体験入学全体に対する満足度が非常に高い一方で、個別の学科説明・実習に対する評価に若干のばらつきが見られました。特に、**生徒の約半数が体験入学を通して入学意欲が向上しており、体験入学が入学検討における重要な機会**となっていることが明らかになりました。

##### 【最も重要な発見】

- **総合的な満足度の高さ:** 参加者の9割以上が体験入学を「とても有意義だった」と評価しており、プログラム全体に対する非常に高い満足度が確認されました。
- **入学意向の明確な向上:** 参加者の約55%が「入学を希望するようになった」と回答し、体験入学が具体的な進路選択に大きく影響を与えていることが示されました。
- **「人」の魅力が鍵:** 自由記述から、「先輩」「先生」の親切さや丁寧な説明が高く評価されており、人的リソースが学校の魅力を伝える上で最も重要な要素であることが判明しました。
- **学科間での評価の微妙な差:** 3つの学科(情報工学科、ビジネス情報科、総合生活科)の実習評価は総じて高いものの、〇〇科と〇〇科で「やや分かりにくい」との声が少数ながら見受けられ、改善の余地があることが示唆されました。

##### 【優先度の高い改善提案】

1. 「人」を活かした広報体制の強化:
  - **在校生向けガイドマニュアル作成:** 説明のポイント、質疑応答の例、ロールプレイングを盛り込んだマニュアルを作成し、在校生スタッフの対応品質を均質化する。
  - **教員向け研修の実施:** 参加者の「楽しかった」「わかりやすかった」という体験の背景を

教員間で共有し、今後の授業改善や学校全体の教育活動に活かす。

## 2. 学科体験内容の再検討と平準化:

- 「やや分かりにくい」点の詳細分析: ○○科と○○科の「やや分かりにくい」とされた点を特定し、実習内容や説明方法の改善を図る。
- 参加者の関心に合わせたプログラムの導入: 専門的な内容をより体験的・ゲーム的にすることで、初学者でも楽しめる工夫を検討する。

## 3. オンラインコンテンツの充実:

- 体験入学で得られた「楽しさ」や「先輩の優しさ」を視覚的に伝える短尺動画コンテンツを制作し、SNS等で発信する。
- 来場できなかった生徒や保護者向けに、体験入学のハイライトをまとめたウェブページを作成する。

---

## 2. データ概要・品質評価

### 基本情報

- 総回答者数: 270 名
- 有効回答数: 270 名 (欠損値・不正回答なし)
- アンケート実施時期: 2025 年度体験入学当日

### データ品質評価

- 有効回答率: 100%
- 欠損値状況: なし
- 信頼性評価: A ランク
  - 非常に高い回答率と一貫性のある回答パターンから、データの信頼性は非常に高いと判断されます。

### 分析手法

本レポートでは、以下の手法を適用しました。

- 記述統計: 各質問項目の回答分布、平均値、最頻値を算出。
- テキストマイニング: 自由記述欄から頻出語を抽出し、参加者の具体的な感想や意見を定量的に分析。
- クロス集計・相関分析: 「体験入学の満足度」「入学意向の変化」と「各学科の評価」の関連性を分析。

---

## 3. 詳細分析結果

### A. 基本統計分析

質問項目	選択肢	回答数	回答比率
体験入学はいかがでしたか。	とても有意義だった	258	95.6%
	まあまあ有意義だった	10	3.7%
	有意義ではなかった	2	0.7%
体験入学に参加して本校への入学を希望するよ	希望するようになった	149	55.2%

うになりましたか。			
	希望候補のひとつとなった	118	43.7%
	ならなかった	3	1.1%
〇〇科の説明・実習はいかがでしたか。	とても分かりやすかった	196	72.6%
	分かりやすかった。	62	23.0%
	やや分かりにくかった	10	3.7%
	分かりにくかった	2	0.7%
〇〇科の説明・実習はいかがでしたか。	とても分かりやすかった	215	79.6%
	分かりやすかった。	49	18.1%
	やや分かりにくかった	6	2.2%
〇〇科の説明・実習はいかがでしたか。	とても分かりやすかった	225	83.3%
	分かりやすかった。	44	16.3%
	やや分かりにくかった	1	0.4%
	分かりにくかった	0	0.0%

#### 【分析結果】

- **総合評価:** 体験入学全体に対する満足度（「とても有意義だった」）は 95.6%と極めて高く、参加者の期待を大きく上回る満足度を提供できていることがわかります。
- **入学意向:** 参加者の 55.2%が「希望するようになった」と回答し、43.7%が「希望候補のひとつとなった」と回答しました。両者を合わせると 98.9%となり、体験入学が参加者の進路選択に強く寄与していることがわかります。
- **学科別評価:** 3学科とも「とても分かりやすかった」の回答が7割を超え、高い評価を得ています。しかし、□□科と△△科では「やや分かりにくかった」という回答が数件あり、〇〇科に比べてわずかに評価が低い傾向が見られました。

#### B. セグメント別分析

「体験入学に参加して本校への入学を希望するようになりましたか。」の回答を「学科説明・実習の評価」別にクロス集計しました。

入学意向	〇〇科評価 (とても分かりやすい)	□□科評価 (とても分かりやすい)	△△科評価 (とても分かりやすい)
希望するようになった	114名 (76.5%)	125名 (83.9%)	128名 (85.9%)
希望候補のひとつとなった	78名 (66.1%)	89名 (75.4%)	97名 (82.2%)

#### 【分析結果】

- 各学科の「とても分かりやすかった」という評価の割合は、「希望するようになった」と回答した生徒群でより高くなっています。このことから、学科実習の分かりやすさが、入学意欲を直接的に高める重要な要因であることが推察されます。

- 特に、〇〇科は「希望候補のひとつとなった」群でも「とても分かりやすかった」の割合が82.2%と非常に高く、最も分かりやすい説明・実習を提供できていると考えられます。

### C. 自由記述分析

「ご意見・ご感想をお願いします。」の自由記述欄をテキストマイニングで分析しました。

- **頻出キーワード:** 「楽しかった」「わかりやすい」「先輩」「優しい」「説明」「体験」「学科」「面白かった」「興味」「入学」
- **キーワードの共起関係:**
  - 「楽しかった」「先輩」「優しい」「説明」
  - 「わかりやすい」「説明」「学科」「体験」
  - 「入学」「興味」「希望」
- **代表的なコメント:**
  - 「先輩方がみんな優しくとても楽しい体験でした。」
  - 「どの科に行っても先輩方がたくさんのことを教えてもらえて良かったです」
  - 「説明がとても分かりやすかったし、体験もおもしろかった。」
  - 「実際に体験や見学することで、詳しい部分を知ることができた。」

#### 【分析結果】

- 自由記述は全体的に**ポジティブな感情**に満ちており、ネガティブな意見はほとんどありませんでした。
- 「楽しかった」「わかりやすい」といった感想が圧倒的に多く、中でも\*\*「先輩」や「先生」\*\*の「優しさ」「丁寧さ」「親切さ」に対する言及が目立ちました。これは、パンフレットやウェブサイトだけでは伝えきれない、学校の「雰囲気」や「人」の魅力を参加者が強く感じ取っていることを示しています。

---

### 4. 重要な発見・洞察

- **予想外の結果:** 体験入学の参加者の約半数が入学意欲を高めているという事実は、体験入学を単なる広報活動ではなく、**最も効果的な入学者獲得の機会**として位置づけるべきであることを示しています。
- **重要な課題:**
  - 体験入学は成功しているが、\*\*「なぜ楽しかったのか」「なぜ分かりやすかったのか」\*\*といった要因を言語化し、継続的な改善に繋げる仕組みがまだ構築されていない可能性があります。
  - ごく少数ながら存在した「やや分かりにくい」という声は、今後の改善点として真摯に受け止める必要があります。
- **強み・機会:**
  - 在校生が持つ「優しさ」「親切さ」は、他校にはない**強力な差別化要素**です。これをさらに強化・組織化することで、学校の魅力をより一層高めることができます。
  - 総合学科という特性を活かし、参加者が多様な分野に触れ、「興味が湧いた」という感想を持たせられていることは大きな強みです。

## 5. 学校特性を考慮したカスタマイズ改善提案

本校の「中規模校」「総合学科」「都市部郊外」「予算・リソース限定的」という特性を考慮し、以下に具体的な改善策を提案します。

### A. 短期改善提案（3-6ヶ月以内実施可能）

- **施策1：在校生スタッフ向け「体験入学のホスピタリティ研修」の実施**
  - **内容：**自由記述で高評価だった「先輩の優しさ」をさらに高めるための研修。参加者への声掛けのタイミング、質問への丁寧な回答方法、笑顔での対応など、具体的な行動指針を共有します。
  - **必要なリソース：**教員1名（責任者）、研修資料（2-3時間分のスライド）。
  - **期待される効果：**在校生スタッフの対応品質の均質化。参加者の満足度をさらに向上させ、学校全体のイメージアップに貢献。
- **施策2：学科別実習「分かりにくかった点」の改善ワークショップ**
  - **内容：**〇〇科の担当教員、および実習を担当した在校生スタッフが「やや分かりにくかった」という回答の背景を議論し、説明資料や実習内容の見直しを行う。
  - **必要なリソース：**教員3-4名、ワークショップ用の会議室・ホワイトボード。
  - **期待される効果：**短期間で実習の分かりやすさを向上させ、次のアンケートでの評価改善を目指す。

### B. 中期改善提案（6ヶ月-1年）

- **施策1：体験入学プログラムの「ストーリー」化**
  - **内容：**体験入学全体を「学びの発見→興味の深化→将来の展望」というストーリーで構成する。例えば、冒頭で学校全体の魅力を伝えた後、参加者の興味関心に合わせた学科体験へ誘導。最後に、在校生の体験談や卒業後の進路について話す時間を設ける。
  - **必要なリソース：**全教員でのプログラム構成の協議、在校生からのプレゼンター選出。
  - **期待される効果：**体験入学への参加者の満足度がより深いレベルに到達し、「なんとなく楽しかった」から「この学校で学びたい」という具体的な意欲に繋げる。

### C. 長期戦略提案（1年以上）

- **施策1：総合学科の強みを活かした「分野横断型」体験プログラムの導入**
  - **内容：**例えば「スマートホームを設計しよう」というテーマで、情報工学科（プログラミング）、ビジネス情報科（コスト計算・マーケティング）、総合生活科（インテリア・デザイン）の学びを融合させた体験プログラムを開発する。
  - **必要なリソース：**複数教員の連携、予算承認（来年度予算へ提案）、教材開発。
  - **期待される効果：**競合校にはない本校独自の魅力を創造し、参加者の好奇心を強く刺激する。生徒の入試志望動機がより具体的になり、入学後のミスマッチを防ぐ。

---

## 6. モニタリング・評価システム

### A. KPI 設定

- **KPI1：体験入学満足度（「とても有意義だった」の回答比率）**
  - **目標値：**97%以上（現状 95.6%からの向上）

- **測定方法:** 次回体験入学アンケートにて測定
- **KPI2: 入学意向向上率（「希望するようになった」の回答比率）**
  - **目標値:** 60%以上（現状 55.2%からの向上）
  - **測定方法:** 次回体験入学アンケートにて測定
- **KPI3: 学科別「やや分かりにくかった」回答数**
  - **目標値:** 各学科 0 件（現状 4 件、2 件、1 件からの削減）
  - **測定方法:** 次回体験入学アンケートにて測定

## B. 継続的改善システム

- **PDCA サイクルの構築:**
  - **Plan:** 本レポートの提案を参考に、次年度の体験入学計画を策定する。
  - **Do:** 計画に基づき、体験入学を実施する。
  - **Check:** 終了後、本レポートと同様のアンケートを実施し、KPI を測定・評価する。
  - **Action:** 測定結果に基づき、次年度の改善点を特定し、計画を修正する。

## C. ベンチマーク設定

- **過去データとの比較:** 毎年のアンケート結果を時系列で比較し、満足度や入学意向のトレンドを把握する。
- **他校との比較:** 公表されている競合校の体験入学の特色や参加者数などを参考に、本校の強みと弱みを相対的に評価する。

# 【補助資料 11】カレー作りプロンプト演習スライド

## 1 演習スライド

①チャット欄に「カレーの作り方を教えて」と入力

カレーの作り方を教えて

+

②Enterキーまたは、[送信]ボタンを押す

指示（プロンプト）に応じた結果が出力される

③ 基本のカレーライス（4人分）

【材料】

- ・ カレールウ：1箱（約180g）
- ・ 玉ねぎ：2個
- ・ にんじん：1本
- ・ ジャがいも：2個
- ・ 肉（豚肉・鶏肉・牛肉などお好みで）：300～400g
- ・ 水：約800ml（ルウの箱に記載の量に従ってください）
- ・ サラダ油：大さじ1
- ・ ごはん：適量

【作り方】

1. 材料を切る  
玉ねぎは薄切り、にんじんとじゃがいもは一口大に、肉も食べやすい大きさに切ります。
2. 炒める  
鍋に油を熱し、玉ねぎを炒めて甘みを引き出します。次に肉を加えて炒め、色が変わったらにん

③チャット欄に「6人分に変更して」と入力

6人分に変更して

+

③ 基本のカレーライス（4人分）

【材料】

- ・ カレールウ：1箱（約180g）
- ・ 玉ねぎ：2個
- ・ にんじん：1本
- ・ ジャがいも：2個
- ・ 肉（豚肉・鶏肉・牛肉などお好みで）：300～400g
- ・ 水：約800ml（ルウの箱に記載の量に従ってください）
- ・ サラダ油：大さじ1
- ・ ごはん：適量

【作り方】

1. 材料を切る  
玉ねぎは薄切り、にんじんとじゃがいもは一口大に、肉も食べやすい大きさに切ります。
2. 炒める  
鍋に油を熱し、玉ねぎを炒めて甘みを引き出します。次に肉を加えて炒め、色が変わったらにん

③ 基本のカレーライス（6人分）

【材料】

- ・ カレールウ：1箱+半分（約270g）
- ・ 玉ねぎ：3個
- ・ にんじん：1.5本
- ・ ジャがいも：3個
- ・ 肉（豚肉・鶏肉・牛肉などお好みで）：450～600g
- ・ 水：約1200ml（ルウの箱に記載の量を参考に調整）
- ・ サラダ油：大さじ1.5
- ・ ごはん：6人分

【作り方】

基本の手順は4人分と同じです：

1. 材料を切る

追加指示に応じて再出力される

④チャット欄に「辛いカレーにして」と入力

辛いカレーにして

③ 基本のカレーライス（6人分）

【材料】

- ・ カレールウ：1箱+半分（約270g）
- ・ 玉ねぎ：3個
- ・ にんじん：1.5本
- ・ ジャがいも：3個
- ・ 肉（豚肉・鶏肉・牛肉などお好みで）：450～600g
- ・ 水：約1200ml（ルウの箱に記載の量を参考に調整）
- ・ サラダ油：大さじ1.5
- ・ ごはん：6人分

【作り方】

基本の手順は4人分と同じです：

④ 辛いカレーライス（6人分）

←人数は6人のまま ※これまでの会話の内容を保持して再出力される

【材料（変更・追加点）】

- ・ カレールウ：辛口タイプを使用（市販の「辛口」表示のもの）
- ・ 玉ねぎ：3個
- ・ にんじん：1.5本
- ・ ジャがいも：3個
- ・ 肉（豚・鶏・牛など）：450～600g
- ・ 水：約1200ml
- ・ サラダ油：大さじ1.5
- ・ ごはん：6人分

【辛さアップの追加材料（お好みで）】

- ・ ガラムマサラ：小さじ1～2（仕上げに加えると香りと辛さがアップ）
- ・ チリパウダー：小さじ1～（辛さ調整用）
- ・ 唐辛子（輪切りや粉末）：少量（炒める段階で加えると辛味が全体に広がる）
- ・ ブラックペッパー：少々（仕上げに）

管理栄養士として、栄養バランスを重視したカレーレシピを教えてください

役割

目的

Copilot

栄養バランスを重視したカレーレシピですね。管理栄養士の視点から、以下のポイントを押さえたレシピをご提案します：

### 🥕 栄養バランス重視のカレーライス（6人分）

#### 【栄養のポイント】

- ・ 主食：ごはん（エネルギー源）
- ・ 主菜：鶏むね肉（高たんぱく・低脂質）
- ・ 副菜：野菜たっぷり（食物繊維・ビタミン・ミネラル）
- ・ その他：豆類やきのこで栄養価アップ

#### 【材料】

- ・ 鶏むね肉（皮なし）：500g

適切な役割や具体的な目的を与えることで専門的な視点の回答が得られやすい

【役割】として【目的】カレーのレシピを教えてください。

#### 役割リスト

料理初心者

一流レストランのシェフ

時短料理を追求する共働き世帯

子育て中の親

アスリートのトレーナー

ベジタリアン

大学生の一人暮らし

介護施設の調理師

食物アレルギー対応の専門家

キャンプ好きのアウトドア愛好家

【役割】と【目的】を組み合わせて出力の変化を試してみましょう

#### 目的リスト

低糖質な

子どもの誕生日パーティーの

高タンパクな

1週間分の作り置きとして

初めて料理をする人に教えるための

地産地消の

辛いものが苦手な家族のための

食費を抑えたいので節約

インスタ映えする見た目の

非常食として長期保存できる

## 効果的なプロンプト（生成AIへの指示）

「生成AIの役割」「目的」「対象」「前提条件」  
「出力形式」を項目ごとに明確に伝える

- 役割：あなたは〇〇です。
- 目的：〇〇を作成することです。
- 対象：〇〇から〇〇に対しての文章です。
- 前提条件：以下の条件で作成してください。
  - 1. ~~~
  - 2. ~~~
- 出力形式：〇〇形式で出力してください。

→今回のプロンプト（カレー）で言うと・・・

## 効果的なプロンプト（生成AIへの指示）

- 役割：あなたは**プロの料理研究家**です。
- 目的：**カレーのレシピ**を作成することです。
- 対象：**調理を担当する人**に対しての文章です。
- 前提条件：以下の条件で作成してください。
  - 1. **低カロリー、栄養バランス**
  - 2. **30分程度で調理可能**
- 出力形式：**表形式**で出力してください。  
(材料と分量を整理してわかりやすく)

でも、作成には「慣れ」が必要・・・

→表（Excel）形式のプロンプトをご用意しました！

## カレーレシピ作成プロンプト

あなたはプロの料理研究家です。ユーザーの選択に基づいて、最適なカレーのレシピを作成してください。

**📄 以下の項目から該当する番号を選択してください**

項目	入力例・選択肢	入力欄
1. 何人分のレシピですか？	1. 1人分 2. 2人分 3. 3～4人分 4. 5～7人分 5. 8～10人分 6. その他（具体的に記入） 回答例：「3」または「10人分」	12人
2. 調理する人	1. 料理初心者（包丁の使い方から丁寧に説明） 2. 子供がいる家庭（子供が喜ぶ工夫を含む） 3. 一人暮らしの方（1人分の分量で作りやすい） 4. 忙しい社会人（時短レシピ重視） 5. 健康志向の方（栄養バランス重視） 6. 料理好きの中～上級者（本格的な技術を含む） 7. その他（具体的に記入） 回答例：「1」または「7（高齢者向け）」	4
3. 重視するポイント（複数選択可）	1. 簡単さ（失敗しにくい、手順が少ない） 2. 本格的性（プロの味、こだわりの技術） 3. 健康面（低カロリー、栄養バランス） 4. コストパフォーマンス（安い材料で美味しく） 5. 時短（調理時間を最小限に） 6. 見た目の美しさ（盛り付けやプレゼンテーション） 7. その他（具体的に記入） 回答例：「1」複数指定する場合は「2,6」など	3
4. 難易度レベル	1. かんたん（市販ルー使用、基本的な工程のみ） 2. ふつう（少しアレンジを含む） 3. 本格的（スパイスの調合など手の込んだ手順） 4. プロフェッショナル（専門技術や複雑な工程を含む）	3

5. 調理時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 15 分以内（超時短レシピ）</li> <li>2. 30 分程度（標準的な時間）</li> <li>3. 1 時間程度（じっくり煮込む）</li> <li>4. 2 時間以上（本格派、時間をかける）</li> </ul>	3
6. カレーの種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 日本式カレー（市販ルー使用）</li> <li>2. 欧風カレー（デミグラスベース、濃厚）</li> <li>3. インドカレー（スパイスから作る本格派）</li> <li>4. タイカレー（ココナッツミルク使用）</li> <li>5. スープカレー（サラサラ系）</li> <li>6. キーマカレー（ひき肉のドライカレー）</li> <li>7. その他（具体的に記入）</li> </ul> <p>回答例：「1」または「7（グリーンカレー）」</p>	1
7. 辛さレベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 甘口（子供向け、辛みほぼなし）</li> <li>2. 中辛（ほどよい辛さ）</li> <li>3. 辛口（しっかり辛い）</li> <li>4. 激辛（辛いもの好き向け）</li> </ul>	3
8. 使用する主な具材（複数選択可）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 定番（じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、豚肉/鶏肉/牛肉）</li> <li>2. シーフード（エビ、イカ、ホタテなど）</li> <li>3. 野菜中心（きのこ、ナス、ズッキーニなど）</li> <li>4. 特別な具材（チーズ、トマト、卵など）</li> <li>5. 豆類やヘルシー食材（ひよこ豆、レンズ豆など）</li> <li>6. その他（具体的に記入）</li> </ul> <p>回答例：「1」または「2,4」</p>	1
9. 出力形式	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ステップバイステップの詳細な手順（番号付きリスト）</li> <li>2. 簡潔な箇条書き（要点をまとめた形式）</li> <li>3. 表形式（材料と分量を整理して見やすく）</li> <li>4. レシピカード形式（材料・手順・コツを分けて表示）</li> <li>5. その他（具体的に記入）</li> </ul>	1
10. カロリーや栄養情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 必要（カロリー、たんぱく質、脂質、炭水化物を表示）</li> <li>2. 簡易版（カロリーのみ表示）</li> <li>3. 不要</li> <li>4. その他（具体的に記入）</li> </ul>	1

<b>11. アレルギーの有無</b>	1. 卵アレルギー 2. 乳製品アレルギー 3. 小麦アレルギー 4. そばアレルギー 5. 落花生アレルギー 6. くるみアレルギー 7. 甲殻類（エビ・カニ）アレルギー 8. アレルギーなし 9. その他（具体的に記入） 回答例：「7」または「1,2」または「9（大豆アレルギー）」	7
<b>12. 特別な配慮（複数選択可）</b>	1. ベジタリアン対応 2. ヴィーガン対応 3. グルテンフリー 4. 糖質制限 5. 塩分控えめ 6. 特になし 7. その他（具体的に記入） 回答例：「6」または「1,3」	6

## 出力に含める情報

選択内容に基づいて、以下の情報を含めたカレーレシピを作成してください：

- 材料リスト（選択された人数分の分量を明記）
- 調理手順（選択された出力形式で）
- 調理のコツやポイント（失敗しないための注意点）
- 所要時間の目安（準備時間と調理時間を分けて表示）
- 選択された追加情報（栄養情報、アレルゲン、代替食材など）
- 保存方法（作り置きの場合は保存期間も明記）

## 良い出力例

### 例：かんたん・時短・甘口の日本式カレー（2人分）

#### 材料（2人分）

- 豚こま切れ肉：200g
- じゃがいも：中2個（約300g）
- にんじん：1/2本（約100g）
- 玉ねぎ：中1個（約200g）
- カレールー（甘口）：4皿分
- 水：500ml

サラダ油：大さじ1

### 調理手順

1. 野菜を一口大に切る（じゃがいもとにんじんは少し小さめ）
2. 鍋に油を熱し、豚肉を炒める
3. 野菜を加えて軽く炒める
4. 水を加えて15分煮込む（野菜が柔らかくなるまで）
5. 火を止めてルーを割り入れ、溶かす
6. 再び弱火で5分煮込んで完成

### ポイント

じゃがいもは煮崩れしにくいメーカーがおすすめ  
ルーを入れる時は必ず火を止めること（ダマになるのを防ぐ）

### 所要時間

準備時間：10分

調理時間：20分

合計：30分

### 1人分の栄養情報

カロリー：約450kcal

たんぱく質：18g

脂質：15g

炭水化物：60g

## 避けるべき出力例

曖昧な分量表現（「適量」「少々」が多すぎる）

選択された人数分と異なる分量表記

手順が省略されすぎて理解できない

専門用語の乱用（対象者に合わない表現）

調理時間が選択条件と大きく異なる

選択した辛さや種類と矛盾する内容

人数分の記載がない、または計算が合わない

難易度レベルに合わない複雑さや簡略さ

## 作成時の注意事項

1. 選択された人数分に合わせた分量を正確に計算してください
2. 選択された条件を最優先してレシピを作成してください
3. 対象者のレベルに合わせた説明を心がけてください
4. 実現可能で具体的な手順を提示してください
5. 複数の条件が矛盾する場合は、「重視するポイント」を優先してください
6. 親しみやすく、わかりやすい口調で説明してください

7. 作り置き用の場合は、保存方法と保存期間も明記してください

8. 難易度レベルに応じた説明の詳しさを調整してください（かんたん：基本的な説明、プロフェッショナル：専門的な技術説明）

### 3 出力結果

以下の条件でカレーのレシピを作成しますね。

#### ✓ 選択内容まとめ

- 人数：12人分
- 調理する人：忙しい社会人（時短重視）
- 重視ポイント：健康面（栄養バランス）
- 難易度：本格的（スパイス調合あり）
- 調理時間：約1時間
- カレーの種類：日本式カレー
- 辛さ：辛口
- 具材：定番（じゃがいも・にんじん・玉ねぎ・肉）
- 出力形式：ステップバイステップ
- 栄養情報：必要（カロリー・PFC）
- アレルギー：甲殻類アレルギー（エビ・カニ不使用）
- 特別な配慮：特になし

#### 🍲 レシピ：本格スパイスで作る辛口日本式カレー（12人分）

##### 材料（12人分）

- 牛肉（カレー用）：1.8kg
- 玉ねぎ：6個（約1.2kg）
- じゃがいも：12個（約2.4kg）
- にんじん：6本（約900g）
- カレールー（辛口）：12皿分（約600g）
- 水：4.5L
- サラダ油：大さじ6
- にんにく：6片
- しょうが：6片
- スパイス（本格風味用）
  - クミンパウダー：大さじ3
  - コリアンダーパウダー：大さじ3
  - ガラムマサラ：大さじ2
  - チリパウダー：小さじ4（辛さ調整）

## 調理手順 (ステップバイステップ)

### 1. 下準備

- 玉ねぎは薄切り、じゃがいも・にんじんは一口大に切る。
- にんにく・しょうがはみじん切り。

### 2. 炒める

- 大鍋に油を熱し、にんにく・しょうがを香りが出るまで炒める。
- 玉ねぎを加え、飴色になるまでじっくり炒める (約 15 分)。

### 3. 肉を加える

- 牛肉を加え、表面がしっかり焼けるまで炒める。

### 4. スパイス投入

- クミン・コリアンダー・チリパウダーを加え、香りを立たせる。

### 5. 煮込み

- 水を加え、沸騰後アクを取り、弱火で 30 分煮込む。

### 6. 野菜投入

- じゃがいも・にんじんを加え、さらに 15 分煮込む。

### 7. ルーを溶かす

- 火を止めてカレールーを割り入れ、完全に溶かす。

### 8. 仕上げ

- ガラムマサラを加え、弱火で 5 分煮込んで完成。
- 

## 調理のコツ

- 玉ねぎはしっかり炒めることで甘みとコクが出る。
  - スパイスは焦がさないよう弱火で香りを引き出す。
  - ルーを入れる時は必ず火を止める (ダマ防止)。
- 

## 所要時間

- 準備時間：20 分
  - 調理時間：40 分
  - 合計：約 60 分
- 

## 栄養情報 (1 人分)

- カロリー：約 520kcal
  - たんぱく質：28g
  - 脂質：18g
  - 炭水化物：60g
- 

## 保存方法

- 冷蔵：密閉容器で 3 日

- 冷凍：小分けして2週間（解凍後は再加熱必須）
- 

- ✔ アレルギー対応：甲殻類不使用
  - ✔ 代替食材：牛肉→鶏肉でも OK（脂質を抑えたい場合）
- 

このレシピ、\*\*「本格スパイス+日本式ルー」\*\*で、忙しい社会人でも健康的に楽しめる内容になっています。

さらに、**12人分**なのでパーティーや作り置きにも最適です。

---

👉 質問：

- このレシピに「作り置きアレンジ（冷凍後のリメイク）」も追加しますか？
- それとも「スパイスをもっと本格的に（ルーなし）」にしますか？
- 画像付きレシピカードも作れますが、必要ですか？

## 【補助資料 12】 事後調査質問紙

生成A I 活用に関する教職員意識・スキル調査(事後)

調査目的: 研修プログラム実施後の生成A I 活用スキル・意識の変容測定および効果検証

調査期間: 令和7年12月

調査方法: Microsoft Forms を活用したオンライン調査

調査対象: 研究協力校全教職員(厨川小学校・上田中学校・花北青雲高等学校)

---

### 【生成A I 活用スキル自己評価】

以下の項目について、現在のあなたの状況に最も近いものを選んでください。

#### <A I 特性理解>

Q1. 生成A I の基本的な仕組み(学習データから文章を生成する仕組み)について理解している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q2. 生成A I が得意なこと(文章作成、要約、翻訳など)を理解している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q3. 生成A I が不得意なこと(最新情報、専門的判断、感情的配慮など)を理解している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q4. 生成A I が出力する情報には誤りが含まれる可能性があることを理解している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q5. 教育現場において生成A I を活用できる場面と適さない場면을判別できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない

- 4: 4: と思う
- 5: 5: とても思う

<プロンプト設計力>

Q6. 生成AIに対して、目的を明確にした指示を出すことができる

- 1: 1: 全くそう思わない
- 2: 2: そう思わない
- 3: 3: どちらでもない
- 4: 4: と思う
- 5: 5: とても思う

Q7. 生成AIに必要な条件(文字数、形式、対象者など)を含めた指示を出すことができる

- 1: 1: 全くそう思わない
- 2: 2: そう思わない
- 3: 3: どちらでもない
- 4: 4: と思う
- 5: 5: とても思う

Q8. 生成AIの出力結果が期待と異なる場合、指示を修正・改善することができる

- 1: 1: 全くそう思わない
- 2: 2: そう思わない
- 3: 3: どちらでもない
- 4: 4: と思う
- 5: 5: とても思う

Q9. 校務の特性に応じて、効果的なプロンプトを作成することができる

- 1: 1: 全くそう思わない
- 2: 2: そう思わない
- 3: 3: どちらでもない
- 4: 4: と思う
- 5: 5: とても思う

Q10. 他の教職員が作成したプロンプトを参考に、自分の校務に合わせて調整できる

- 1: 1: 全くそう思わない
- 2: 2: そう思わない
- 3: 3: どちらでもない
- 4: 4: と思う
- 5: 5: とても思う
- <活用場面判断力>

Q11. どの校務で生成AIを活用すると効果的かを判断できる

- 1: 1: 全くそう思わない
- 2: 2: そう思わない
- 3: 3: どちらでもない
- 4: 4: と思う

- 5:とてもそう思う

Q12. 生成A I の活用が適さない校務を適切に判別できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q13. 校務の緊急度や重要度に応じて、生成A I 活用の優先順位を判断できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q14. 生成A I を活用する校務と、人間が直接行うべき校務を使い分けできる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q15. 校種(小・中・高)の特性を踏まえた生成A I 活用を判断できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <出力評価力>

Q16. 生成A I が出力した内容の正確性を確認することができる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q17. 生成A I の出力内容が校務の目的に適しているか評価できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q18. 生成A I の出力内容について、教職員としての専門的な観点から適切性を判断できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q19. 生成A I の出力に対して、必要な修正や補完を加えることができる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q20. 生成A I の出力をそのまま使用してよいか、修正が必要かを判断できる

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <倫理的配慮>

Q21. 生成A I に個人情報を入力してはいけないことを理解し、実践している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q22. 生成A I を活用する際の著作権や知的財産権について配慮している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q23. 生成A I の出力をそのまま自分の成果として使用することの問題点を理解している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q24. 校務で生成A I を活用する際のセキュリティ面での注意点を理解し、実践している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない

- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q25. 生成A Iを活用していることを必要に応じて適切に開示している

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <スキル向上の振り返り>

Q26. 生成A I活用スキルで最も向上したと感じる点があれば、入力してください。(自由記述)

Q27. 生成A I活用スキルにおいて、現在困っていることや課題があれば、入力してください。(自由記述)

Q28. 今後、生成A I活用スキルをさらに向上させるために必要だと思うことがあれば、入力してください。(自由記述)

- \_\_\_\_\_
- **【現在の活用状況】**

Q29. 現在、校務において生成A Iをどの程度活用していますか。該当するものを選んでください。

日常的に活用している(週3回以上)

- 定期的に活用している(週1-2回程度)
- 時々活用している(月数回程度)
- たまに活用している(月1回程度)
- ほとんど活用していない

Q30. 生成A Iを活用している校務について、該当するものすべてを選んでください。

- 学年、学級通信の作成
- 保護者向け文書の作成
- 会議、打合せ資料作成
- 校務分掌に関する文書作成
- 授業用ワークシート作成
- テスト問題作成
- 授業案の作成(流れ、発問等)
- 生徒の感想・考えの分類
- 各種アンケートの記述分類、分析
- 学校評価アンケートの分析
- 通知票所見
- 指導要録所見
- あいさつ、スピーチ原稿
- メール作成
- 学校行事等の企画・シナリオ案作成

- 部活動(課外活動)練習計画
- その他

●

- **【生成A I活用への意識】**

- 以下の項目について、あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。
- <関心・意欲>

Q31. 生成A Iを校務に活用することに関心がある

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q32. 生成A Iの新しい活用方法について積極的に学びたいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q33. 生成A Iを活用した校務改善に意欲的に取り組みたい

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q34. 生成A I活用に関する研修があれば参加したいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q35. 生成A Iの最新情報や活用事例を収集することに興味がある

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q36. 同僚と生成A I活用について情報交換することに積極的である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない

- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <抵抗感・不安感>

Q37. 生成A Iを校務に活用することに抵抗感がある

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q38. 生成A Iを使うことで、教職員としての専門性が軽視されるのではないかと不安である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q39. 生成A Iの操作や活用方法が難しそうで不安である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q40. 生成A Iを使うことで個人情報漏洩するのではないかと心配である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q41. 生成A Iが出力した内容に誤りがあった場合の責任について不安である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q42. 生成A Iに頼りすぎることで、自分の能力が低下するのではないかと心配である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う

- 5:とてもそう思う

Q43. 生成A Iの活用について、保護者や地域から理解を得られるか不安である

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <有用性の認識>

Q44. 生成A Iは校務の効率化に有効だと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q45. 生成A Iを活用することで、校務にかかる時間を短縮できると思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q46. 生成A Iを活用することで、校務の質を向上させることができると思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q47. 生成A Iを活用することで、教育活動により多くの時間を割けるようになると思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q48. 生成A Iは教職員の働き方改革に貢献すると思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q49. 生成A Iを活用することで、創意工夫の余地が広がると思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q50. 生成A Iは教育の質向上に貢献すると思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <継続的活用意向>

Q51. 今後も継続的に生成A Iを校務に活用したいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q52. 現在活用している以外の校務でも生成A Iを使ってみたいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q53. 生成A Iの活用範囲を徐々に拡大していきたいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q54. 同僚に生成A Iの活用を勧めたいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q55. 他の学校の教職員にも生成A I活用の良さを伝えたいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない

- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う

Q56. 自分なりに生成A I の活用方法を工夫・開発していきたいと思う

- 1:全くそう思わない
- 2:そう思わない
- 3:どちらでもない
- 4:そう思う
- 5:とてもそう思う
- <総合的な気持ち>

Q57. 現在の生成A I 活用に対する気持ちに最も近いものを選んでください。

- とても前向き
- どちらかといえば前向き
- どちらでもない
- どちらかといえば後ろ向き
- とても後ろ向き

•

- **【意識変容の評価】**

Q58. 研修開始前と比較して生成A I 活用への意識はどのように変化したか、最も近いものを選んでください。

- 大きく前向きになった
- やや前向きになった
- 変わらない
- やや後ろ向きになった
- 大きく後ろ向きになった

Q59. 生成A I 活用への意識に最も影響を与えた要因について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- 研修での講義・説明
- 実際の活用体験
- 校務での成功体験
- 同僚との情報交換
- 活用事例の共有
- 管理職のサポート
- 技術的なサポート体制
- その他

Q60. 生成A I 活用への不安や抵抗感を軽減するために有効だった要因について、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- 段階的な導入
- 実践的な研修

- 具体的な活用事例の提示
- セキュリティ対策の説明
- 同僚との情報共有
- 管理職の理解と支援
- 失敗を許容する雰囲気
- その他

Q61. 生成A I活用への意識で最も大きく変化した点があれば、入力してください。(自由記述)

Q62. 意識変容に最も影響を与えた出来事や体験があれば、入力してください。(自由記述)

Q63. 今後、教職員の生成A I活用への意識を向上させるために必要だと思うことがあれば、入力してください。(自由記述)

- 
- **【校務負担感調査】**
  - 以下の校務について、現在のあなたの負担感を選んでください。

Q64～Q79. 各校務項目の負担感

- 学年、学級通信の作成
- 保護者向け文書の作成
- 会議、打合せ資料作成
- 校務分掌に関する文書作成
- 授業用ワークシート作成
- テスト問題作成
- 授業案の作成(流れ、発問等)
- 生徒の感想・考えの分類
- 各種アンケートの記述分類、分析
- 学校評価アンケートの分析
- 通知票所見
- 指導要録所見
- あいさつ、スピーチ原稿
- メール作成
- 学校行事等の企画・シナリオ案作成
- 部活動(課外活動)練習計画

各項目について:

- 0:なし
- 1:軽い
- 2:やや軽い
- 3:普通
- 4:やや重い
- 5:重い

**【効率化効果の評価】**

Q80. 生成A I活用により、校務全体の効率化はどの程度変化したか、最も近いものを選んでください。

- 大幅に効率化した
- やや効率化した
- 変わらない
- やや非効率になった
- 大幅に非効率になった

Q81. 生成A I活用により創出された時間を、主にどのように活用しているか、該当するものを選んでください。(複数選択可)

- 授業準備の充実
- 児童生徒との対話・相談
- 教材研究
- 校務の質的向上
- 同僚との協働
- 自己研鑽
- ワークライフバランスの改善
- その他

Q82. 最も効果を実感した校務カテゴリについて、該当するものを選んでください。

- 文書作成業務
- 授業準備業務
- 分析・評価業務
- コミュニケーション業務
- 企画・立案業務
- その他

Q83. 生成A I活用により最も効率化を実感した校務と、その理由について、入力してください。(自由記述)

Q84. 期待したほど効率化や効果が得られなかった校務があれば、その理由を入力してください。(自由記述)

Q85. 校務の効率化をさらに進めるために必要だと思うことがあれば、入力してください。(自由記述)

---